

## Ⅱ 調査結果の項目別分析



## Ⅱ 調査結果の項目別分析

### Ⅱ－１ 今住んでいる地域のことについて

#### 1 現在住んでいる地域に対する愛着

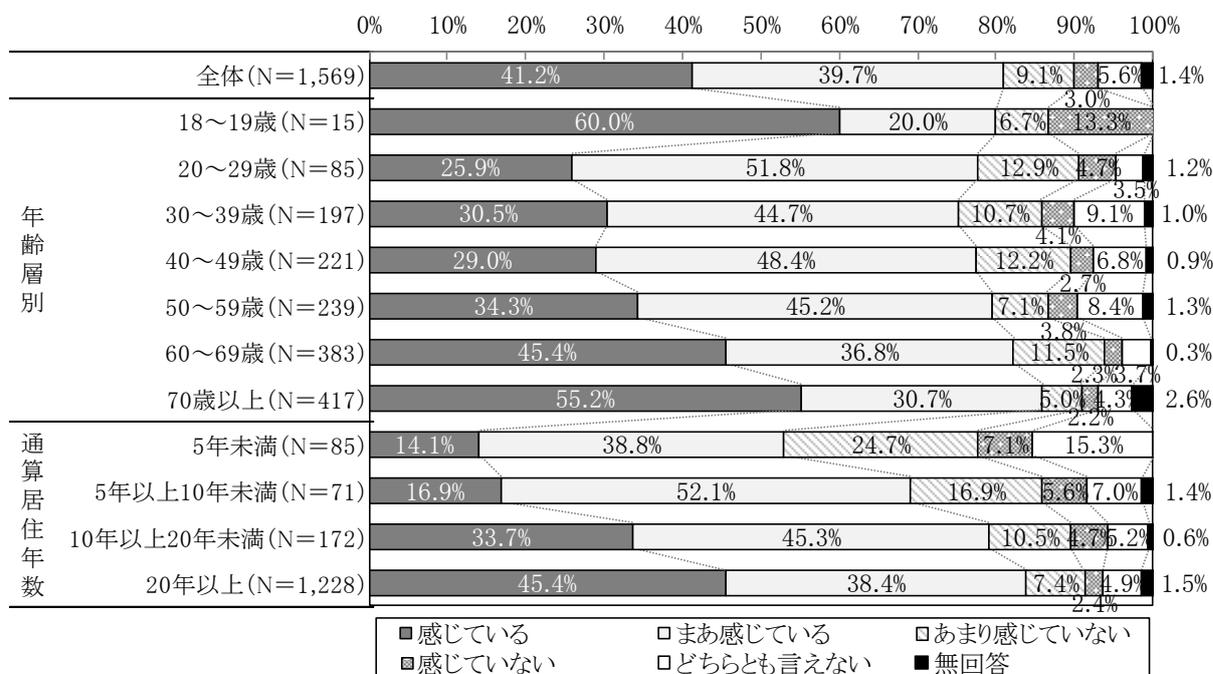
問1 あなたは、今住んでいる地域に愛着を感じていますか。

地域に対する愛着について、全体では、「感じている」が41.2%、「まあ感じている」が、39.7%で、合わせて80.9%の回答者が愛着を感じていると回答している。

年齢層別にみると、18～19歳の60.0%が「感じている」と回答しており、40～49歳以上からは年齢層が上がるにつれて「感じている」という回答が増える傾向がある。「感じている」と「まあ感じている」を合わせた割合でみると、19歳以下と60歳以上で80%を超えているのははじめ、いずれの年齢層においても70%を超える回答者が地域に愛着を感じている。

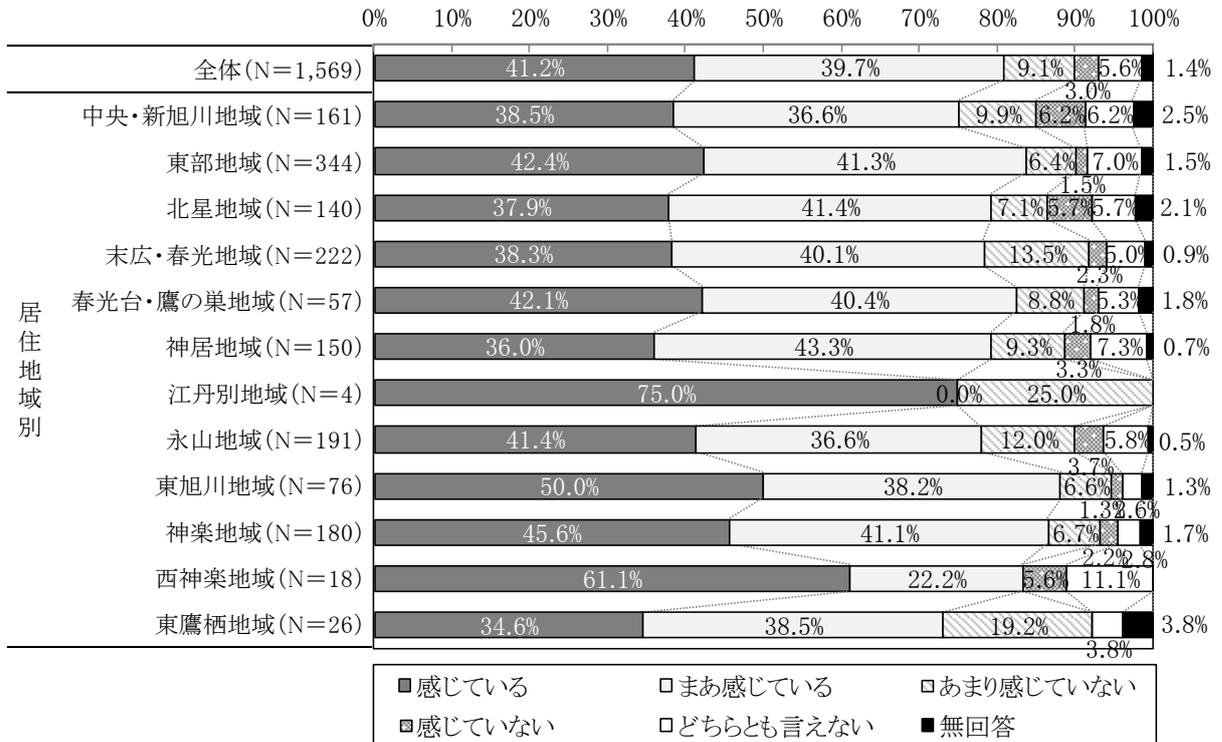
通算居住年数別にみると、「感じている」という回答は20年以上が45.4%、10年以上20年未満が33.7%と次いでいる。「感じている」と「まあ感じている」を合わせた割合でみると、20年以上で83.8%と最も高くなっている。

【地域に対する愛着】（年齢層別，通算居住年数別）



地域に対する愛着について居住地域別にみると、「感じている」という回答は江丹別地域が75.0%と最も高く、次いで西神楽地域が61.1%、東旭川地域が50.0%、神楽地域が45.6%、東部地域42.4%の順となっている。「感じている」「まあ感じている」を合わせた割合でみると、東旭川地域が88.2%と最も高く、東鷹栖地域の73.1%が最も低くなっている。

【地域に対する愛着】（居住地域別）



## 2 地域活動について

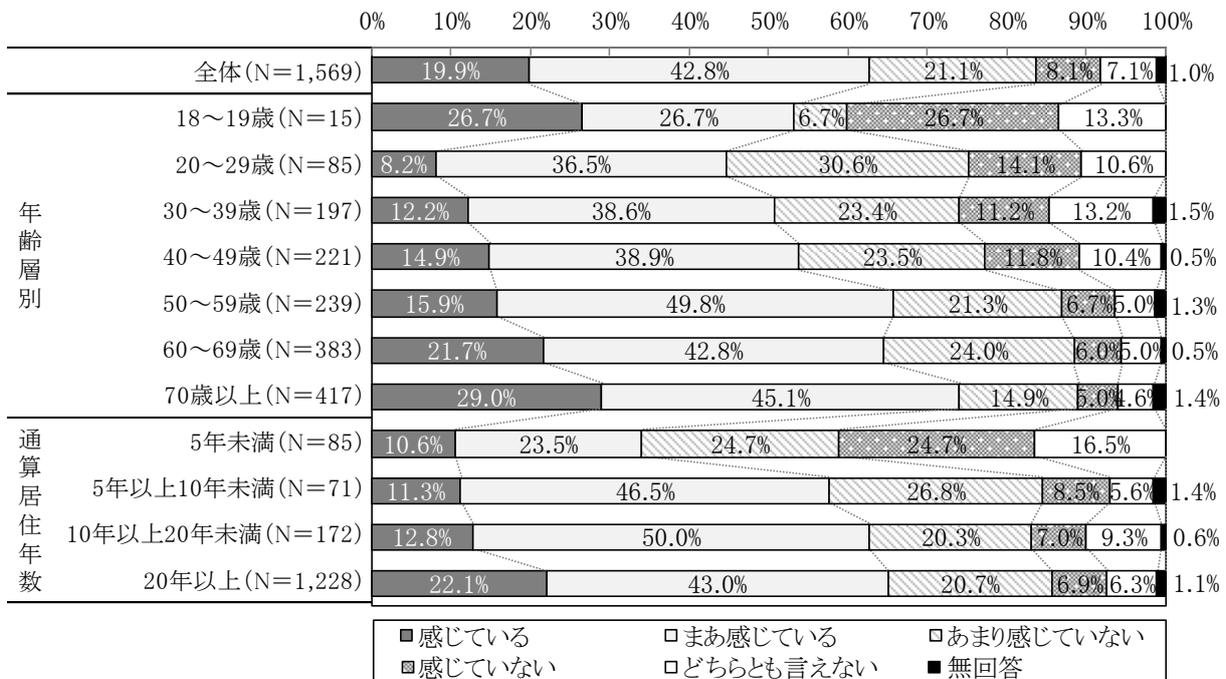
問2 あなたは、今住んでいる地域では地域活動（地域行事や清掃活動など）が活発に行われていると感じますか。

現在住んでいる地域で地域活動が活発に行われているかについては、全体では、「感じている」が19.9%、「まあ感じている」が42.8%で、合わせて62.7%が地域活動が活発に行われていると回答している。

年齢層別にみると、「感じている」は70歳以上が29.0%と最も高く、18～19歳が26.7%と次いでいる。

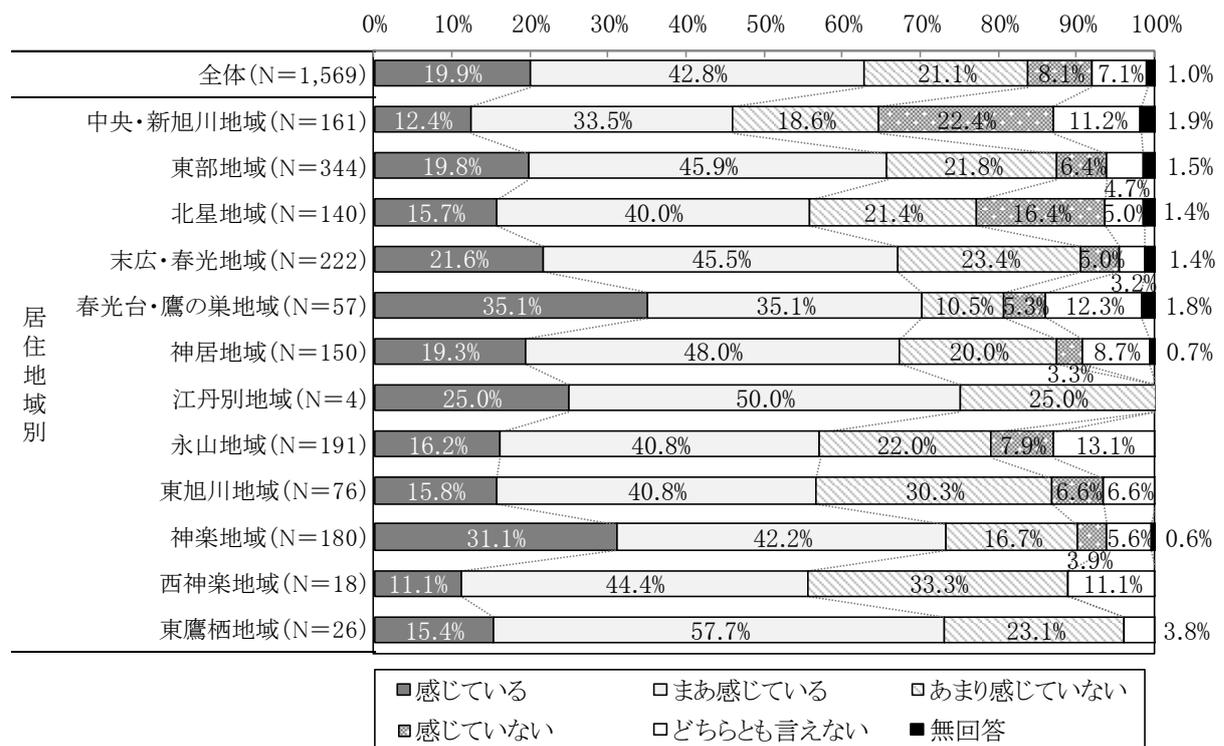
通算居住年数別にみると、20年以上では22.1%が「感じている」と回答しており、居住年数が長くなるほど、地域活動が活発であると感じている傾向にある。

### 【地域活動の充実】（年齢層別，通算居住年数別）



現在住んでいる地域で地域活動が活発に行われているかについて、居住地域別にみると、「感じている」という回答は春光台・鷹の巣地域が 35.1%と最も高く、次いで神楽地域が 31.1%，江丹別地域が 25.0%，末広・春光地域が 21.6%の順となっている。「感じている」と「まあ感じている」を合わせた割合でみると、江丹別地域が 75.0%と最も高く、中央・新旭川地域の 45.9%が最も低くなっている。

【地域活動】（居住地域別）



### 3 地域活動の取り組み

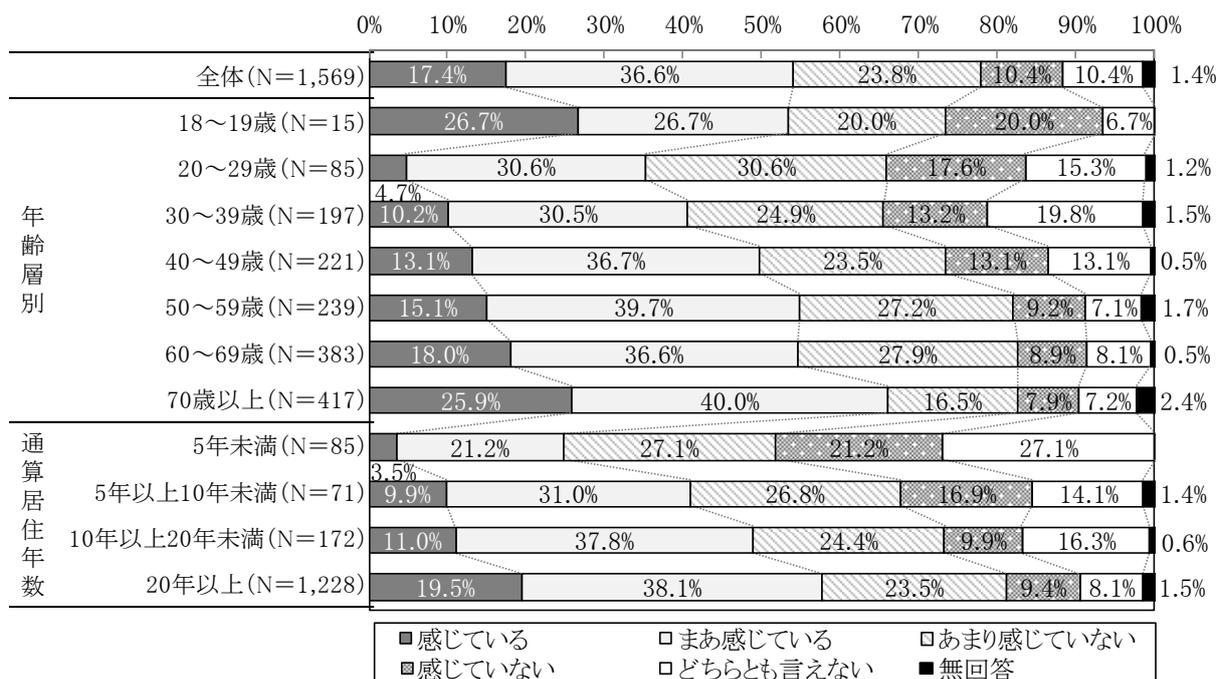
問3 あなたは、町内会や市民委員会、PTAなどの団体が、連携して地域活動に取り組んでいると感じますか。

町内会や市民委員会、PTAなどの地域活動の取り組みについて、全体では「感じている」が17.4%、「まあ感じている」が36.6%で、合わせて54.0%の回答者が地域活動に取り組んでいると感じている。

年齢層別にみると、18～19歳の26.7%が「感じている」と回答しており、20歳以上からは年齢層が上がるにつれて「感じている」という回答が増える傾向がある。

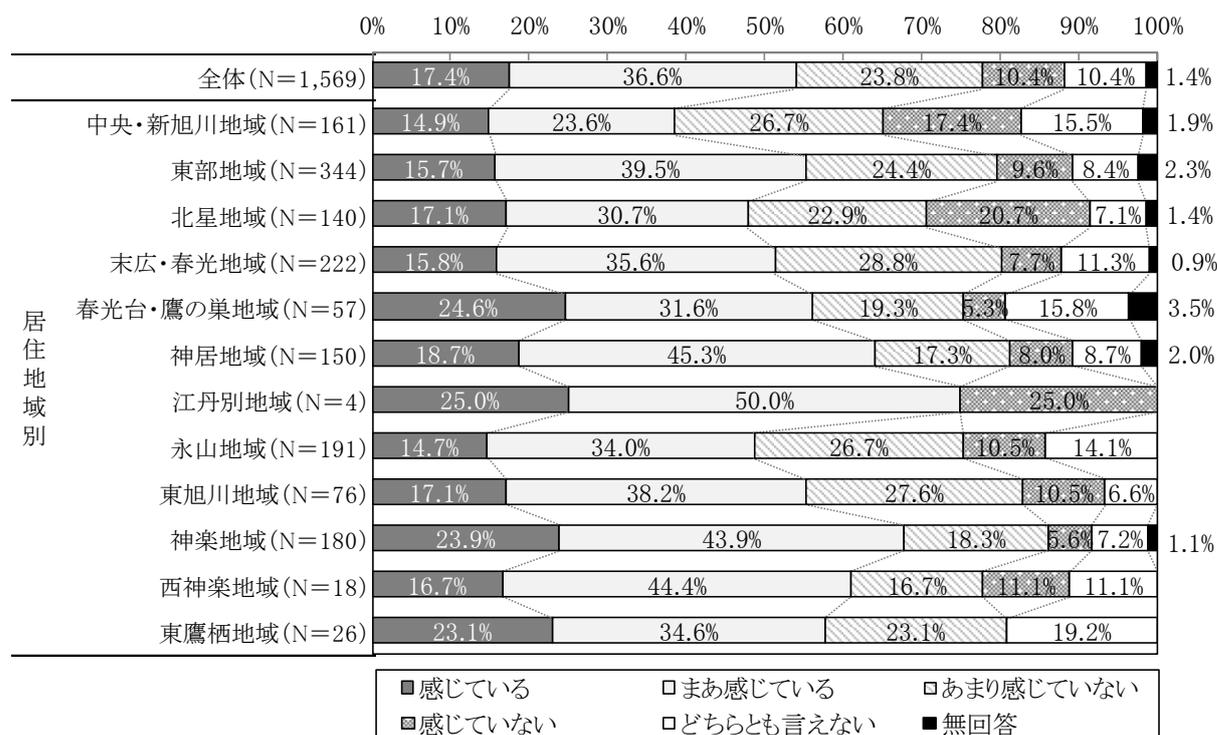
通算居住年数別にみると、20年以上では「感じている」と「まあ感じている」を合わせて57.6%が連携して地域活動に取り組んでいると回答しており、居住年数が長くなるほど、「感じている」と回答している。

【地域活動の取り組み】（年齢層別、通算居住年数別）



町内会や市民委員会，PTAなどの地域活動の取り組みについて，居住地域別にみると，「感じている」という回答は江丹別地域が25.0%と最も高く，次いで春光台・鷹の巣地域が24.6%，神楽地域が23.9%，東鷹栖地域が23.1%，神居地域が18.7%の順となっている。「感じている」と「まあ感じている」を合わせた割合でみると，江丹別地域が75.0%と最も高く，中央・新旭川地域が38.5%が最も低くなっている。

【地域活動の取り組み】（居住地域別）



#### 4 現在住んでいる地域への定住の意向

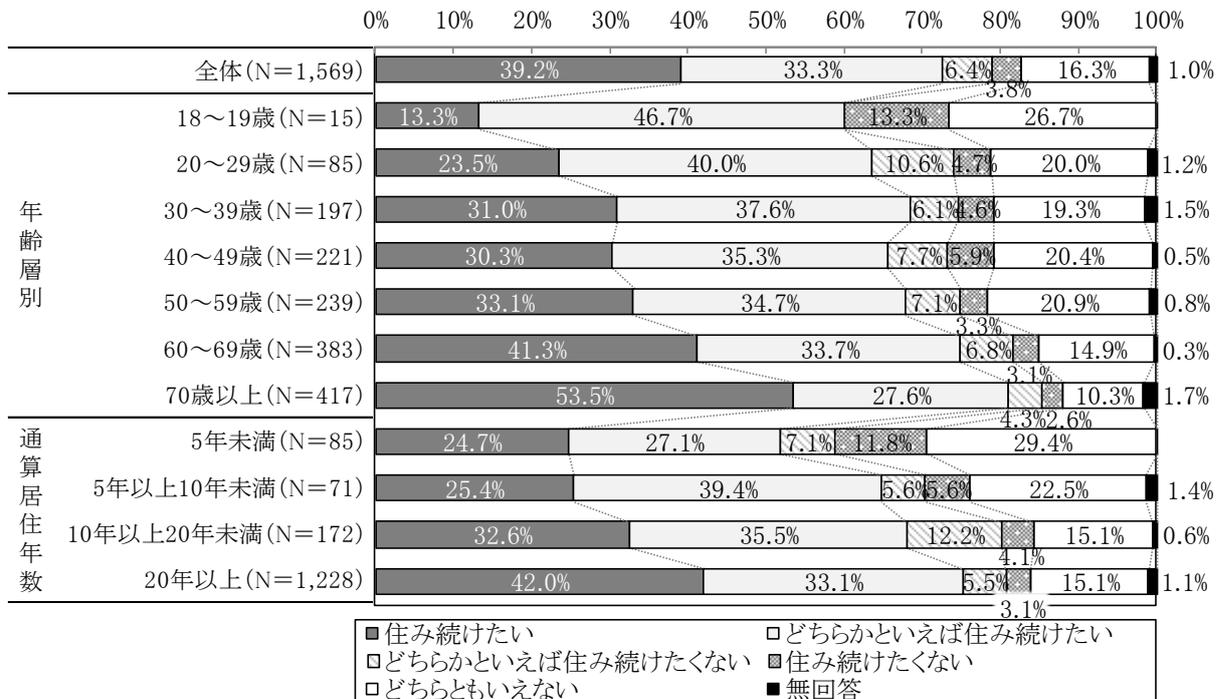
問4 あなたは、今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。

定住の意向について、全体では「住み続けたい」という回答が39.2%、「どちらかといえば住み続けたい」が33.3%で、合わせて72.5%の回答者が現在住んでいる地域への定住の意向を持っている。

年齢層別にみると、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた定住の意向は、70歳以上が81.1%と最も高く、年齢層が上がるにつれて、定住の意向が強くなっている傾向がある。

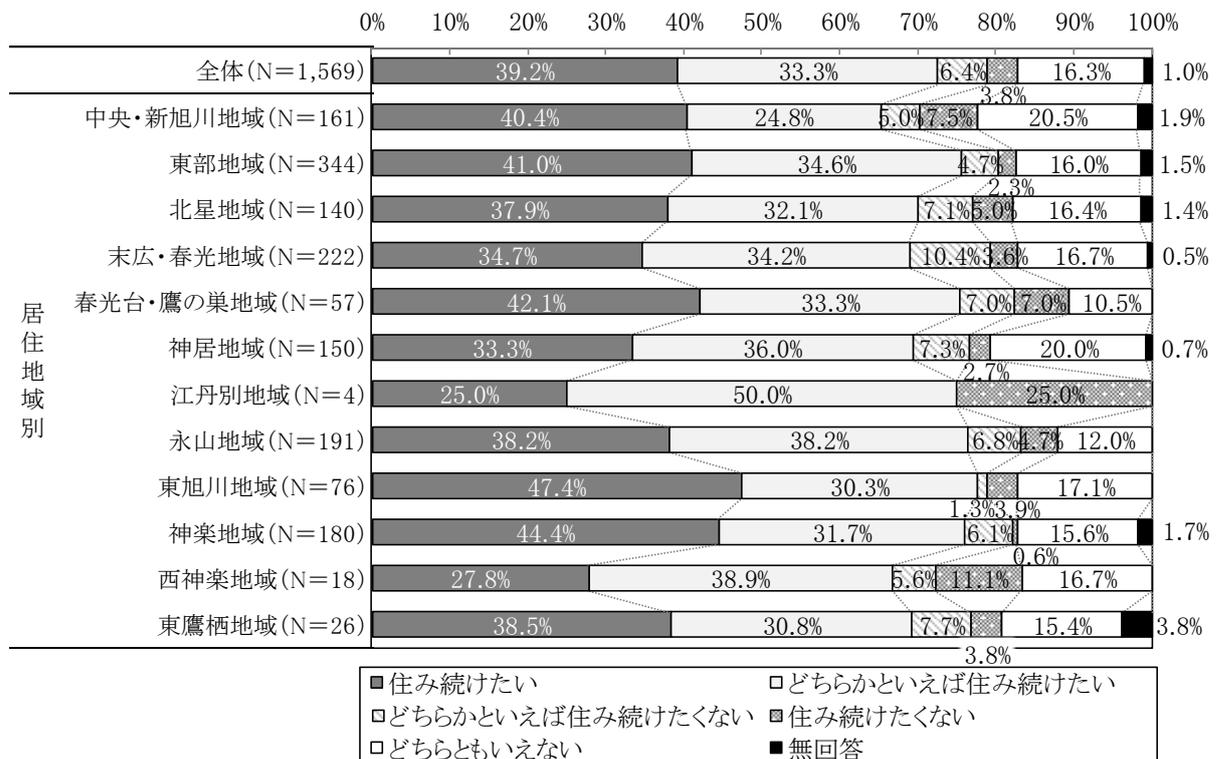
また、通算居住年数別にみても、居住年数が長くなるにつれて、定住の意向が強くなっている傾向がある。

【定住の意向】（年齢層別，通算居住年数別）



定住の意向について居住地域別にみると、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」という回答は東旭川地域が 77.7%と最も高く、次いで永山地域が 76.4%，神楽地域が 76.1%，東部地域が 75.6%の順となっている。最も定住の意向が弱いのは、中央・新旭川地域で 65.2%となっている。

【定住の意向】（居住地域別）



## Ⅱ－２ 市政について

### 1 市からの市政情報の発信

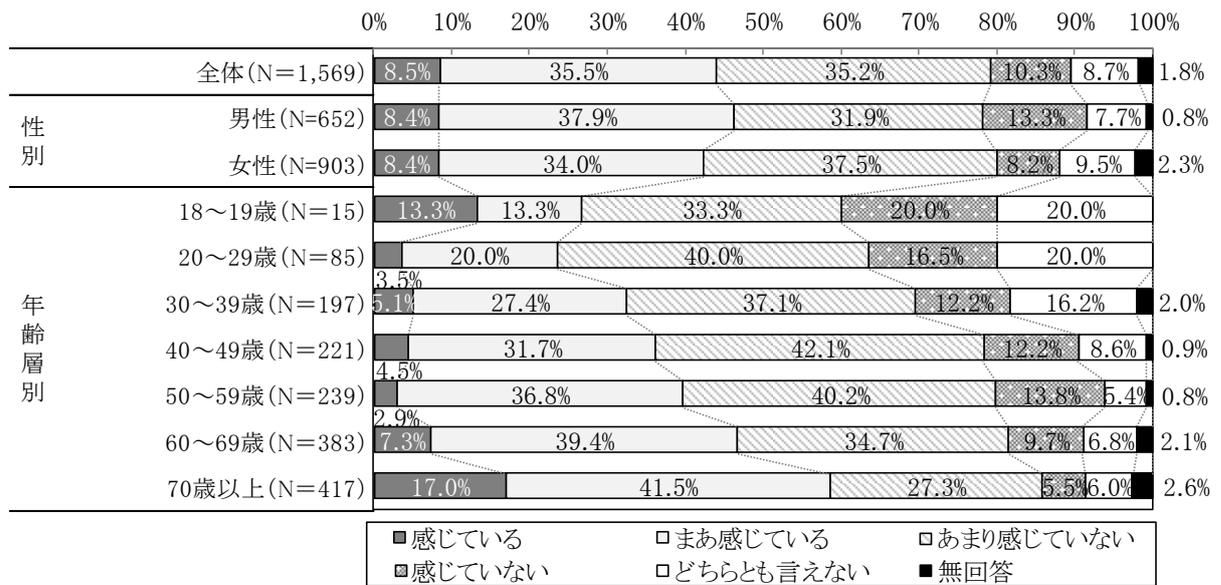
問5 あなたは、市が市政情報を市民にわかりやすく発信していると感じますか。

市政情報の発信について、全体では、わかりやすく発信していると「感じている」が8.5%、「まあ感じている」が35.5%で、合わせて44.0%の回答者がわかりやすいと回答している。

性別にみると、男性の方がわかりやすいと感じており、「感じている」と「まあ感じている」を合わせて46.3%で、女性よりも3.9ポイント高くなっている。

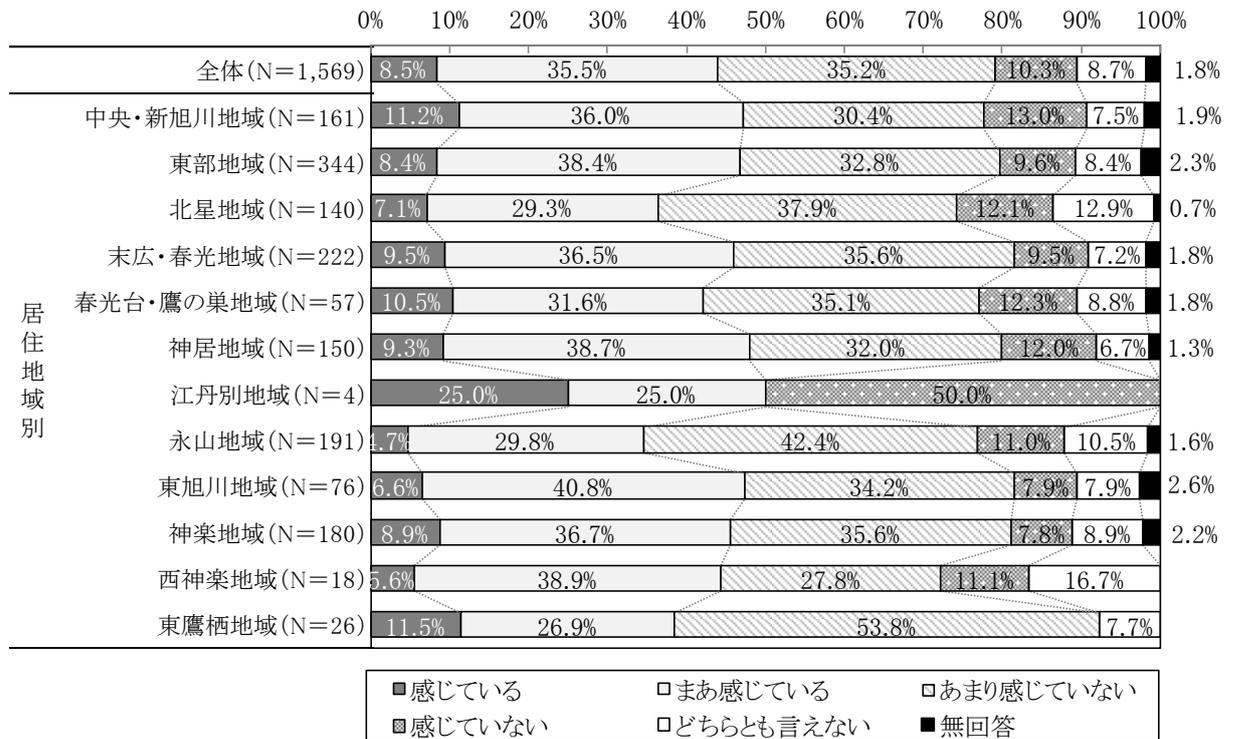
年齢層別にみると、70歳以上の17.0%が「感じている」と回答している。「感じている」と「まあ感じている」を合わせた割合でみると、70歳以上が58.5%で最も高く、20歳からは年齢層が高くなるにつれて、わかりやすいと感じる傾向がある。

【市政情報の発信】（年齢層別，通算居住年数別）



市政情報の発信について居住地域別にみると、「感じている」という回答は江丹別地域が25.0%と最も高く、次いで東鷹栖地域が11.5%、中央・新旭川地域が11.2%、春光台・鷹の巣地域が10.5%の順となっている。「感じている」と「まあ感じている」を合わせた割合でみると、江丹別地域が50.0%と最も高く、次いで神居地域が48%となっている。

【市政情報の発信】（居住地域別）



## 2 市政の推進体制

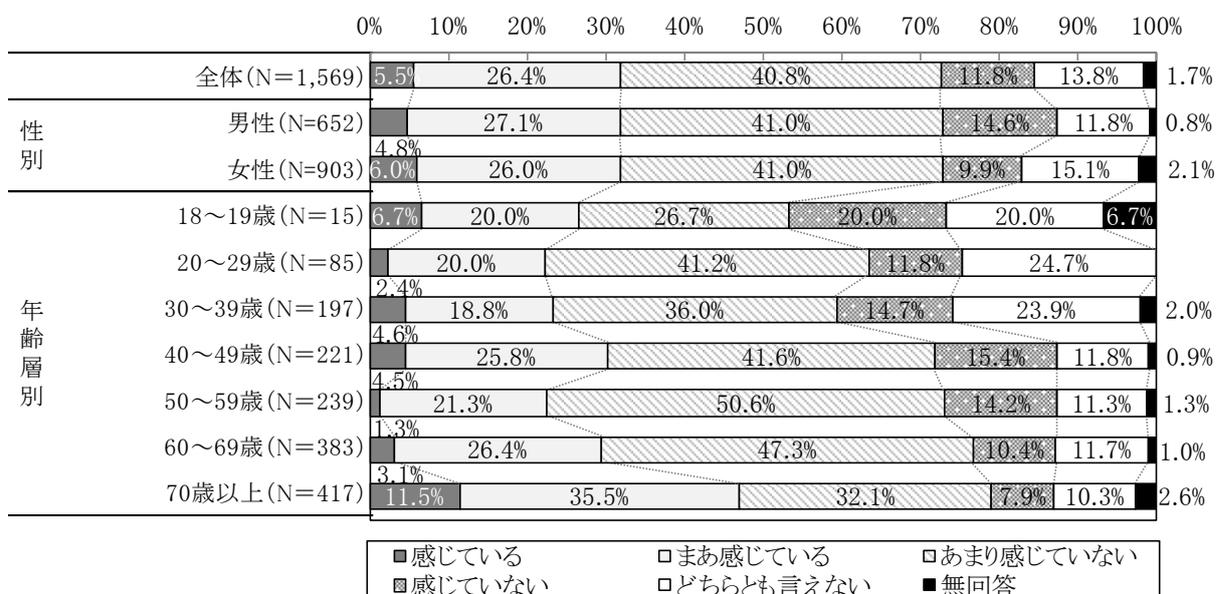
問6 あなたは、市が市民の協力を得ながら市政を推進していると感じますか。

市政の推進体制について、全体では、「感じている」が5.5%、「まあ感じている」が26.4%で、合わせて31.9%の回答者が市民の協力を得ながら推進していると回答している。

性別にみると、男性は「感じている」と「まあ感じている」を合わせて31.9%、女性は32%と、男女間での差はほとんど見られない。

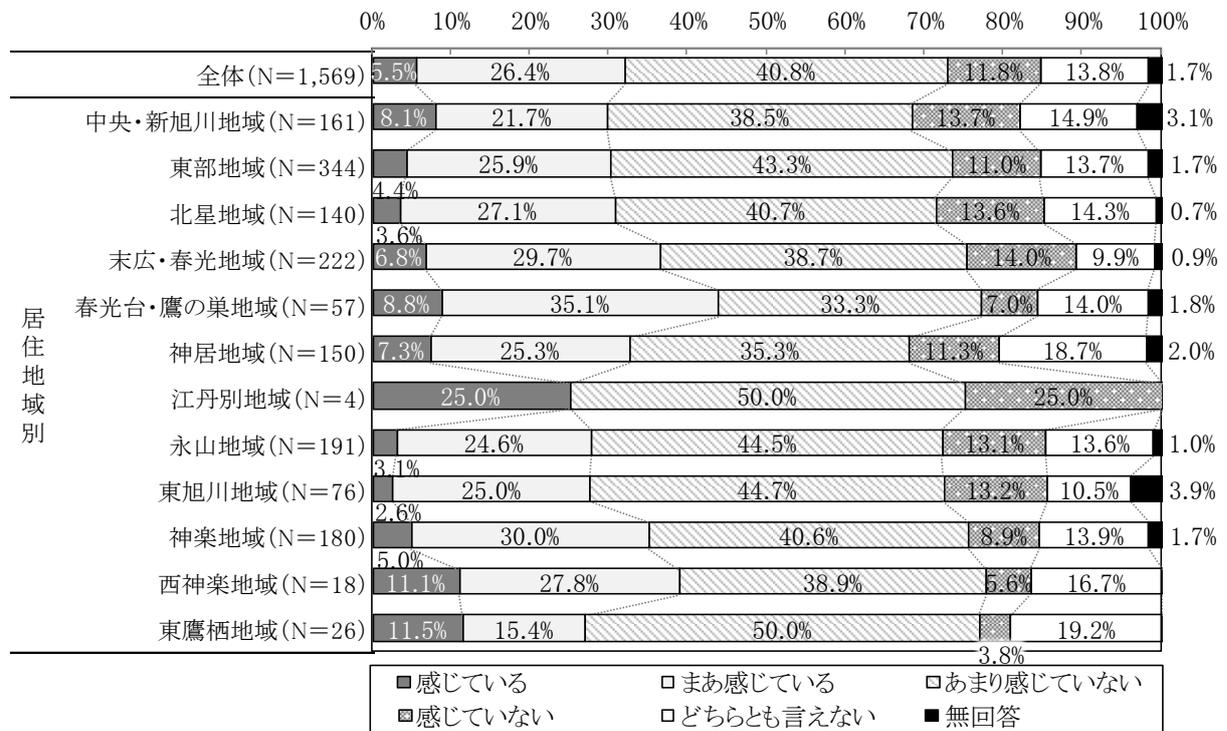
年齢層別にみると、「感じている」は70歳以上が11.5%が最も高く、18～19歳が6.7%で次いでいる。「感じている」と「まあ感じている」を合わせた割合でみると、70歳以上で47.0%と最も高く、40～49歳が30.3%と次いでいる。50歳以上からは年齢が上がるにつれて、市民の協力を得ながら推進しているという回答が増える傾向がある。

【市政の推進体制】（年齢層別，通算居住年数別）



市政の推進体制について居住地域別にみると、「感じている」という回答は江丹別地域が25.0%と最も高く、次いで東鷹栖地域が11.5%、西神楽地域が11.1%、春光台・鷹の巣地域が8.8%の順となっている。「感じている」と「まあ感じている」を合わせた割合でみると、春光台・鷹の巣地域が43.9%と最も高く、西神楽地域が38.9%と次いでいる。

【市政の推進体制】（居住地域別）



### 3 行政サービスの満足度

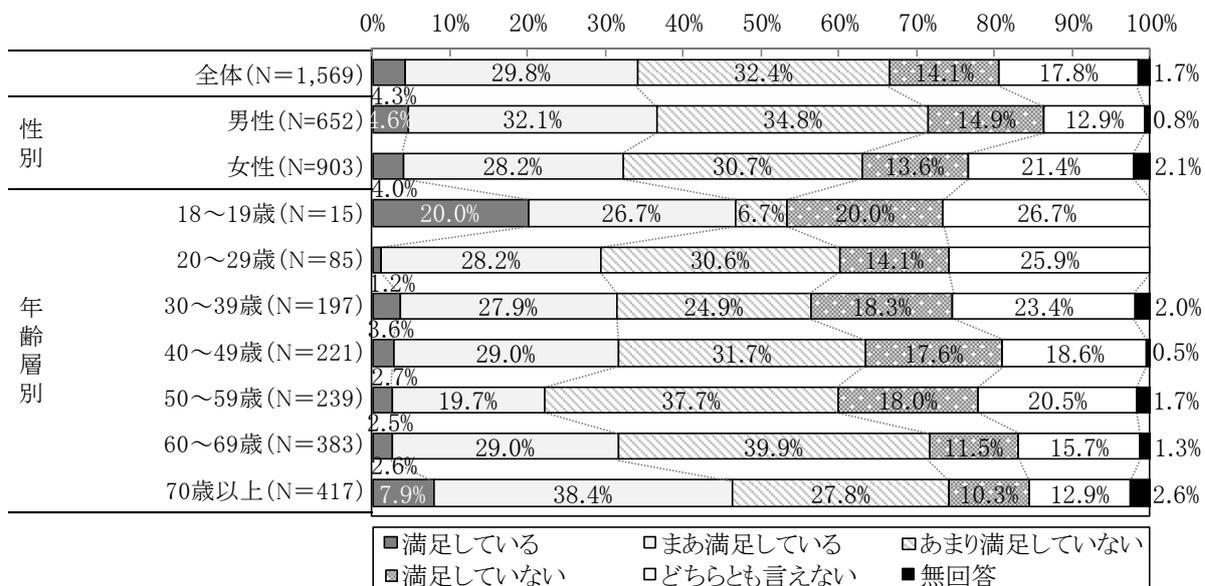
問7 あなたは、市の行政サービスに満足していますか。

行政サービスの満足度について、全体では、「満足している」が4.3%、「まあ満足している」が29.8%で、合わせて34.1%の回答者が行政サービスに満足していると回答している。

性別にみると、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた回答の割合は、男性が36.7%で、女性の32.2%を4.5ポイント上回っている。

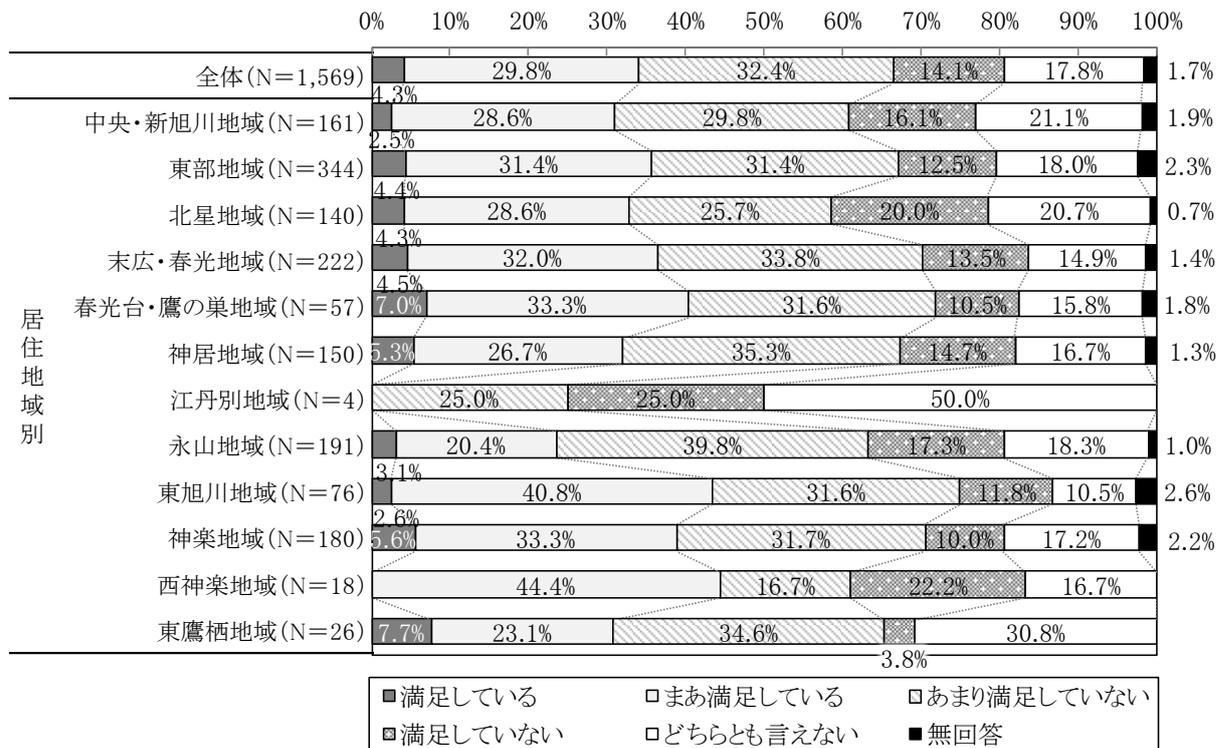
年齢層別にみると、「満足している」は18～19歳が20.0%と最も高く、他の年齢層と比べて高くなっている。「満足している」と「まあ満足している」を合わせた回答の割合は、18～19歳が46.7%と最も高く、次いで70歳以上が46.3%となっており、50～59歳の22.2%が最も低くなっている。

【行政サービスの満足度】（年齢層別、通算居住年数別）



行政サービスの満足度について居住地域別にみると、「満足している」という回答は東鷹栖地域が7.7%と最も高く、次いで春光台・鷹の巣地域が7.0%、神楽地域が5.6%、神居地域が5.3%の順となっている。「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合で見ると、西神楽地域が44.4%と最も高く、次いで東旭川地域の43.4%となっている。

【行政サービスの満足度】（居住地域別）



#### 4 旭川市の暮らしやすさ

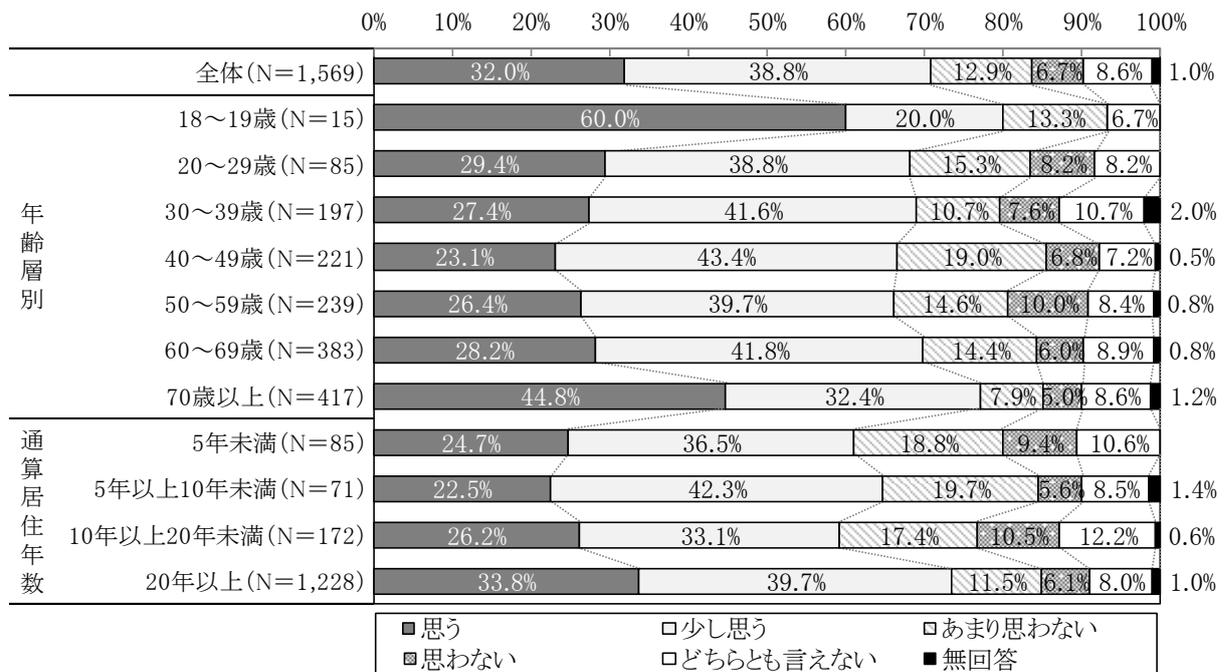
問8 あなたは、旭川市は暮らしやすいまちであると思いますか。

暮らしやすさについて、全体では、「思う」が32.0%、「少し思う」が38.8%で、合わせて70.8%の回答者が暮らしやすいと回答している。

年齢層別にみると、18～19歳の60.0%が「思う」と回答しており、40～49歳以上からは年齢層が上がるにつれて「思う」という回答が増える傾向がある。「思う」と「少し思う」を合わせた割合でみると、18～19歳では80.0%となっており、いずれの年齢層においても60%を超える回答者が暮らしやすいと回答している。

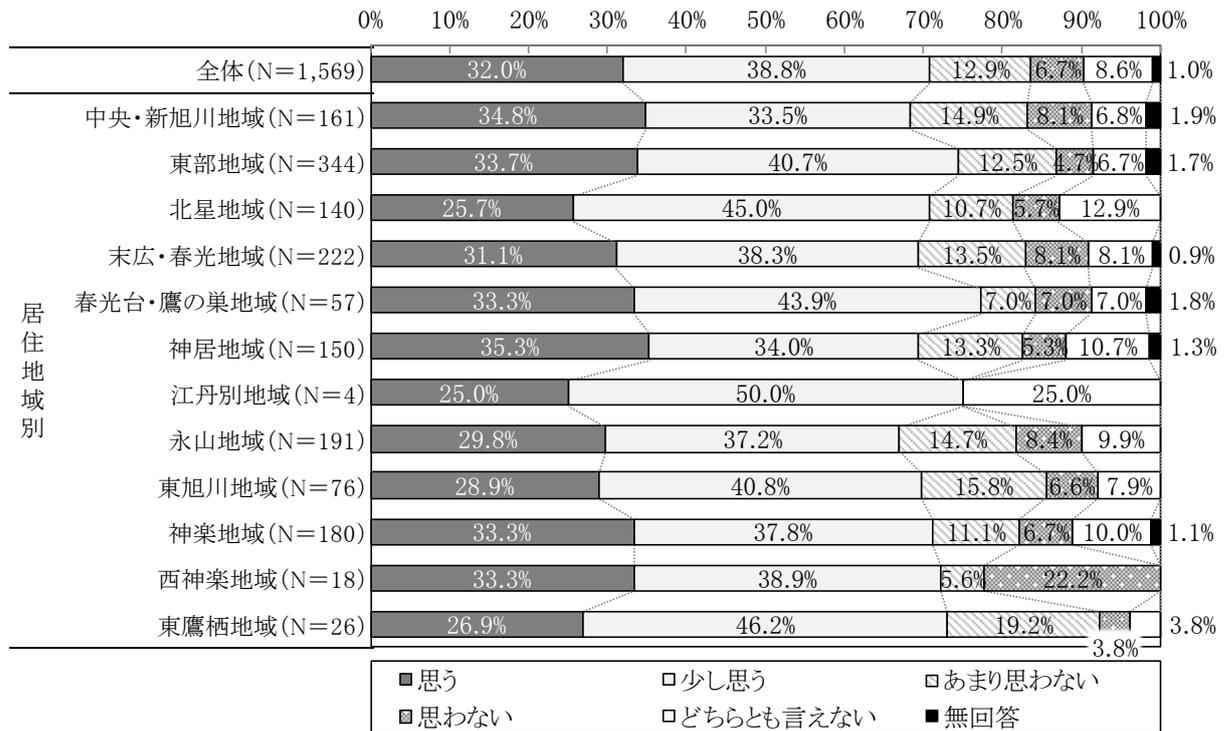
通算居住年数別にみると、「思う」という回答は20年以上が33.8%と最も高く、10年以上20年未満が26.2%と次いでいる。「思う」と「少し思う」を合わせた割合でみると、20年以上で73.5%と最も高くなっている。

【旭川市の暮らしやすさ】（年齢層別、通算居住年数別）



暮らしやすさについて居住地域別にみると、「思う」という回答は神居地域が 35.3%と最も高く、次いで中央・新旭川地域が 34.8%、東部地域が 33.7%、春光台・鷹の巣地域、神楽地域、西神楽地域が 33.3%の順となっている。「思う」と「少し思う」を合わせた割合で見ると、春光台・鷹の巣地域が 77.2%と最も高く、永山地域の 67.0%が最も低くなっている。

【旭川市の暮らしやすさ】（居住地域別）



## II-3 各行政分野に対する現在の状況と今後の重要度について

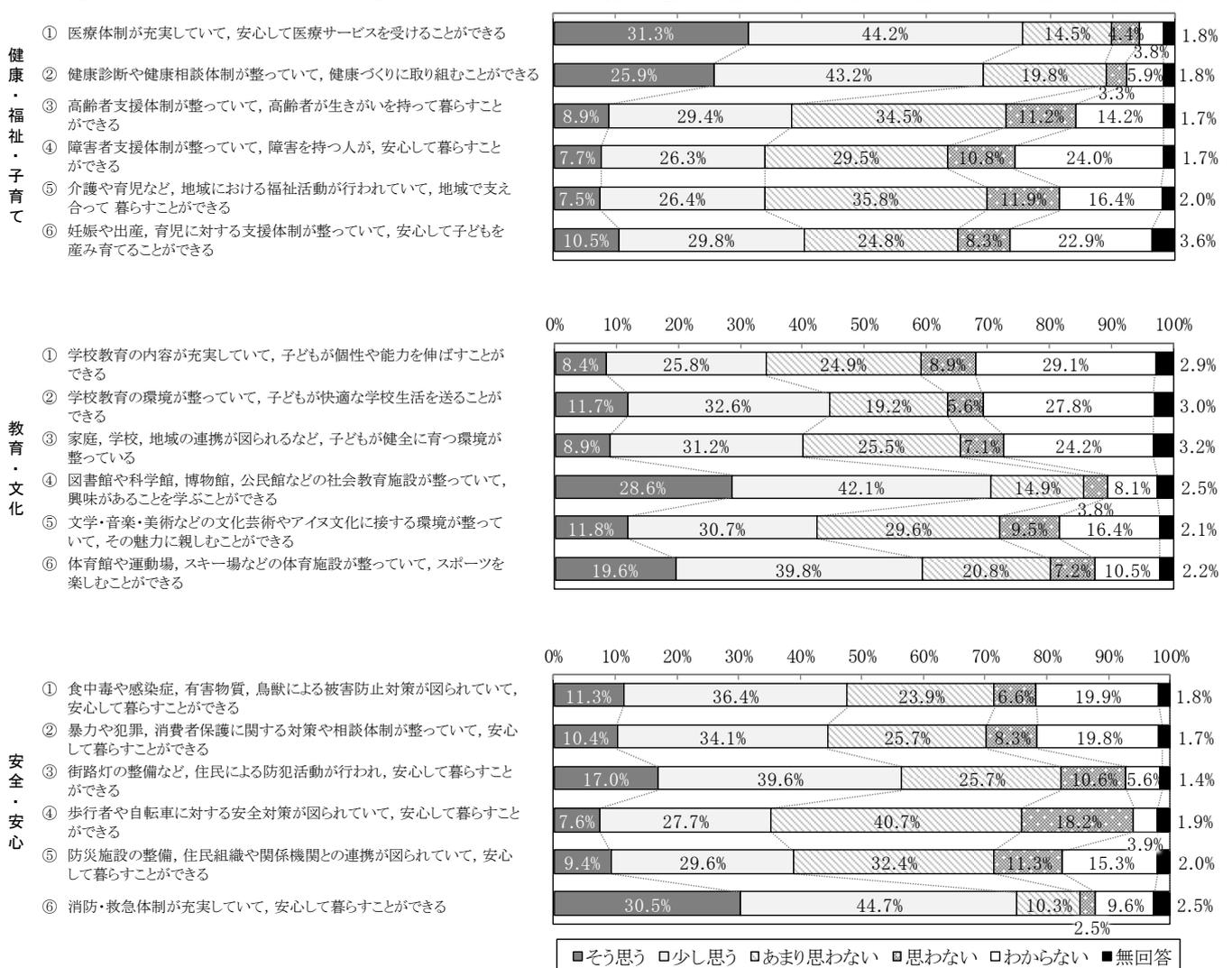
問9 各行政分野の項目について、どのように感じていますか。(現在の状況と今後の重要度)

### 1 各行政分野に対する全体的評価と今後の重要度

#### (1) 現在の状況と今後の重要度に関する評価

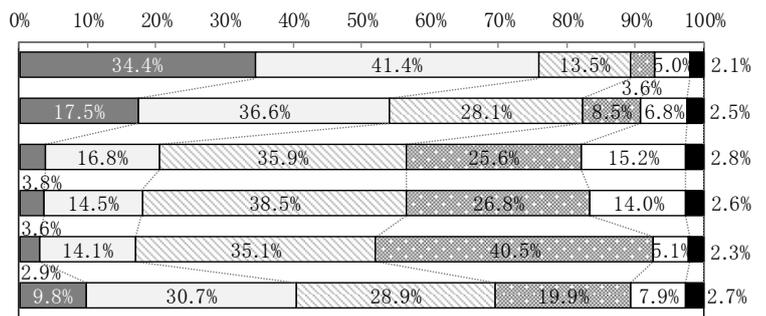
各行政分野に対する評価（現在の状況）をみると、「そう思う」と「少し思う」を合わせた回答の割合は、環境・都市基盤の「②豊かな自然環境が保全され、緑などの美しい自然を身近に感じることができる」が82.6%で最も高くなっている。一方、「思わない」と「あまり思わない」を合わせた回答の割合は、産業・交流の「⑤中心市街地の活性化が図られていて、魅力とにぎわいがある」が75.6%で最も高くなっている。

【各行政分野に対する評価】（現在の状況）



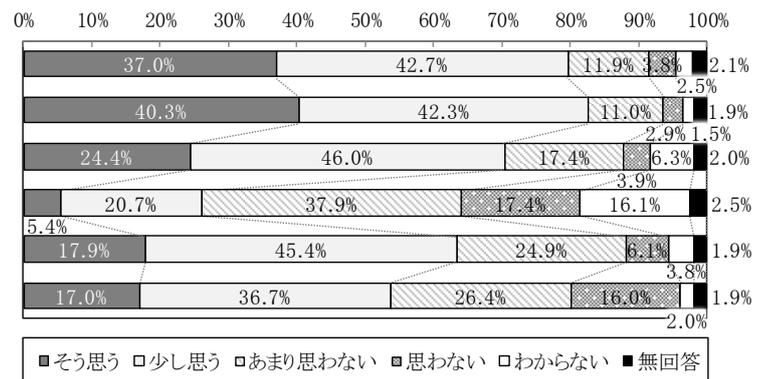
産業・交流

- ① 良質な農産物が生産・販売されるなど、農業が盛んである
- ② 魅力のある地場産品が生産・販売されるなど、地場産業に活気がある
- ③ 企業誘致や地元企業の新事業への進出などが促進されていて、地域経済が活性化している
- ④ 就業・雇用に対する支援対策が図られていて、安心して働くことができる
- ⑤ 中心市街地の活性化が図られていて、魅力とにぎわいがある
- ⑥ 観光資源に魅力があり、国外や道外などから多くの観光客が訪れている



環境・都市基盤

- ① 水質汚濁や大気汚染、騒音が少なく、良好な環境で生活できる
- ② 豊かな自然環境が保全され、緑などの美しい自然を身近に感じることができる
- ③ ごみの減量化やリサイクルが推進されていて、環境にやさしい暮らしができる
- ④ 省エネルギーや太陽光などの再生可能エネルギーの普及が図られていて、環境にやさしい暮らしができる
- ⑤ 公園・緑地などの憩いの場や住環境などが整っていて、快適に暮らすことができる
- ⑥ 道路や交通網が整っていて、公共交通機関や自家用車、自転車などで快適に移動することができる



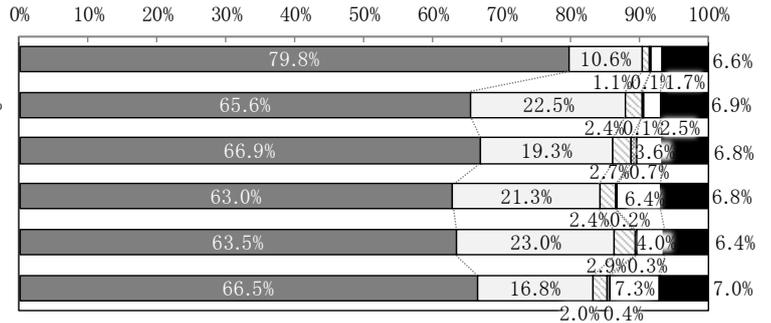
今後の重要度についての意向をみると、「重要である」と「少し重要である」を合わせた重要という回答の割合は、健康・福祉・子育ての「①医療体制が充実していて、安心して医療サービスを受けることができる」が90.4%で最も高くなっている。

それ以外では、教育・文化の「⑤文学・音楽・美術などの文化芸術やアイヌ文化に接する環境が整っていて、その魅力に親しむことができる」、「⑥体育館や運動場、スキー場などの体育施設が整っていて、スポーツを楽しむことができる」、産業・交流の「③企業誘致や地元企業の新事業への進出などが促進されていて、地域経済が活性化している」、「⑥観光資源に魅力があり、国外や道外などから多くの観光客が訪れている」以外のすべての項目で80%を超えている。

## 【各行政分野に対する評価】（今後の重要度）

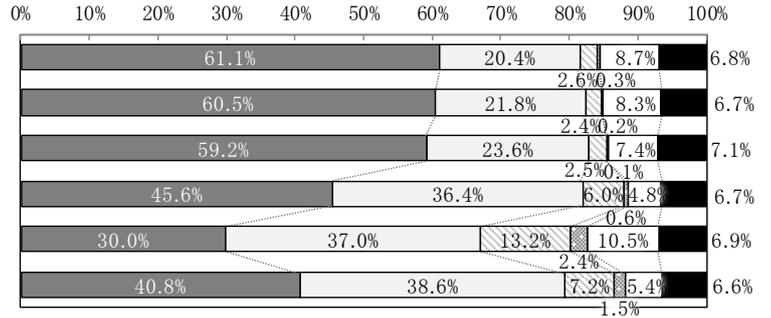
### 健康・福祉・子育て

- ① 医療体制が充実していて、安心して医療サービスを受けることができる
- ② 健康診断や健康相談体制が整っていて、健康づくりに取り組むことができる
- ③ 高齢者支援体制が整っていて、高齢者が生きがいを持って暮らすことができる
- ④ 障害者支援体制が整っていて、障害を持つ人が、安心して暮らすことができる
- ⑤ 介護や育児など、地域における福祉活動が行われていて、地域で支え合って暮らすことができる
- ⑥ 妊娠や出産、育児に対する支援体制が整っていて、安心して子どもを産み育てることができる



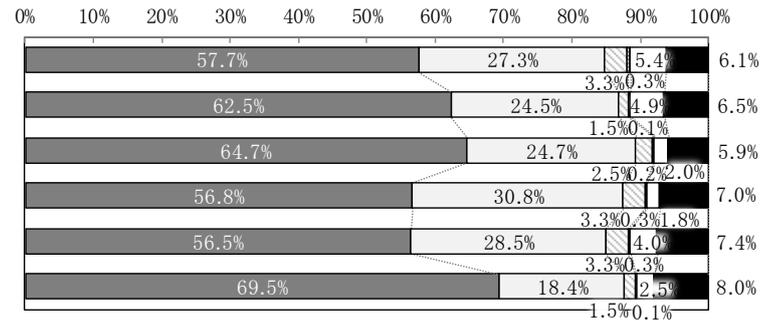
### 教育・文化

- ① 学校教育の内容が充実していて、子どもが個性や能力を伸ばすことができる
- ② 学校教育の環境が整っていて、子どもが快適な学校生活を送ることができる
- ③ 家庭、学校、地域の連携が図られるなど、子どもが健全に育つ環境が整っている
- ④ 図書館や科学館、博物館、公民館などの社会教育施設が整っていて、興味があることを学ぶことができる
- ⑤ 文学・音楽・美術などの文化芸術やアイヌ文化に接する環境が整っていて、その魅力に親しむことができる
- ⑥ 体育館や運動場、スキー場などの体育施設が整っていて、スポーツを楽しむことができる



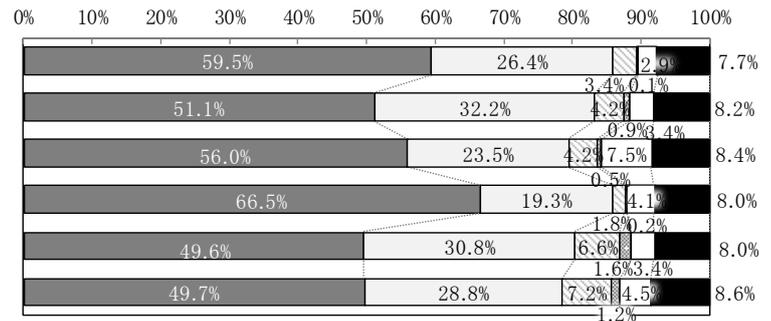
### 安全・安心

- ① 食中毒や感染症、有害物質、鳥獣による被害防止対策が図られていて、安心して暮らすことができる
- ② 暴力や犯罪、消費者保護に関する対策や相談体制が整っていて、安心して暮らすことができる
- ③ 街路灯の整備など、住民による防犯活動が行われ、安心して暮らすことができる
- ④ 歩行者や自転車に対する安全対策が図られていて、安心して暮らすことができる
- ⑤ 防災施設の整備、住民組織や関係機関との連携が図られていて、安心して暮らすことができる
- ⑥ 消防・救急体制が充実していて、安心して暮らすことができる



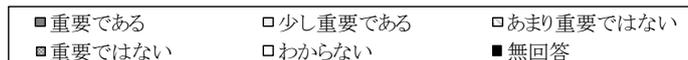
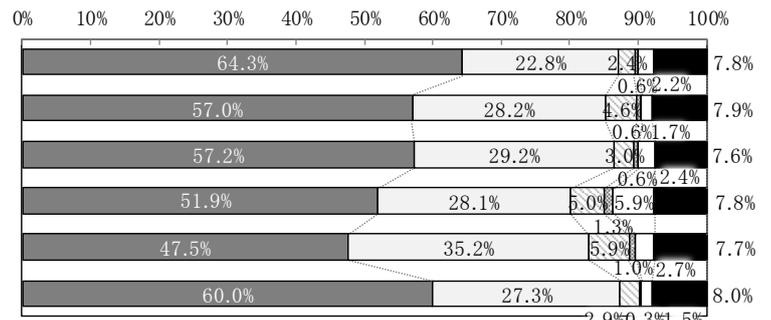
### 産業・交流

- ① 良質な農産物が生産・販売されるなど、農業が盛んである
- ② 魅力のある地場産品が生産・販売されるなど、地場産業に活気がある
- ③ 企業誘致や地元企業の新事業への進出などが促進されていて、地域経済が活性化している
- ④ 就業・雇用に対する支援対策が図られていて、安心して働くことができる
- ⑤ 中心市街地の活性化が図られていて、魅力にぎわいがある
- ⑥ 観光資源に魅力があり、国外や道外などから多くの観光客が訪れている



### 環境・都市基盤

- ① 水質汚濁や大気汚染、騒音が少なく、良好な環境で生活できる
- ② 豊かな自然環境が保全され、緑などの美しい自然を身近に感じることができる
- ③ ごみの減量化やリサイクルが推進されていて、環境にやさしい暮らしができる
- ④ 省エネルギーや太陽光などの再生可能エネルギーの普及が図られていて、環境にやさしい暮らしができる
- ⑤ 公園・緑地などの憩いの場や住環境などが整っていて、快適に暮らすことができる
- ⑥ 道路や交通網が整っていて、公共交通機関や自家用車、自転車などで快適に移動することができる



各行政分野に対する評価（現在の状況）について、各項目を回答者の評価で分類すると、下表のとおりとなる。

分類	項目	(単位:%)	
		「そう思う」+「少し思う」	「思わない」+「あまり思わない」
「そう思う」+「少し思う」が第1位 ～評価が高い項目	(環境・都市基盤)② 豊かな自然環境が保全され、緑などの美しい自然を身近に感じることができる	82.7%	13.9%
	(環境・都市基盤)① 水質汚濁や大気汚染、騒音が少なく、良好な環境で生活できる	79.7%	15.7%
	(産業・交流)① 良質な農産物が生産・販売されるなど、農業が盛んである	75.8%	17.1%
	(健康・福祉・子育て)① 医療体制が充実していて、安心して医療サービスを受けることができる	75.5%	18.9%
	(安全・安心)⑥ 消防・救急体制が充実していて、安心して暮らすことができる	75.1%	12.8%
	(教育・文化)④ 図書館や科学館、博物館、公民館などの社会教育施設が整っていて、興味があることを学ぶことができる	70.6%	18.7%
	(環境・都市基盤)③ ごみの減量化やリサイクルが推進されていて、環境にやさしい暮らしができる	70.4%	21.3%
	(健康・福祉・子育て)② 健康診断や健康相談体制が整っていて、健康づくりに取り組むことができる	69.2%	23.1%
	(環境・都市基盤)⑤ 公園・緑地などの憩いの場や住環境などが整っていて、快適に暮らすことができる	63.4%	31.0%
	(教育・文化)⑥ 体育館や運動場、スキー場などの体育施設が整っていて、スポーツを楽しむことができる	59.3%	28.0%
	(安全・安心)③ 街路灯の整備など、住民による防犯活動が行われ、安心して暮らすことができる	56.6%	36.4%
	(産業・交流)② 魅力のある地場産品が生産・販売されるなど、地場産業に活気がある	54.1%	36.6%
	(環境・都市基盤)⑥ 道路や交通網が整っていて、公共交通機関や自家用車、自転車などで快適に移動することができる	53.7%	42.4%
	(安全・安心)① 食中毒や感染症、有害物質、鳥獣による被害防止対策が図られていて、安心して暮らすことができる	47.7%	30.5%
	(安全・安心)② 暴力や犯罪、消費者保護に関する対策や相談体制が整っていて、安心して暮らすことができる	44.5%	34.1%
	(教育・文化)② 学校教育の環境が整っていて、子どもが快適な学校生活を送ることができる	44.4%	24.9%
	(教育・文化)⑤ 文学・音楽・美術などの文化芸術やアイヌ文化に接する環境が整っていて、その魅力に親しむことができる	42.4%	39.1%
	(健康・福祉・子育て)⑥ 妊娠や出産、育児に対する支援体制が整っていて、安心して子どもを産み育てることができる	40.3%	33.1%
(教育・文化)③ 家庭、学校、地域の連携が図られるなど、子どもが健全に育つ環境が整っている	40.1%	32.6%	
(教育・文化)① 学校教育の内容が充実していて、子どもが個性や能力を伸ばすことができる	34.2%	33.8%	
「思わない」+「あまり思わない」が第1位 ～評価が低い項目	(産業・交流)⑤ 中心市街地の活性化が図られていて、魅力とにぎわいがある	17.0%	75.6%
	(産業・交流)④ 就業・雇用に対する支援対策が図られていて、安心して働くことができる	18.0%	65.3%
	(産業・交流)③ 企業誘致や地元企業の新事業への進出などが促進されていて、地域経済が活性化している	20.5%	61.5%
	(安全・安心)④ 歩行者や自転車に対する安全対策が図られていて、安心して暮らすことができる	35.3%	58.9%
	(環境・都市基盤)④ 省エネルギーや太陽光などの再生可能エネルギーの普及が図られていて、環境にやさしい暮らしができる	26.1%	55.3%
	(産業・交流)⑥ 観光資源に魅力があり、国外や道外などから多くの観光客が訪れている	40.5%	48.9%
	(健康・福祉・子育て)⑤ 介護や育児など、地域における福祉活動が行われていて、地域で支え合って暮らすことができる	34.0%	47.6%
	(健康・福祉・子育て)③ 高齢者支援体制が整っていて、高齢者が生きがいを持って暮らすことができる	38.4%	45.7%
	(安全・安心)⑤ 防災施設の整備、住民組織や関係機関との連携が図られていて、安心して暮らすことができる	39.0%	43.7%
	(健康・福祉・子育て)④ 障害者支援体制が整っていて、障害を持つ人が、安心して暮らすことができる	34.0%	40.3%

## (2) 評価点分析

各行政分野に対する評価（現在の状況）については、「そう思う」を4点、「少し思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「思わない」を1点、「わからない」を0点、として、各回答を点数化し、各項目ごとに合計した点数に「無回答」を除いた回答数で割った平均値を算出し、それぞれの項目の評価点とした。

同様に、「重要である」を4点、「少し重要である」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点、「どちらともいえない」を0点、として評価点を算出した。

### 【各行政分野に対する評価】（現在の状況）

各行政分野に対する評価（現在の状況）について、最も評価が高い項目は、環境・都市基盤の「②豊かな自然環境が保全され、緑などの美しい自然を身近に感じることができる」の3.24となっている。一方、評価の低い項目としては、産業・交流の「⑤中心市街地の活性化が図られていて、魅力とにぎわいがある」が1.78、「④就業・雇用に対する支援対策が図られていて、安心して働くことができる」が1.94、「③企業誘致や地元企業の新事業への進出などが促進されていて、地域経済が活発化している」が1.98となっている。

### 【今後の重要度】

今後の重要度については、全ての項目で評価点が3以上となっている。最も評価点(重要度)が高い項目は健康・福祉・子育ての「①医療体制が充実していて、安心して医療サービスを受けることができる」の3.85となっており、次いで健康・福祉・子育ての「⑥妊娠や出産、育児に対する支援体制が整っていて、安心して子どもを産み育てることができる」が3.74、「②健康診断や健康相談体制が整っていて、健康づくりに取り組むことができる」と「③高齢者支援体制が整っていて、高齢者が生きがいを持って暮らすことができる」が3.70と、健康・福祉・子育てについて重要と考えている傾向がみられる。

## 【各行政分野に対する「現在の状況」と「今後の重要度」の評価点】

### 【現在の状況】

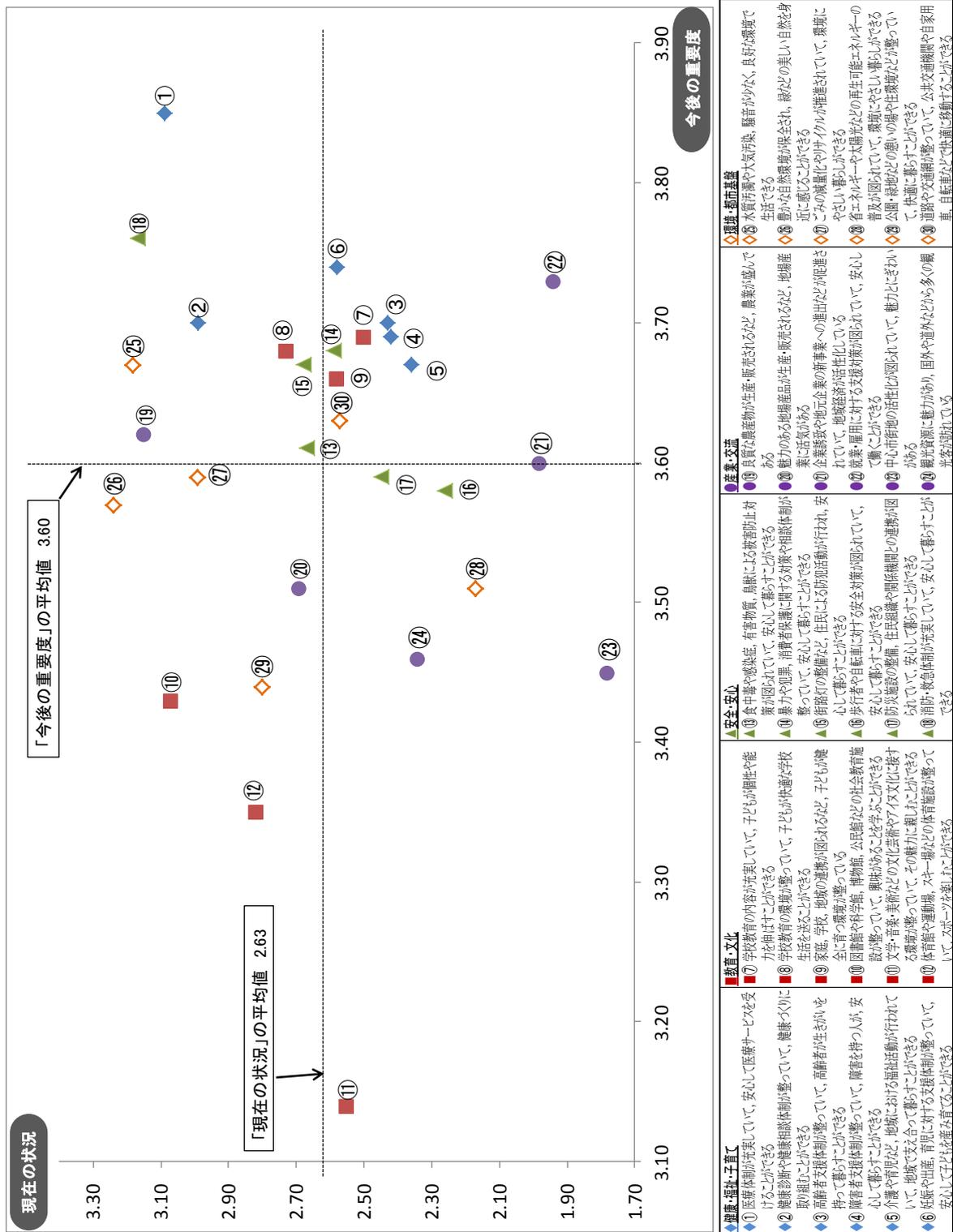
	0	1	2	3	4	5
健康・福祉・子育て	① 医療体制が充実していて、安心して医療サービスを受けることができる					3.09
	② 健康診断や健康相談体制が整っていて、健康づくりに取り組むことができる					2.99
	③ 高齢者支援体制が整っていて、高齢者が生きがいを持って暮らすことができる					2.43
	④ 障害者支援体制が整っていて、障害を持つ人が、安心して暮らすことができる					2.42
	⑤ 介護や育児など、地域における福祉活動が行われていて、地域で支え合って暮らすことができる					2.36
	⑥ 妊娠や出産、育児に対する支援体制が整っていて、安心して子どもを産み育てることができる					2.58
教育・文化	① 学校教育の内容が充実していて、子どもが個性や能力を伸ばすことができる					2.50
	② 学校教育の環境が整っていて、子どもが快適な学校生活を送ることができる					2.73
	③ 家庭、学校、地域の連携が図られるなど、子どもが健全に育つ環境が整っている					2.58
	④ 図書館や科学館、博物館、公民館などの社会教育施設が整っていて、興味があることを学ぶことができる					3.07
	⑤ 文学・音楽・美術などの文化芸術やアイヌ文化に接する環境が整っていて、その魅力に親しむことができる					2.55
	⑥ 体育館や運動場、スキー場などの体育施設が整っていて、スポーツを楽しむことができる					2.82
安全・安心	① 食中毒や感染症、有害物質、鳥獣による被害防止対策が図られていて、安心して暮らすことができる					2.67
	② 暴力や犯罪、消費者保護に関する対策や相談体制が整っていて、安心して暮らすことができる					2.59
	③ 街路灯の整備など、住民による防犯活動が行われ、安心して暮らすことができる					2.68
	④ 歩行者や自転車に対する安全対策が図られていて、安心して暮らすことができる					2.26
	⑤ 防災施設の整備、住民組織や関係機関との連携が図られていて、安心して暮らすことができる					2.45
	⑥ 消防・救急体制が充実していて、安心して暮らすことができる					3.17
産業・交流	① 良質な農産物が生産・販売されるなど、農業が盛んである					3.15
	② 魅力のある地場産品が生産・販売されるなど、地場産業に活気がある					2.69
	③ 企業誘致や地元企業の新事業への進出などが促進されていて、地域経済が活性化している					1.98
	④ 就業・雇用に対する支援対策が図られていて、安心して働くことができる					1.94
	⑤ 中心市街地の活性化が図られていて、魅力とにぎわいがある					1.78
	⑥ 観光資源に魅力があり、国外や道外などから多くの観光客が訪れている					2.34
環境・都市基盤	① 水質汚濁や大気汚染、騒音が少なく、良好な環境で生活できる					3.18
	② 豊かな自然環境が保全され、緑などの美しい自然を身近に感じることができる					3.24
	③ ごみの減量化やリサイクルが推進されていて、環境にやさしい暮らしができる					2.99
	④ 省エネルギーや太陽光などの再生可能エネルギーの普及が図られていて、環境にやさしい暮らしができる					2.17
	⑤ 公園・緑地などの憩いの場や住環境などが整っていて、快適に暮らすことができる					2.80
	⑥ 道路や交通網が整っていて、公共交通機関や自家用車、自転車などで快適に移動することができる					2.57

### 【今後の重要度】

	0	1	2	3	4	5
健康・福祉・子育て	① 医療体制が充実していて、安心して医療サービスを受けることができる					3.85
	② 健康診断や健康相談体制が整っていて、健康づくりに取り組むことができる					3.70
	③ 高齢者支援体制が整っていて、高齢者が生きがいを持って暮らすことができる					3.70
	④ 障害者支援体制が整っていて、障害を持つ人が、安心して暮らすことができる					3.69
	⑤ 介護や育児など、地域における福祉活動が行われていて、地域で支え合って暮らすことができる					3.67
	⑥ 妊娠や出産、育児に対する支援体制が整っていて、安心して子どもを産み育てることができる					3.74
教育・文化	① 学校教育の内容が充実していて、子どもが個性や能力を伸ばすことができる					3.69
	② 学校教育の環境が整っていて、子どもが快適な学校生活を送ることができる					3.68
	③ 家庭、学校、地域の連携が図られるなど、子どもが健全に育つ環境が整っている					3.66
	④ 図書館や科学館、博物館、公民館などの社会教育施設が整っていて、興味があることを学ぶことができる					3.43
	⑤ 文学・音楽・美術などの文化芸術やアイヌ文化に接する環境が整っていて、その魅力に親しむことができる					3.14
	⑥ 体育館や運動場、スキー場などの体育施設が整っていて、スポーツを楽しむことができる					3.35
安全・安心	① 食中毒や感染症、有害物質、鳥獣による被害防止対策が図られていて、安心して暮らすことができる					3.61
	② 暴力や犯罪、消費者保護に関する対策や相談体制が整っていて、安心して暮らすことができる					3.68
	③ 街路灯の整備など、住民による防犯活動が行われ、安心して暮らすことができる					3.67
	④ 歩行者や自転車に対する安全対策が図られていて、安心して暮らすことができる					3.58
	⑤ 防災施設の整備、住民組織や関係機関との連携が図られていて、安心して暮らすことができる					3.59
	⑥ 消防・救急体制が充実していて、安心して暮らすことができる					3.76
産業・交流	① 良質な農産物が生産・販売されるなど、農業が盛んである					3.62
	② 魅力のある地場産品が生産・販売されるなど、地場産業に活気がある					3.51
	③ 企業誘致や地元企業の新事業への進出などが促進されていて、地域経済が活性化している					3.60
	④ 就業・雇用に対する支援対策が図られていて、安心して働くことができる					3.73
	⑤ 中心市街地の活性化が図られていて、魅力とにぎわいがある					3.45
	⑥ 観光資源に魅力があり、国外や道外などから多くの観光客が訪れている					3.46
環境・都市基盤	① 水質汚濁や大気汚染、騒音が少なく、良好な環境で生活できる					3.67
	② 豊かな自然環境が保全され、緑などの美しい自然を身近に感じることができる					3.57
	③ ごみの減量化やリサイクルが推進されていて、環境にやさしい暮らしができる					3.59
	④ 省エネルギーや太陽光などの再生可能エネルギーの普及が図られていて、環境にやさしい暮らしができる					3.51
	⑤ 公園・緑地などの憩いの場や住環境などが整っていて、快適に暮らすことができる					3.44
	⑥ 道路や交通網が整っていて、公共交通機関や自家用車、自転車などで快適に移動することができる					3.63

評価点を散布図で表すと、次のとおりである。

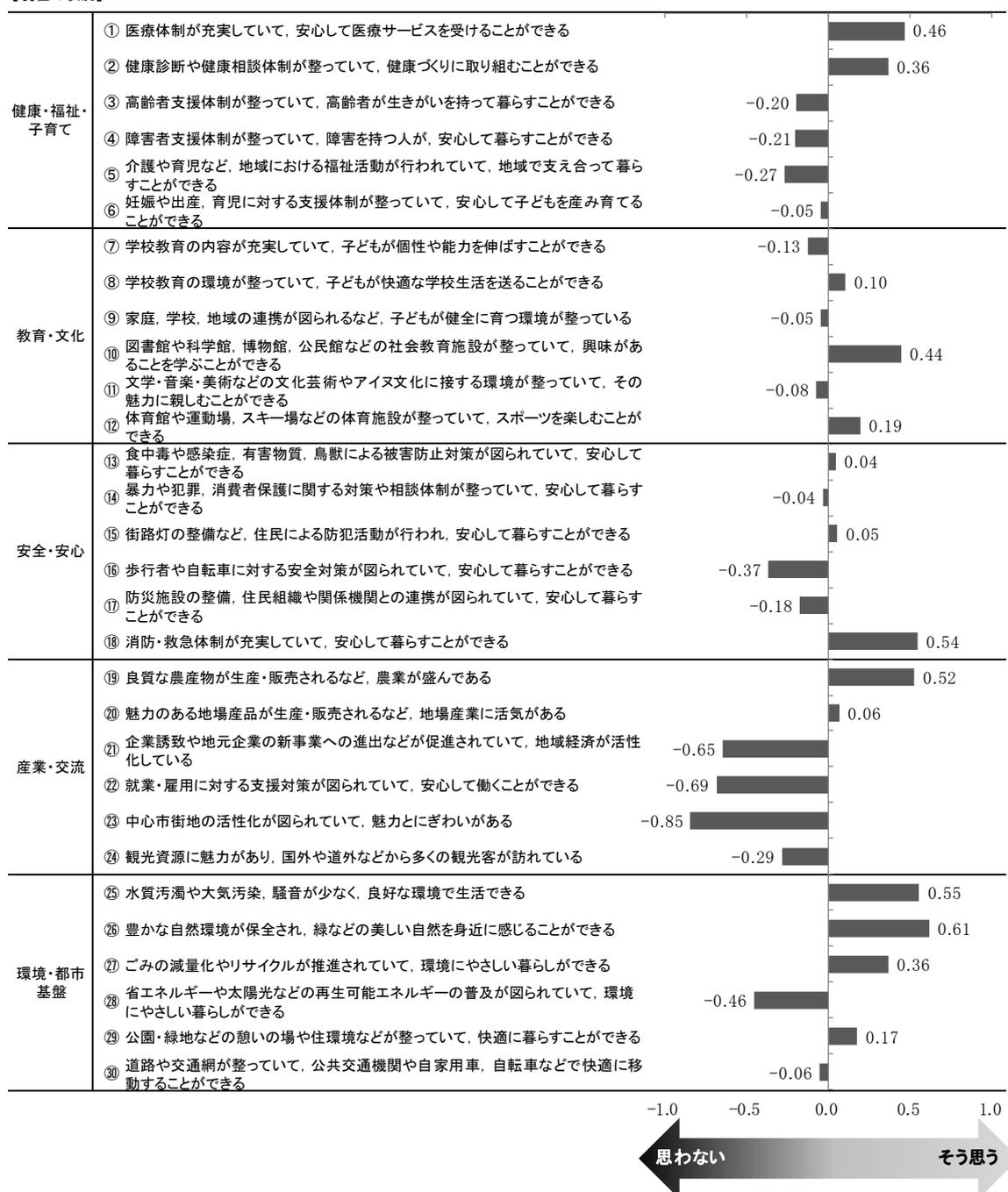
【現在の状況と今後の重要度の関係性】(評価点の散布図) 平成25年度調査



「現在の状況」の評価点の平均値（2.63）と、それぞれの項目の評価点の差をグラフで表すと、次のとおりである。

## 【「現在の状況」の評価】

【現在の状況】



「今後の重要性」の評価点の平均値（3.60）と、それぞれの項目の評価点の差をグラフで表すと、次のとおりである。

### 【「今後の重要性」の評価】

【今後の重要度】



-1.0      -0.5      0.0      0.5      1.0



## 2 各項目の状況と重要度

### (1) 健康・福祉・子育て

#### ① 医療体制が充実していて、安心して医療サービスを受けることができる

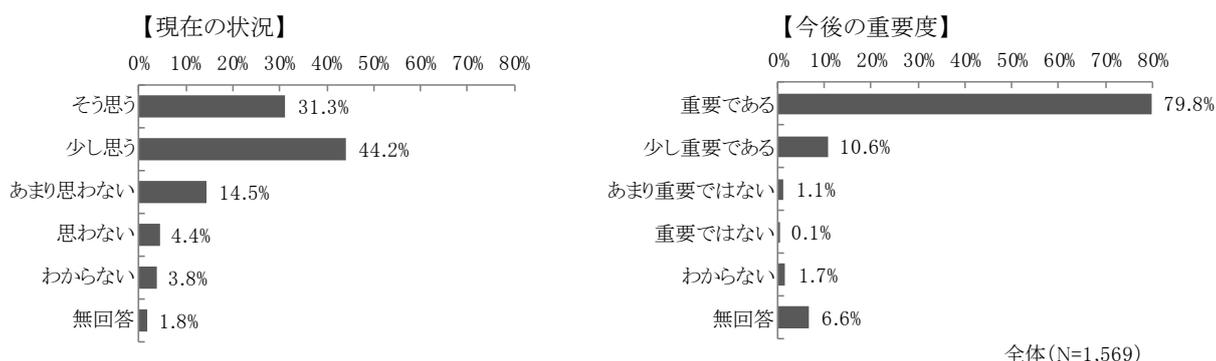
医療体制の充実度については、全体では、現在の状況は「少し思う」が44.2%と最も高くなっており、「そう思う」の31.3%を合わせた現在充実していると回答した割合は75.5%で、「あまり思わない」の14.5%と「思わない」の4.4%を合わせた現在充実していないと感じている割合18.9%を56.6ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が79.8%、「少し重要である」が10.6%で、重要であるという回答の割合は90.4%となっている。

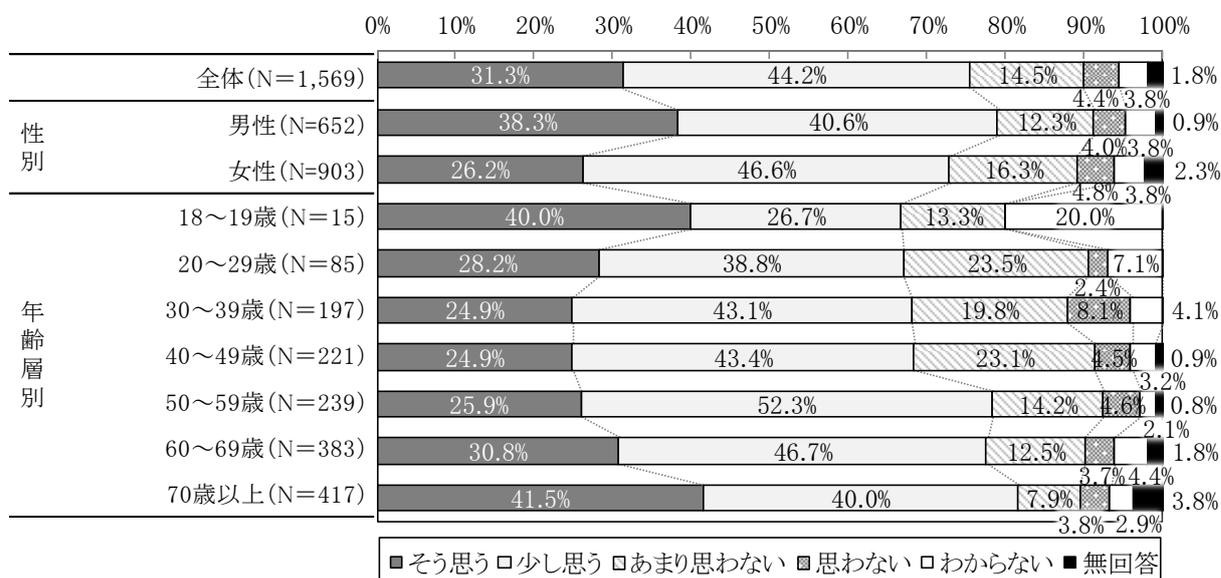
性別にみると、現在の充実度については男性の方が「そう思う」の割合が12.1ポイント高く、今後の重要度についてはほぼ同じ傾向を示している。

年齢層別にみると、現在充実していると感じている割合では70歳以上が高く、今後重要と感じている割合は20～29歳が高くなっている。

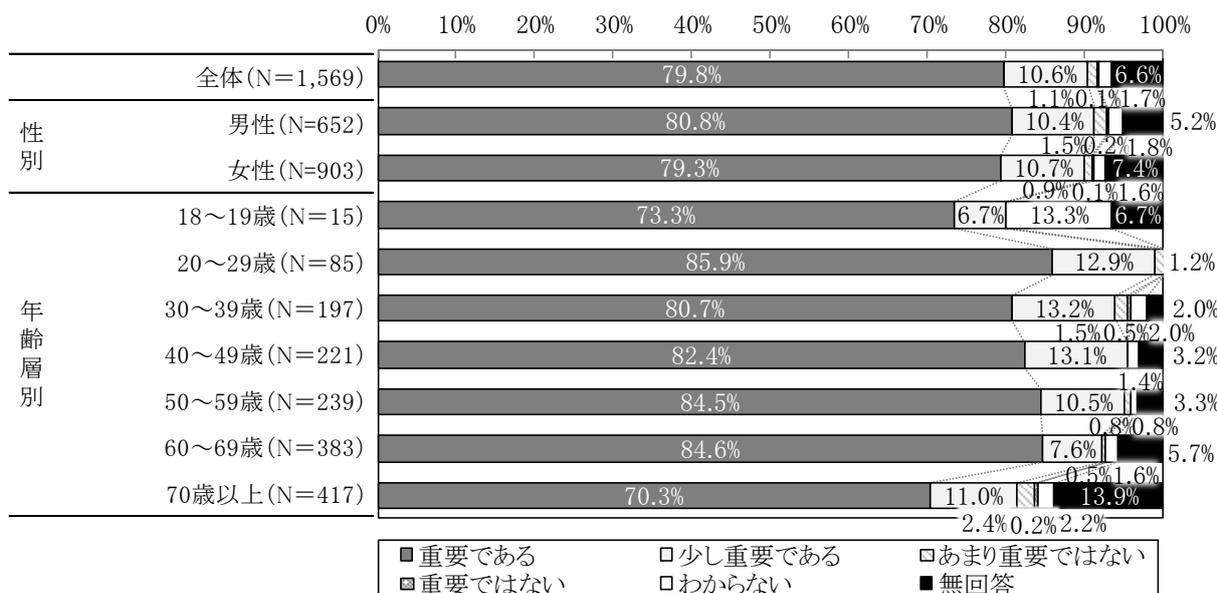
#### 【医療体制の充実度】（現在の状況と今後の重要度）



#### 【医療体制の充実度】（現在の状況・性別、年齢層別）



【医療体制の充実度】（今後の重要度・性別，年齢層別）



② 健康診断や健康相談体制が整っていて、健康づくりに取り組むことができる

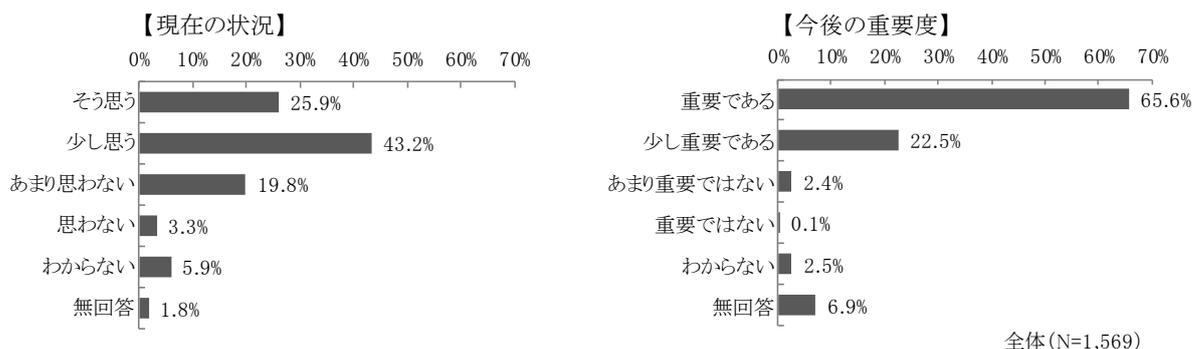
健康診断・健康相談等の整備について、全体では、現在の整備状況は「少し思う」が43.2%と最も高くなっている。「そう思う」の25.9%を合わせた現在整備されていると感じている割合は69.1%で、「思わない」の3.3%と「あまり思わない」の19.8%を合わせた現在整備されていないと感じている割合23.1%を、46.0ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が65.6%、「少し重要である」が22.5%で、重要であるという回答の割合は88.1%となっている。

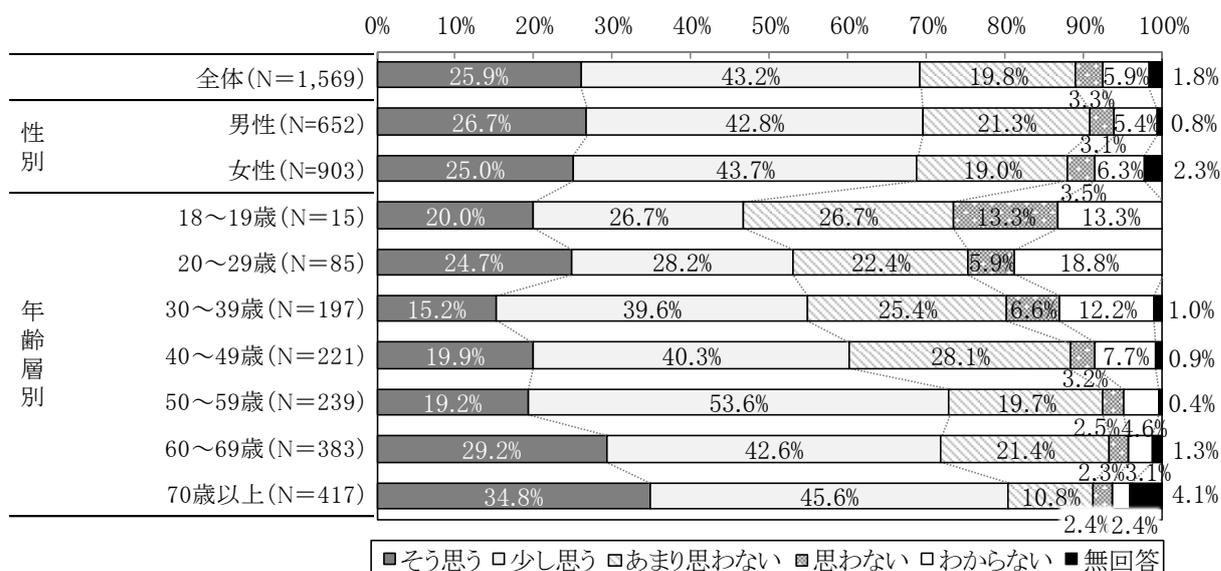
性別にみると、現在の整備状況についてはほぼ同じ傾向を示しており、今後の重要度についてもほぼ同じ傾向を示している。

年齢層別にみると、現在整備されていると感じている割合では70歳以上が80.4%と最も高く、今後重要と感じている割合は40～49歳が93.2%と最も高くなっている。

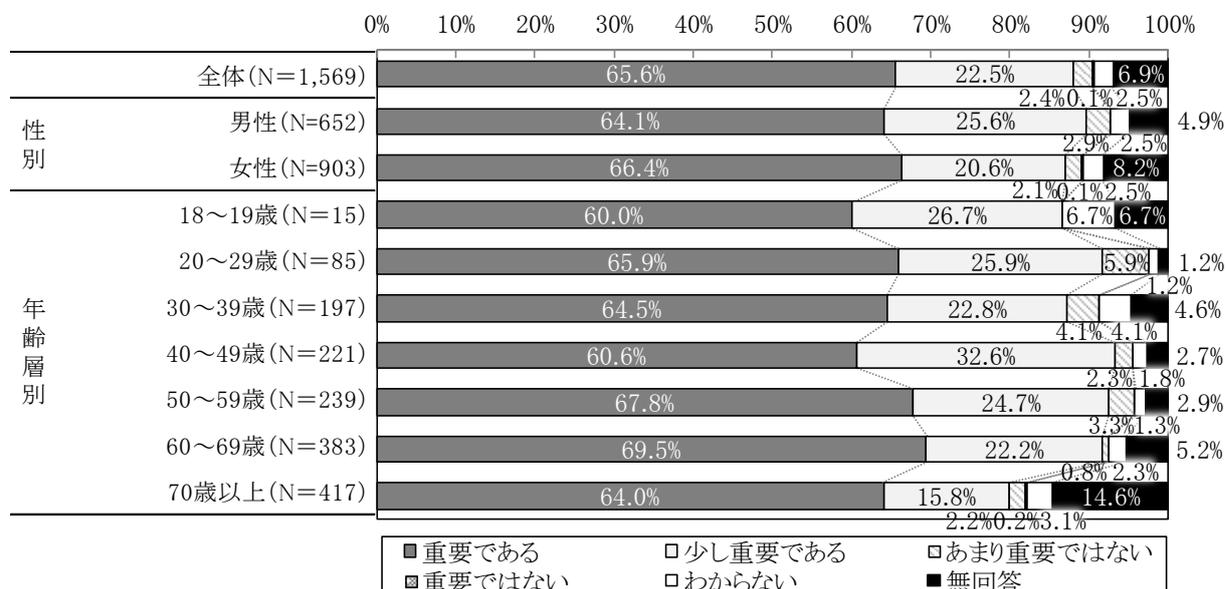
【健康診断・健康相談等の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【健康診断・健康相談等の整備（現在の状況・性別，年齢層別）】



【健康診断・健康相談等の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



③ 高齢者支援体制が整っていて、高齢者が生きがいを持って暮らすことができる

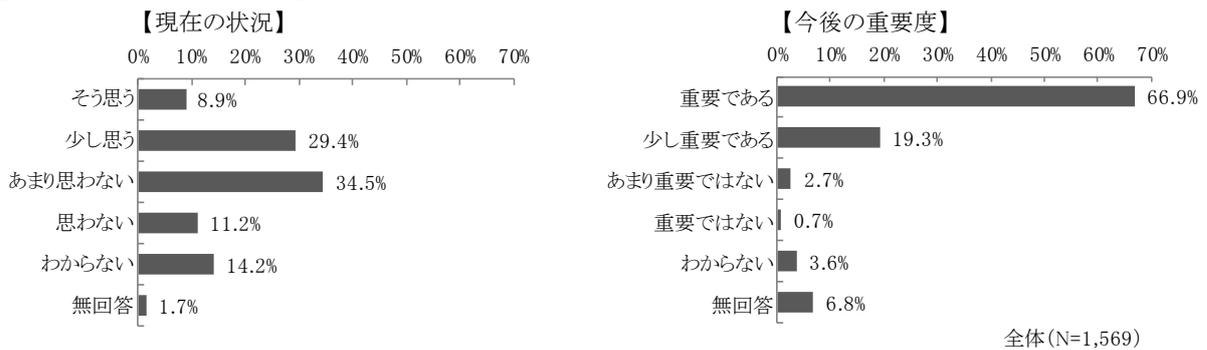
高齢者支援体制の整備について、全体では、現在の状況は「あまり思わない」が 34.5%と最も高くなっている。「そう思う」の 8.9%と「少し思う」の 29.4%を合わせた現在整備されていると感じている回答の割合は 38.3%で、「思わない」の 11.2%と「あまり思わない」を合わせた現在整備されていないと感じている割合 45.7%を、7.4 ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 66.9%、「少し重要である」が 19.3%で、重要であるという回答の割合は 86.2%となっている。

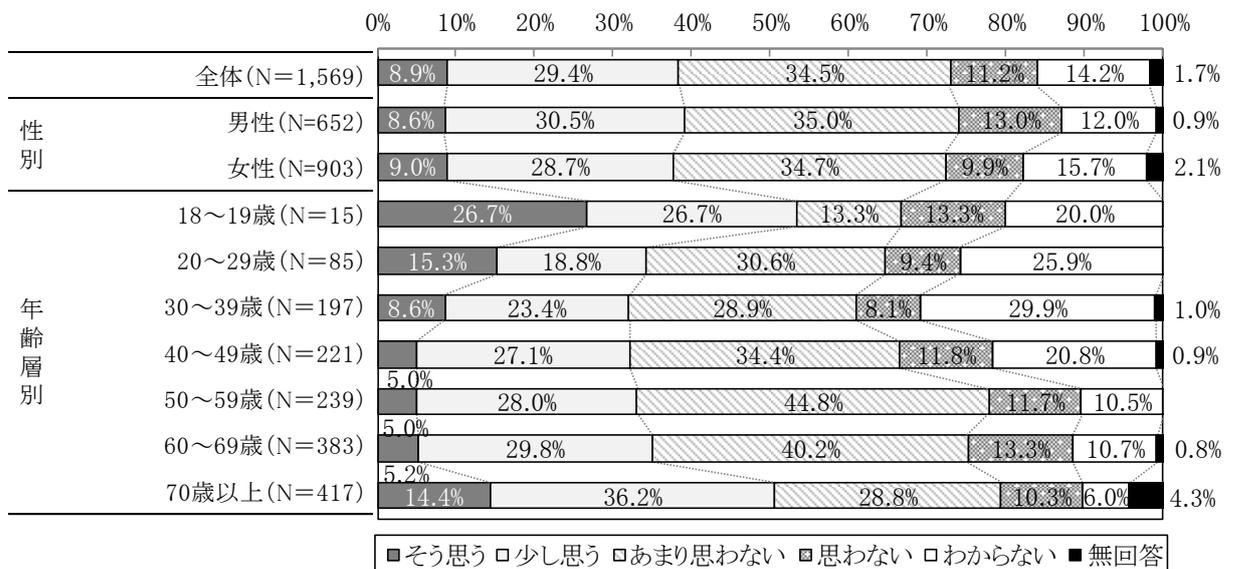
性別にみると、現在の整備状況についてはほぼ同じ傾向を示しており、今後の重要度については女性の方が「重要である」という回答が 4.7 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在整備されていると感じている割合では 18～19 歳が高く、今後重要であるという割合は 18～19 歳と 50～59 歳で高くなっている。

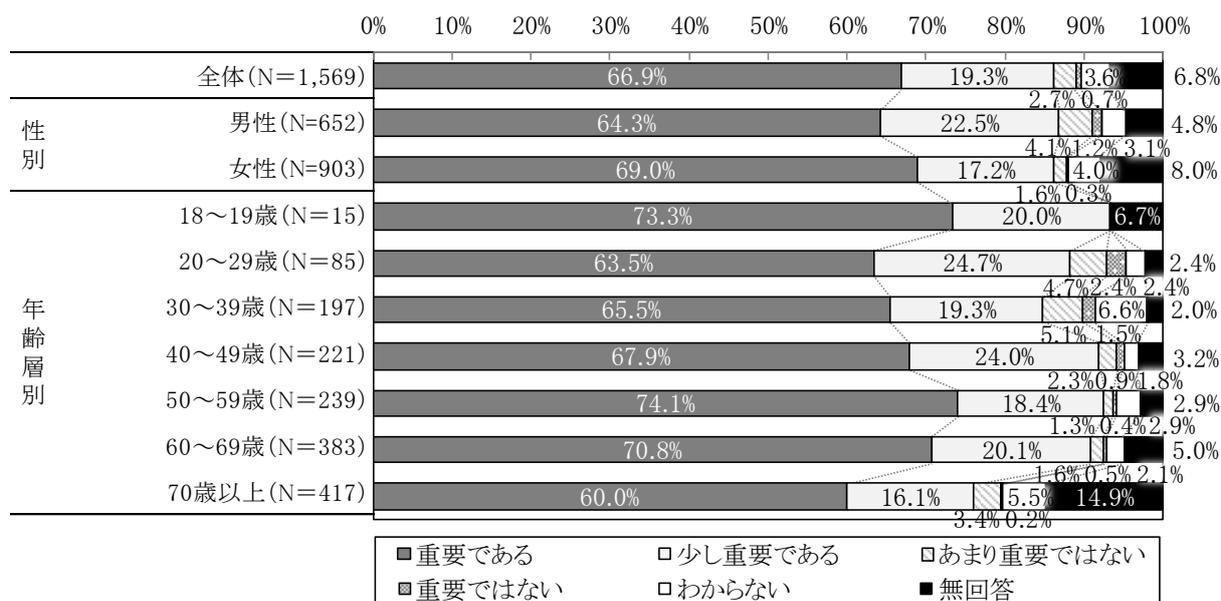
【高齢者支援体制の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【高齢者支援体制の整備】（現在の状況・性別、年齢層別）



【高齢者支援体制の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



④ 障害者支援体制が整っていて、障害を持つ人が、安心して暮らすことができる

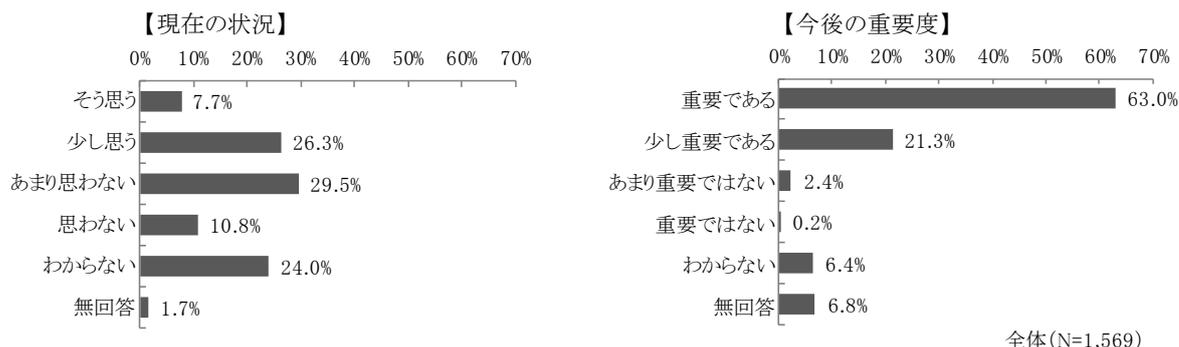
障害者支援体制の整備について、全体では、現在の状況は「あまり思わない」が 29.5%と最も高くなっている。「そう思う」の 7.7%と「少し思う」の 26.3%を合わせた現在整備されていると感じている回答の割合は 34.0%で、「思わない」の 10.8%と「あまり思わない」を合わせた現在不満に感じている割合 40.3%を、6.3ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 63.0%、「少し重要である」が 21.3%で、重要であるという回答の割合は 84.3%となっている。

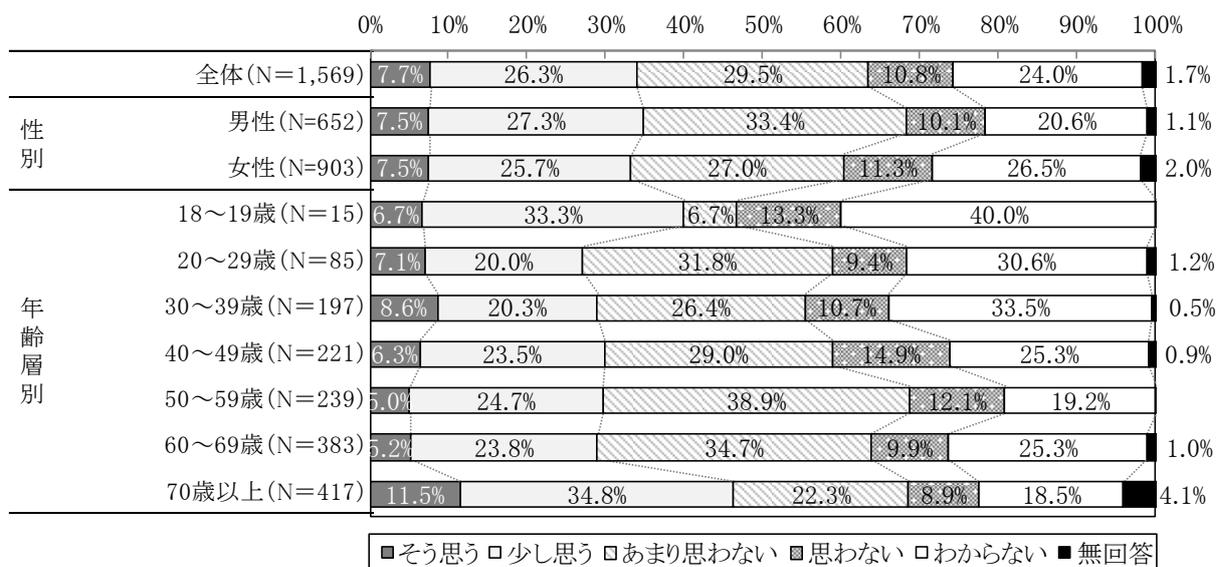
性別にみると、現在の整備状況については、男性の方が整備されていないと感じている回答の割合が 5.2ポイント高くなっている。今後の重要度については女性の方が「重要である」という回答が 6.9ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在整備されていると感じている割合では 70歳以上が高く、今後重要であると感じている割合は 20～29歳で 91.8%となっている。

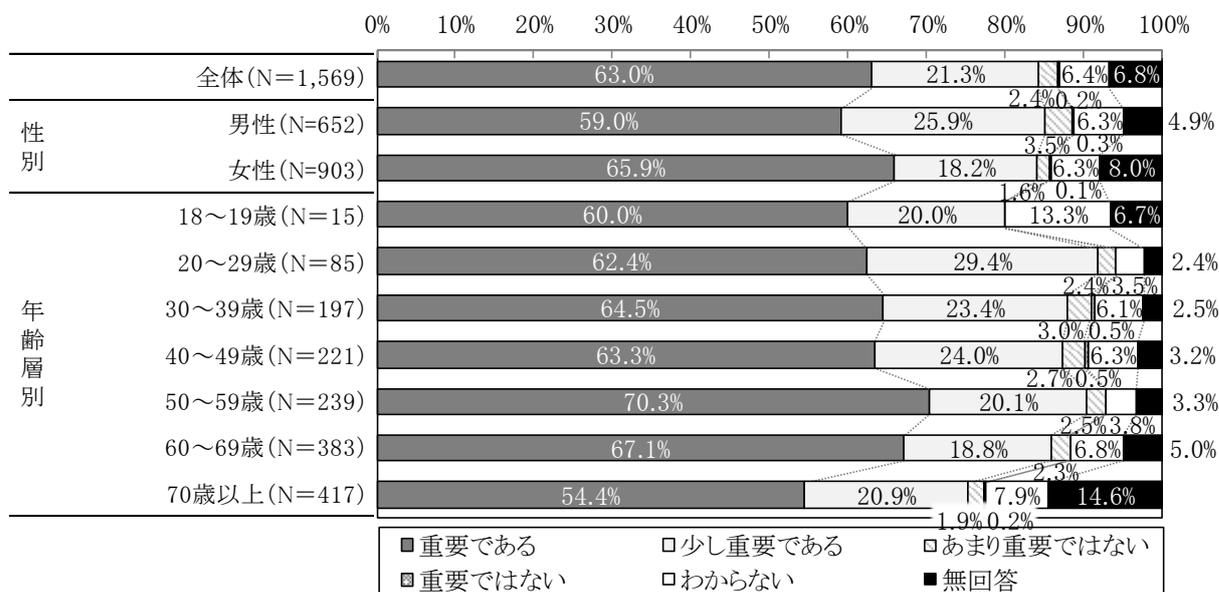
【障害者支援体制の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【障害者支援体制の整備】（現在の状況・性別，年齢層別）



【障害者支援体制の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑤ 介護や育児など、地域における福祉活動が行われていて、地域で支え合って暮らすことができる

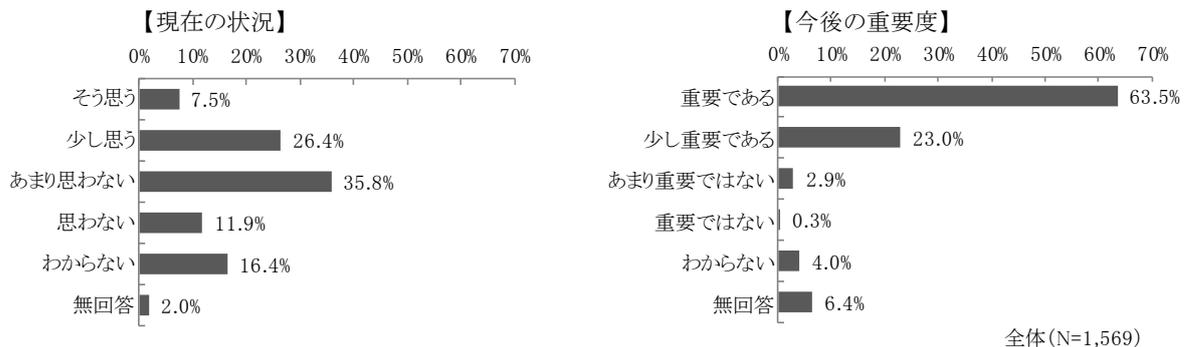
地域での支え合いについて、全体では、現在の状況は「あまり思わない」が 35.8%と最も高くなっている。「そう思う」の 7.5%と「少し思う」の 26.4%を合わせた支え合っていると感じている回答の割合は 33.9%で、「思わない」の 11.9%と「あまり思わない」を合わせた支え合っていないと感じている割合 47.7%を、13.8 ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 63.5%、「少し重要である」が 23.0%で、重要であるという回答の割合は 86.5%となっている。

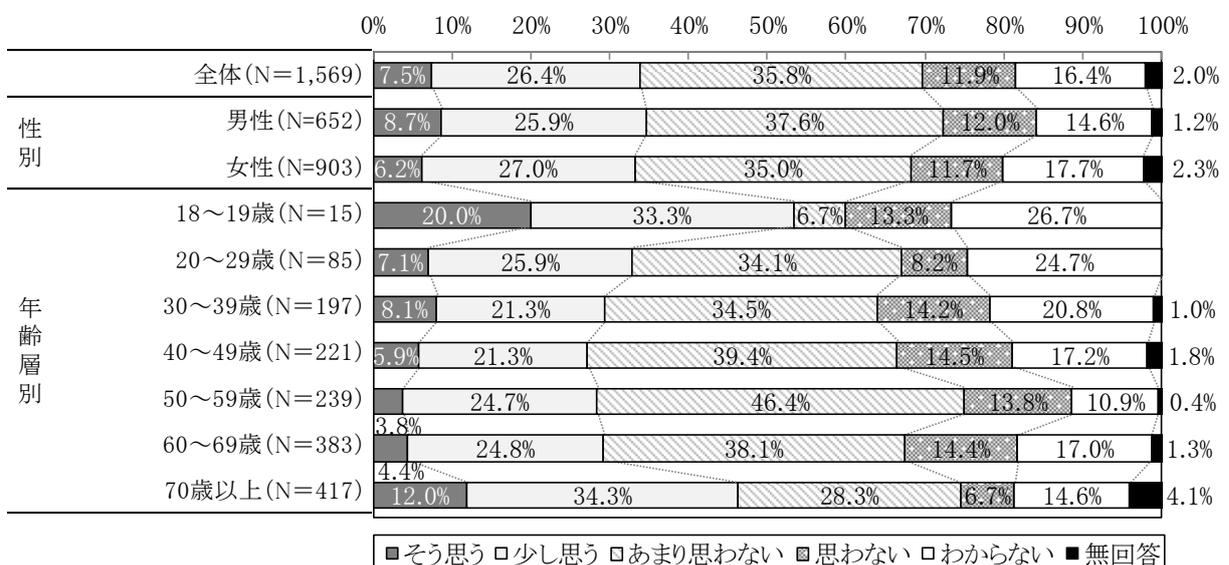
性別にみると、現在の支え合いについては男性の方が支え合っていると回答が、1.4 ポイント高く、今後の重要度については男性の方が重要と感じている回答が 1 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在の支え合いについては 18～19 歳で支え合っていると感じている割合が高いが、50～59 歳では支え合っていないと感じている割合が高くなっている。今後「重要である」という割合は 30～39 歳が 68.5%、50～59 歳が 69.0%と高くなっているが、18～19 歳では 40.0%と低くなっている。

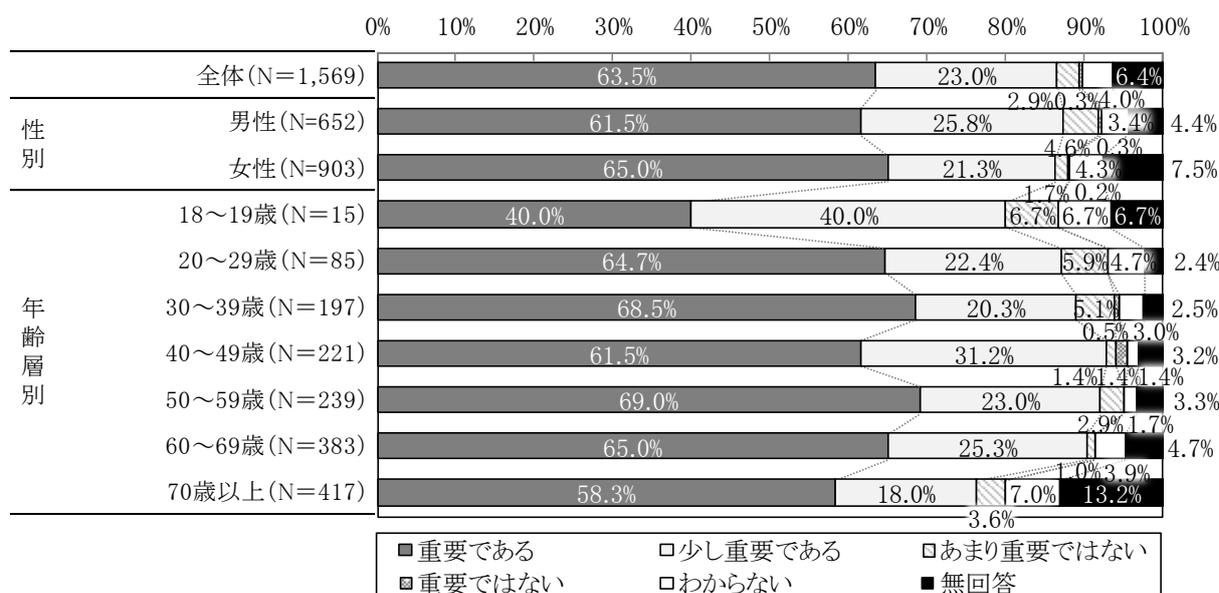
【地域での支え合い】（現在の状況と今後の重要度）



【地域での支え合い】（現在の状況・性別、年齢層別）



【地域での支え合い】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑥ 妊娠や出産，育児に対する支援体制が整っていて，安心して子どもを産み育てることができる

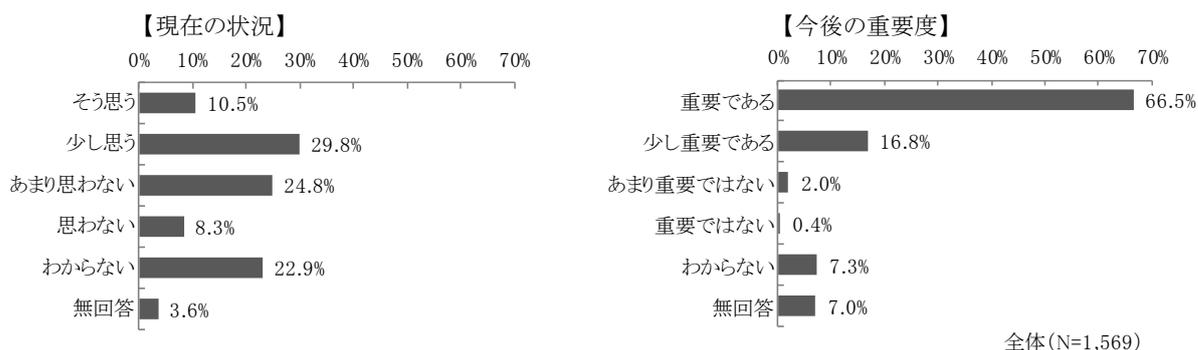
子育て支援体制の整備について，全体では，現在の状況は「少し思う」が 29.8%と最も高くなっている。「そう思う」の 10.5%と合わせた現在整備されていると感じている回答の割合は 40.3%で，「思わない」の 8.3%と「あまり思わない」の 24.8%を合わせた現在整備されていないと感じている割合 33.1%を，7.2ポイント上回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 66.5%，「少し重要である」が 16.8%で，重要であるという回答の割合は 83.3%となっている。

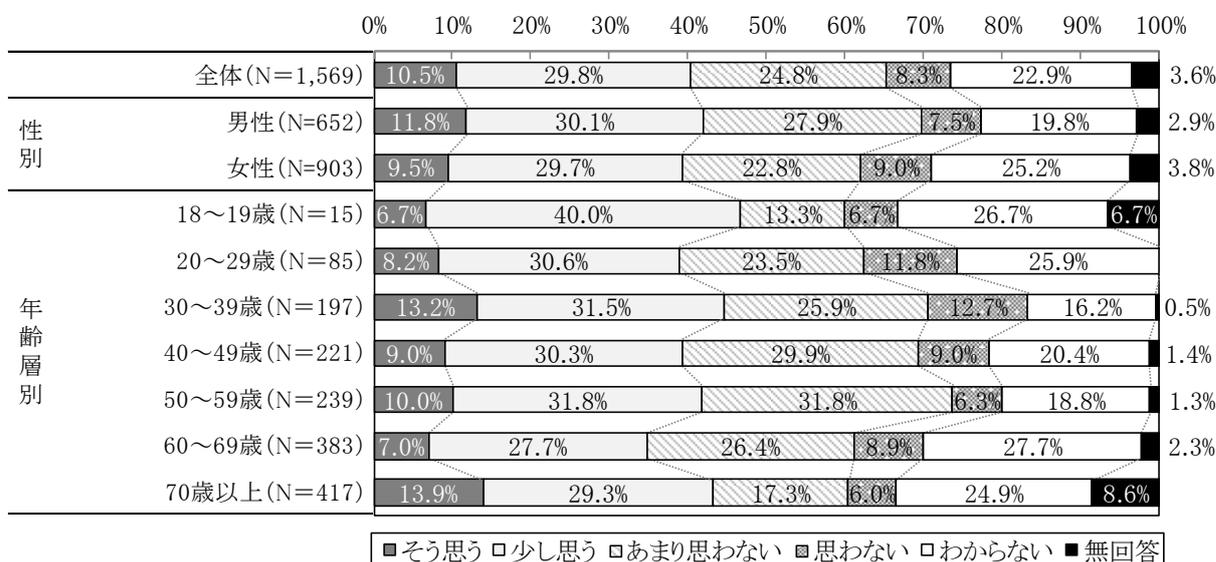
性別にみると，現在の支援体制については男性の方が整備されているという回答が，2.7ポイント高く，今後の重要度についてはほぼ同じ傾向を示している。

年齢層別にみると，現在の支援体制については，現在整備されていると感じている割合が 18～19歳が 46.7%，70歳以上が 43.2%と高くなっている。今後「重要である」という割合は 20～29歳が 78.8%と最も高くなっており，39歳以下の年齢層ではいずれの年齢層でも 70%を超えている。

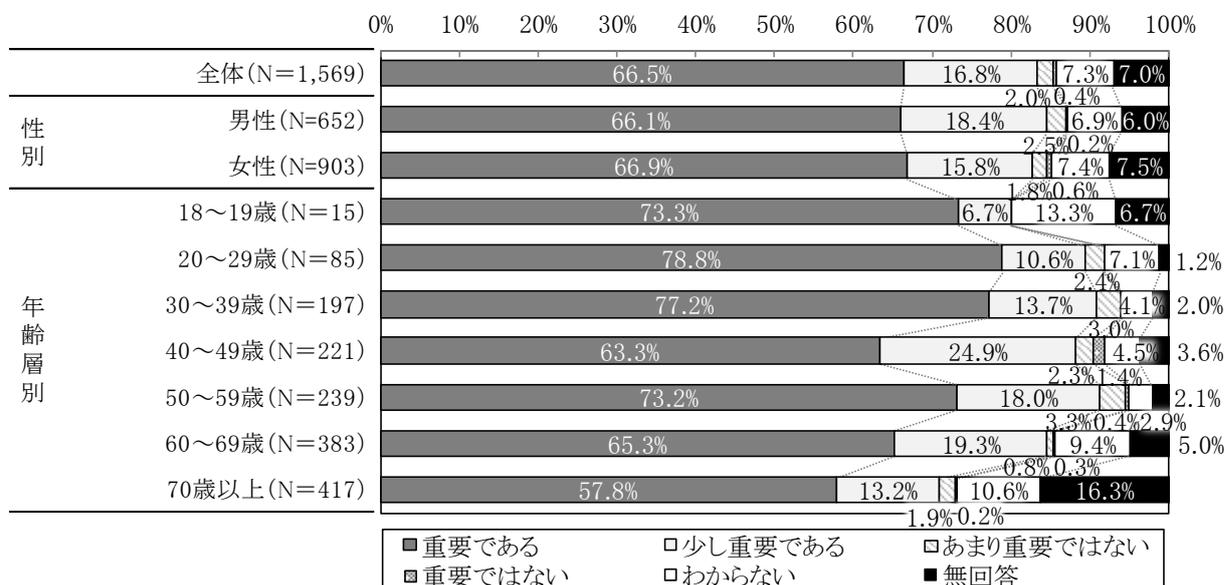
【子育て支援体制の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【子育て支援体制の整備】（現在の状況・性別，年齢層別）



【子育て支援体制の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



(2) 教育・文化

① 学校教育の内容が充実していて、子どもが個性や能力を伸ばすことができる

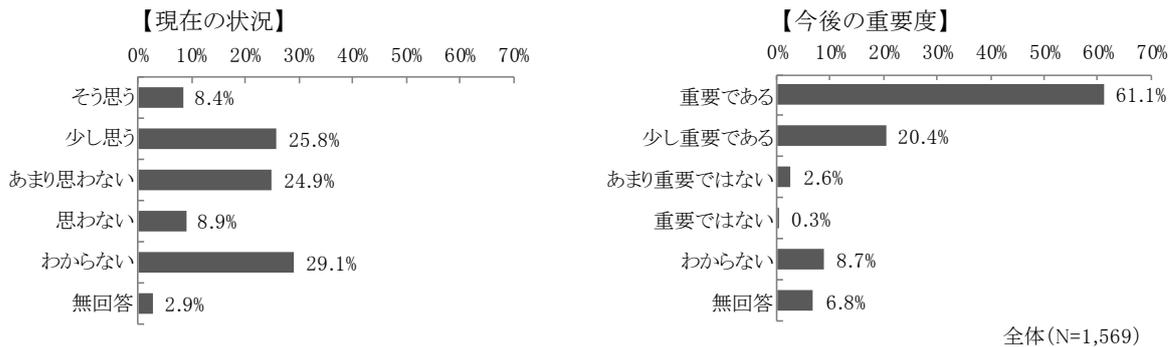
学校教育の充実について、全体では、現在の状況は「少し思う」が 25.8%と最も高くなっている。「そう思う」の 8.4%と合わせた現在充実していると感じている割合は 34.2%で、「思わない」の 8.9%と「あまり思わない」 24.9%を合わせた現在充実していないと感じている割合 33.8%を、0.4ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 61.1%、「少し重要である」が 20.4%で、重要であるという回答の割合は 81.5%となっている。

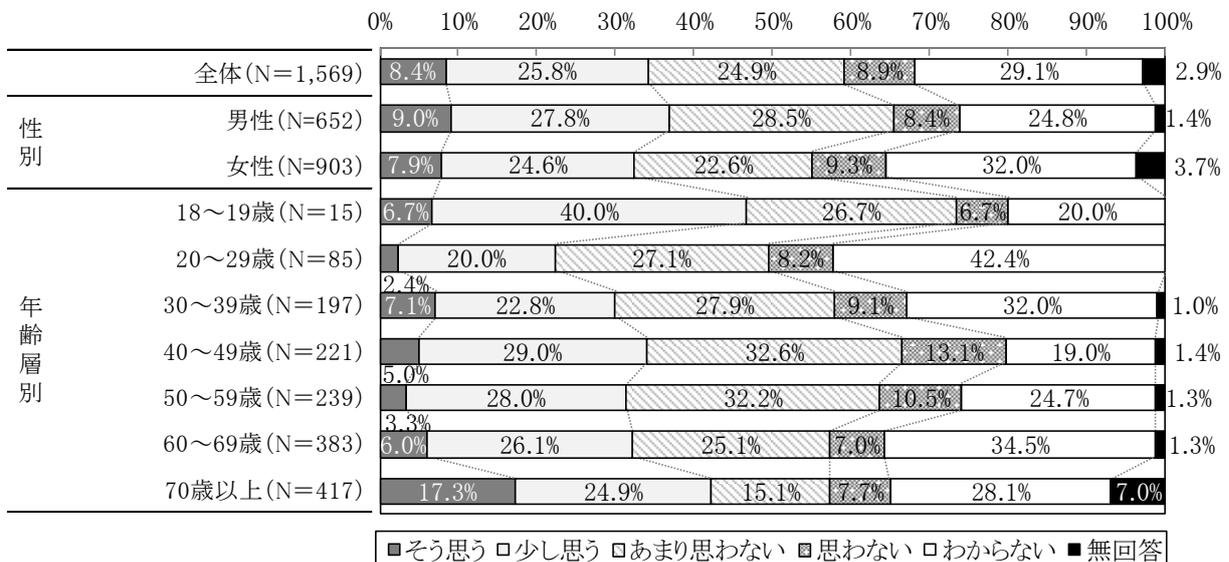
性別にみると、現在の状況については充実していると感じているという回答が男性の方が 4.3ポイント高くなっており、今後の重要度については重要であると感じているという回答が男性の方が 6.1ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在充実していると感じている割合では、70歳以上が 42.2%と高くなっている。今後重要と感じている割合は 30～39歳が 88.8%と最も高くなっている。

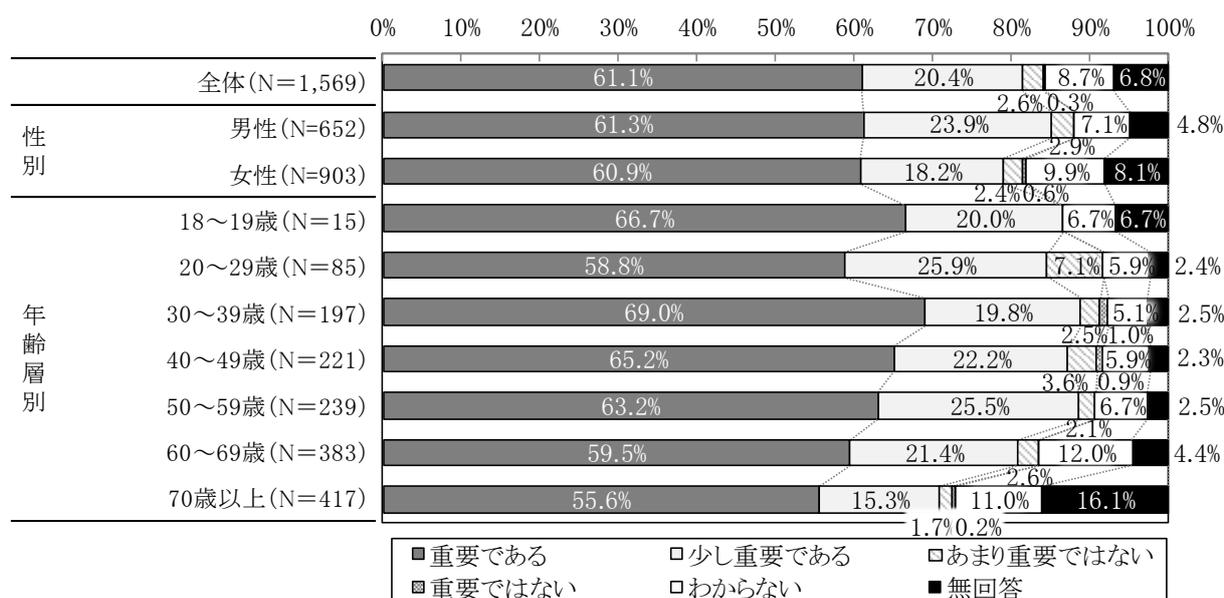
【学校教育の充実】（現在の状況と今後の重要度）



【学校教育の充実】（現在の状況・性別、年齢層別）



【学校教育の充実】（今後の重要度・性別、年齢層別）



② 学校教育の環境が整っていて、子どもが快適な学校生活を送ることができる

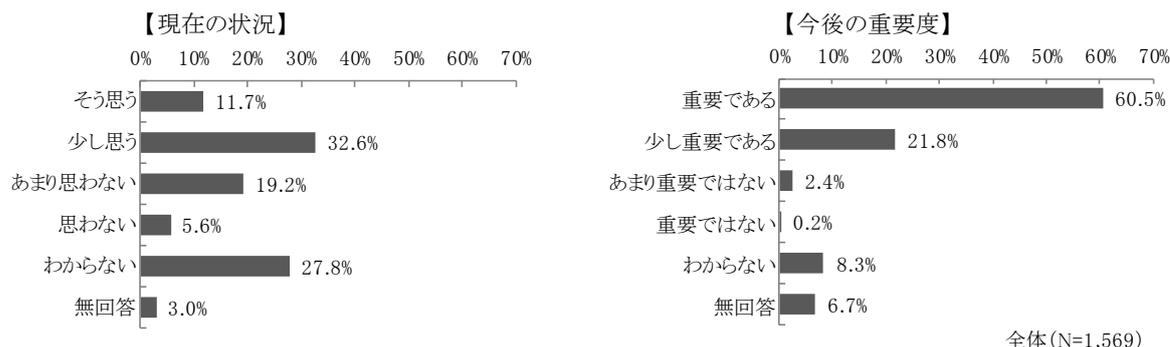
学校教育の環境について、全体では、現在の状況は「少し思う」が 32.6%と最も高くなっている。「そう思う」の 11.7%と合わせた環境が整備されていると感じている割合は 44.3%で、「思わない」の 5.6%と「あまり思わない」 19.2%を合わせた現在整備されていないと感じている割合 24.8%を、19.5ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 60.5%、「少し重要である」が 21.8%で、重要であるという回答の割合は 82.3%となっている。

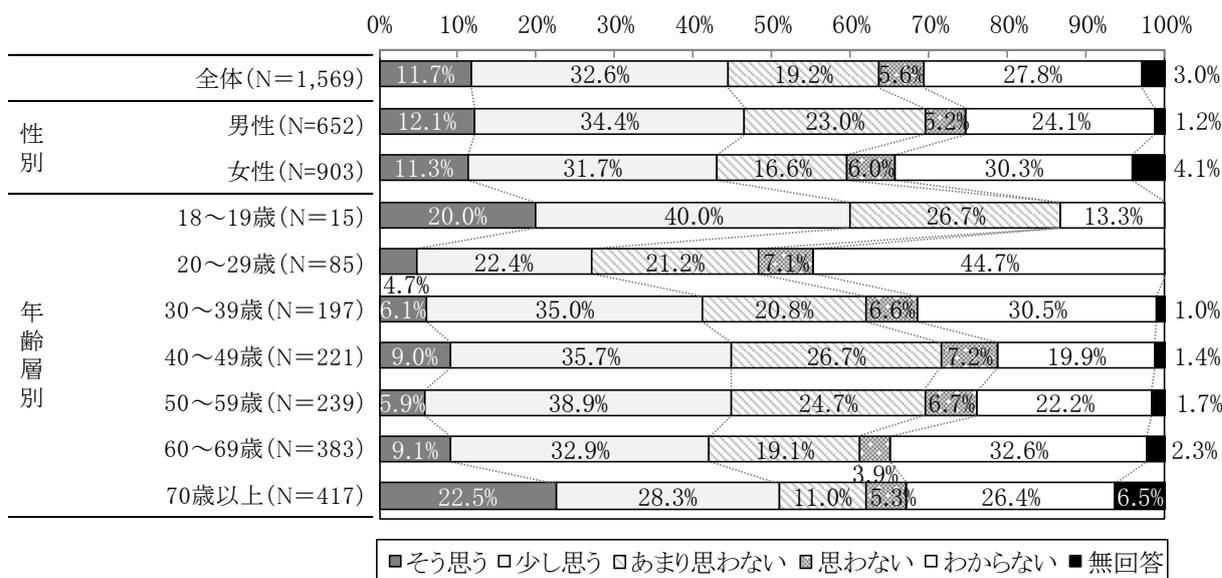
性別にみると、現在の状況については男性の方が整備されているという回答が 3.5ポイント高くなっており、今後の重要度については男性の方が重要という回答が、4.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在充実していると感じている割合では、18～19歳と70歳以上が高くなっている。今後「重要である」という割合は30～39歳が66.0%と最も高くなっている。

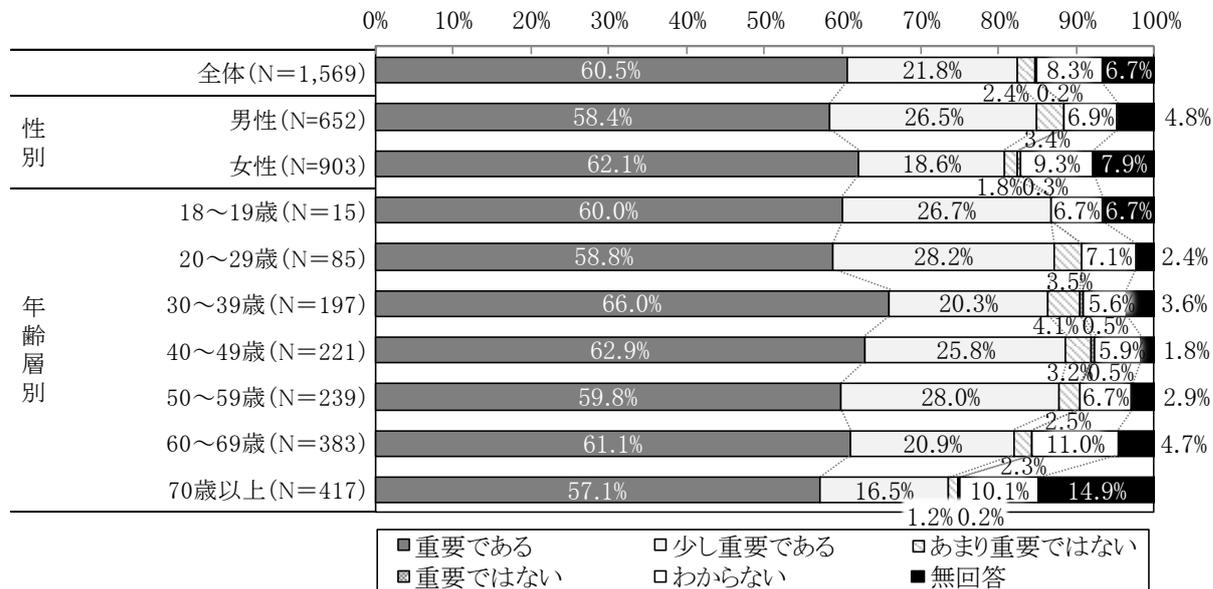
【学校環境の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【学校環境の整備】（現在の状況・性別，年齢層別）



【学校環境の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



③ 家庭、学校、地域の連携が図られるなど、子供が健全に育つ環境が整っている

子供が健全に育つ環境の整備について、全体では、現在の状況は「少し思う」が 31.2%と最も高くなっている。「そう思う」の 8.9%と合わせた環境が整備されていると感じている割合は 40.1%で、「思わない」の 7.1%と「あまり思わない」25.5%を合わせた現在整備されていないと感じている割合 32.6%を、7.5ポイント上回っている。

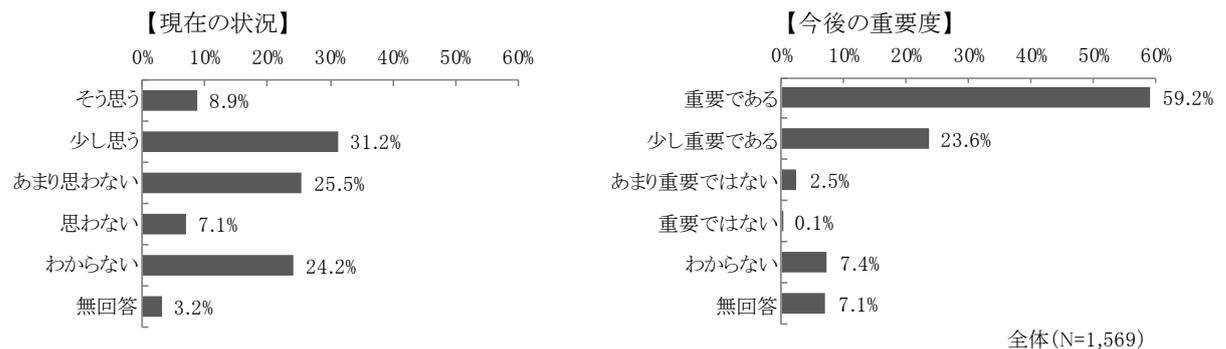
今後の重要度について、全体では、「重要である」が 59.2%、「少し重要である」が 23.6%で、重要と感じている割合は 82.8%となっている。

性別にみると、現在整備されていると感じている割合では男性の方が 2.7ポイント高くなっている。今後の重要度については男性の方が重要と感じている割合が、6.2ポイント高くなっている。

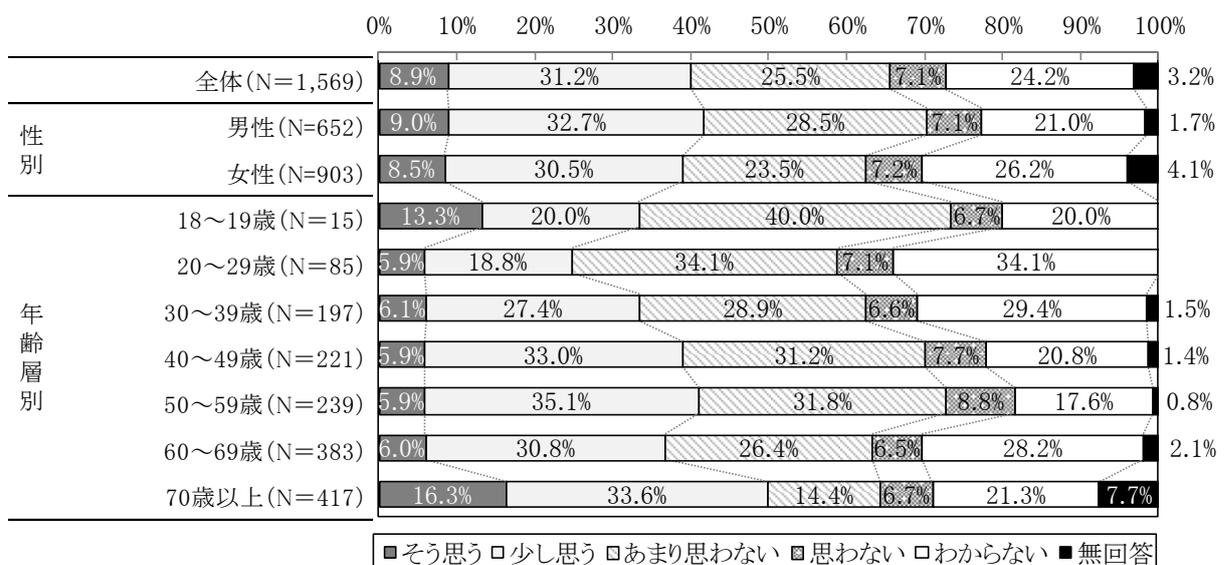
年齢層別にみると、70歳以上で環境が整っていると感じている割合が 49.9%と高くなっているが、18～19歳では整備されていないと感じている割合が 46.7%と高くなっている。

今後「重要である」という割合は 18～19歳が 66.7%と最も高くなっている。

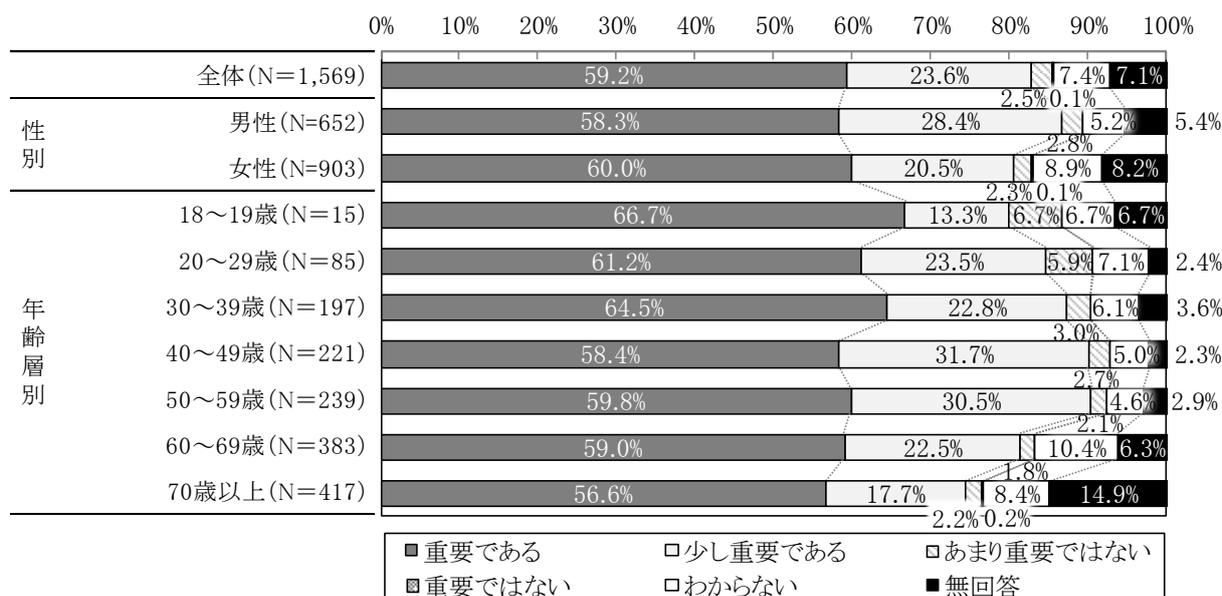
【子供が健全に育つ環境の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【子供が健全に育つ環境の整備】（現在の状況・性別、年齢層別）



【子供が健全に育つ環境の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



④ 図書館や科学館，博物館，公民館などの社会教育施設が整っていて，興味があることを学ぶことができる

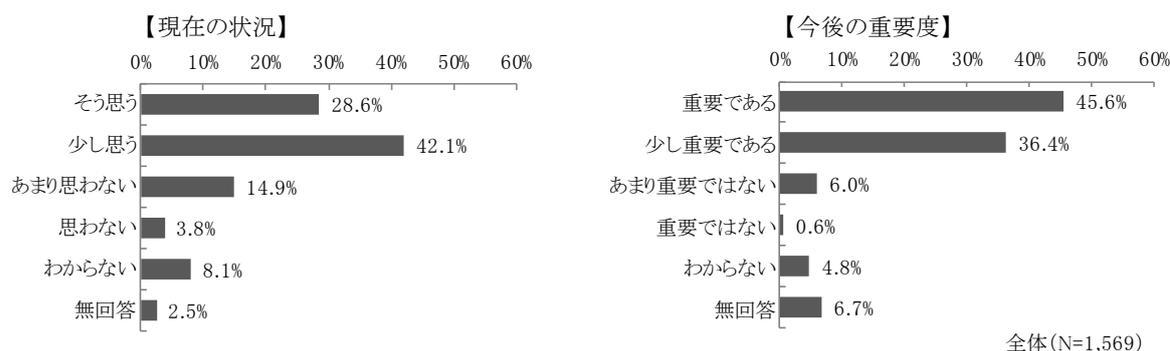
社会教育施設の整備について，全体では，現在の状況は「少し思う」が 42.1%と最も高くなっている。「そう思う」の 28.6%と合わせた環境が整備されていると感じている割合は 70.7%で，「思わない」の 3.8%と「あまり思わない」14.9%を合わせた現在整備されていないと感じている割合 18.7%を，52ポイント上回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 45.6%，「少し重要である」が 36.4%で，重要と感じている割合は 82.0%となっている。

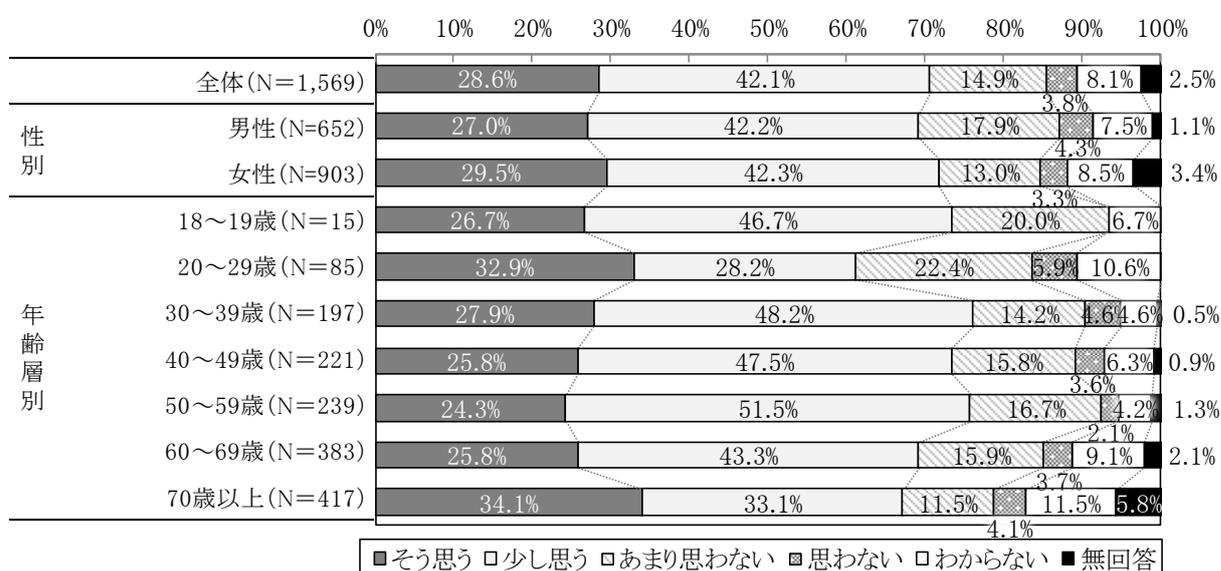
性別にみると，現在の状況ではほぼ同じ傾向を示している。今後の重要度については女性の方が「重要である」という回答の割合が，8.5ポイント高くなっている。

年齢層別にみると，現在環境が整っていると感じている割合では 18～19歳、30～39歳、50～59歳が高く，今後重要と感じている割合は 50～59歳が 86.2%と最も高くなっている。

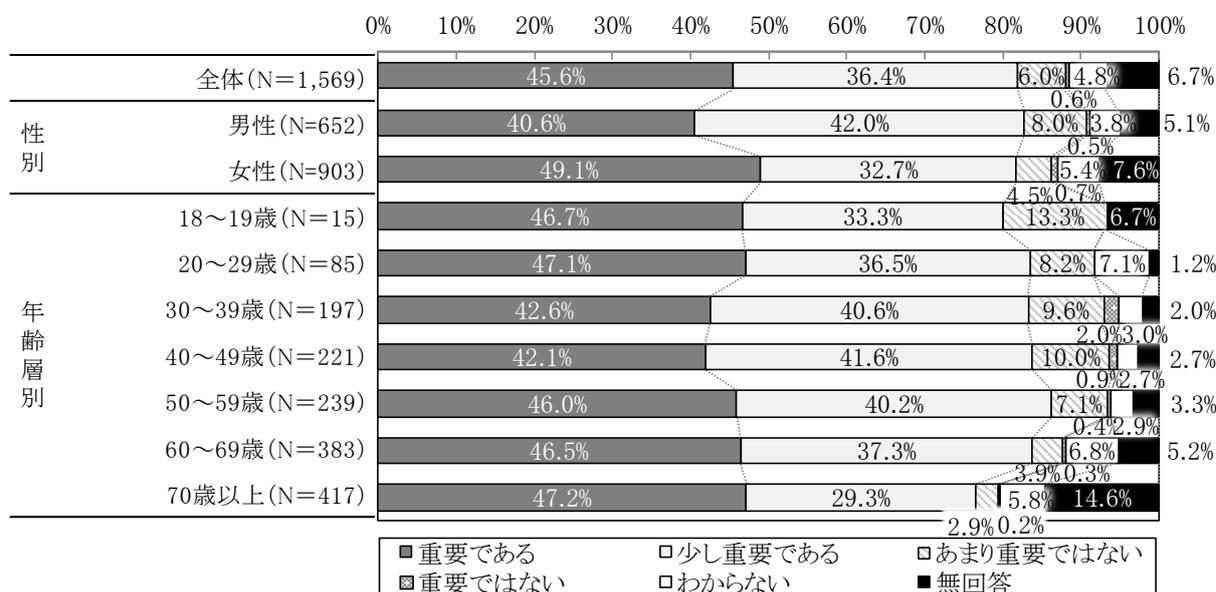
【社会教育施設の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【社会教育施設の整備】（現在の状況・性別，年齢層別）



【社会教育施設の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑤ 文学・音楽・美術などの文化芸術やアイヌ文化に接する環境が整っていて、その魅力に親しむことができる

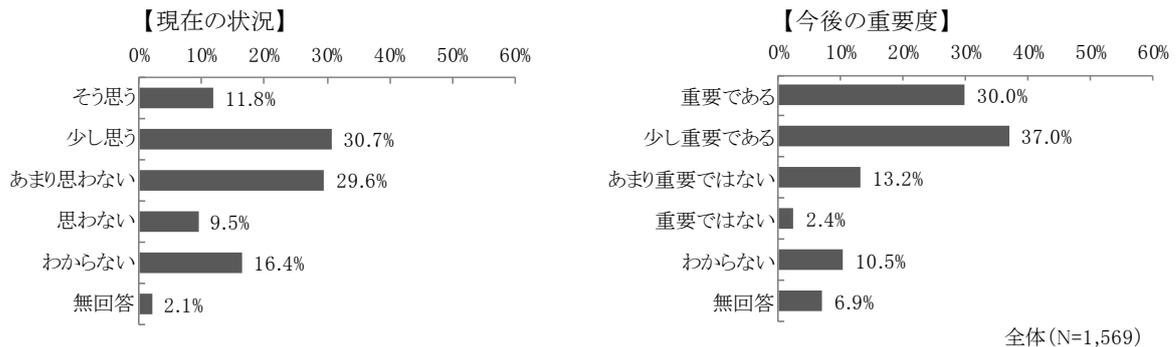
文化芸術に接する環境整備について、全体では、現在の状況は「少し思う」が 30.7%と最も高くなっている。「そう思う」の 11.8%と合わせた環境が整備されていると感じている割合は 42.5%で、「思わない」の 9.5%と「あまり思わない」29.6%を合わせた現在整備されていないと感じている割合 39.1%を、3.4 ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 30.0%、「少し重要である」が 37.0%で、重要と感じている割合は 67.0%となっている。

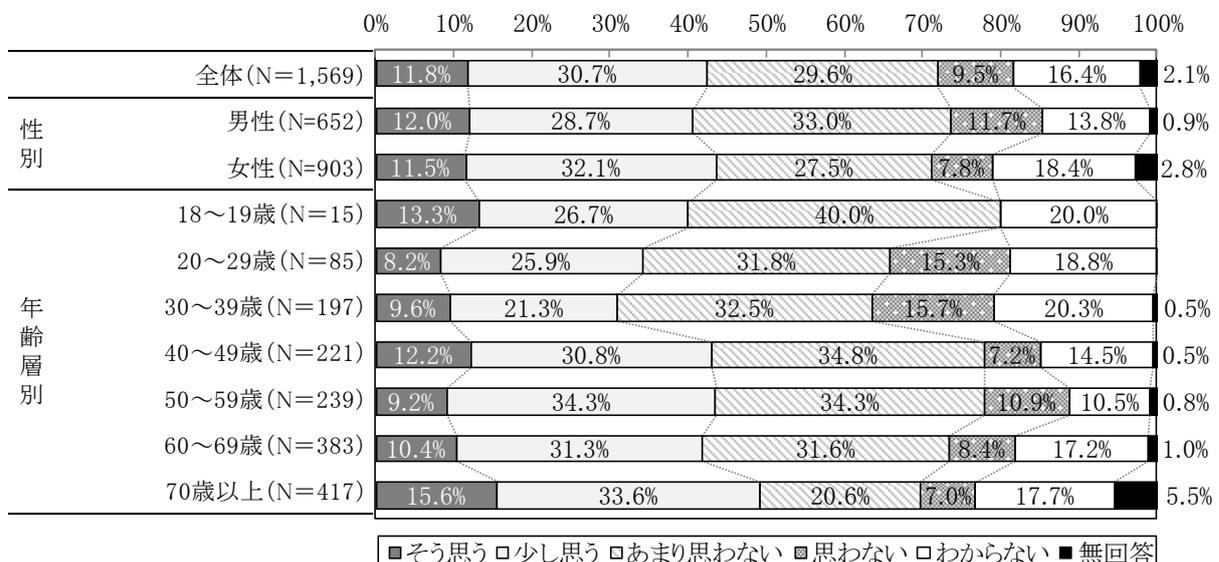
性別にみると、現在の状況については男性の方が環境が整備されていないという回答が 9.4 ポイント高くなっており、今後の重要度については男性の方が重要ではないと感じているという回答が 4.5 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在環境が整っていると感じている割合では 70 歳以上が高く、今後重要と感じている割合は 50～59 歳が 72.8%と最も高くなっている。

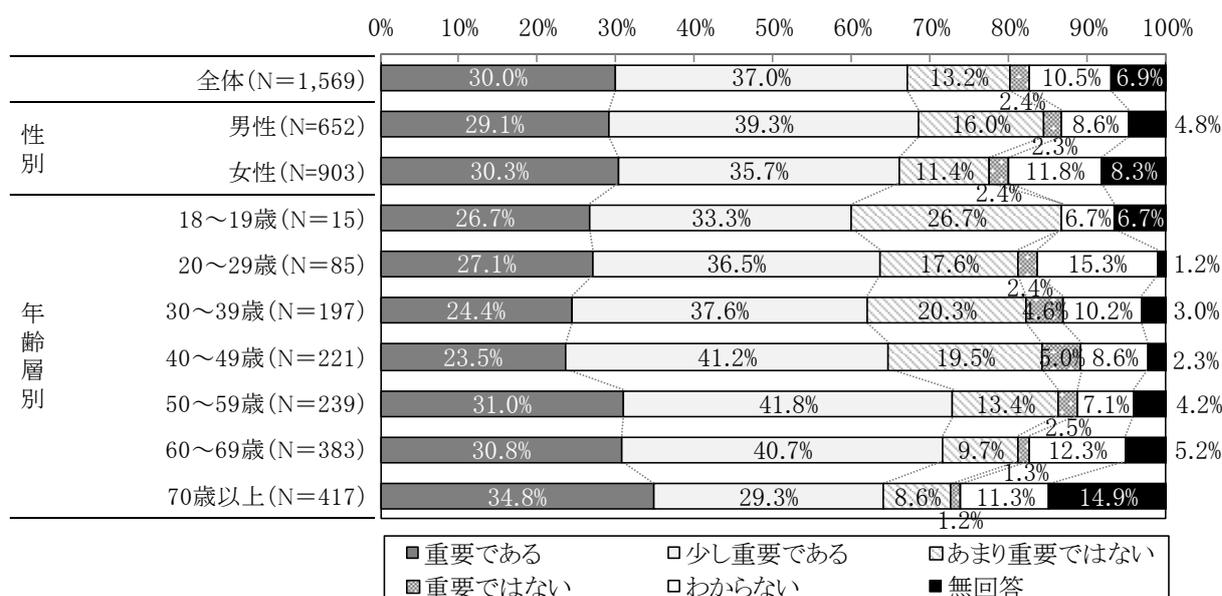
【文化芸術に接する環境】（現在の状況と今後の重要度）



【文化芸術に接する環境】（現在の状況・性別、年齢層別）



【文化芸術に接する環境】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑥ 体育館や運動場，スキー場などの体育施設が整っていて，スポーツを楽しむことができる

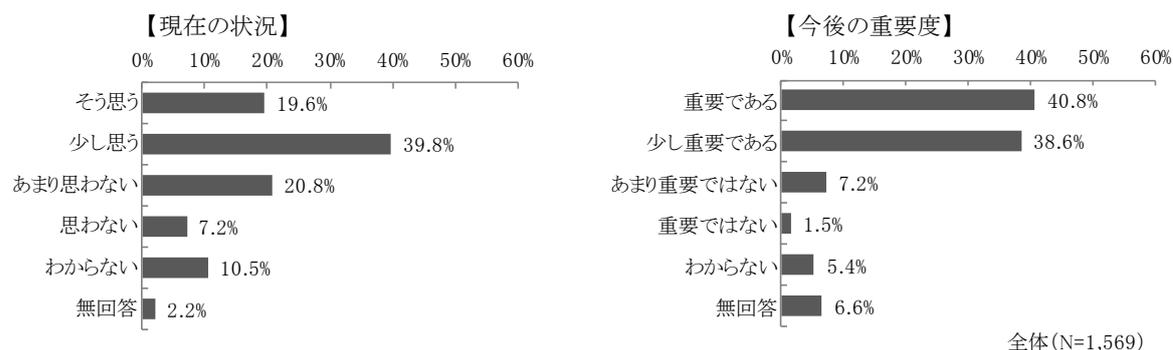
スポーツ施設の整備について，全体では，現在の状況は「少し思う」が 39.8%と最も高くなっている。「そう思う」の 19.6%と合わせた環境が整備されていると感じている割合は 59.4%で，「思わない」の 7.2%と「あまり思わない」20.8%を合わせた現在整備されていないと感じている割合 28.0%を，31.4ポイント上回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 40.8%，「少し重要である」が 38.6%で，重要と感じている割合は 79.4%となっている。

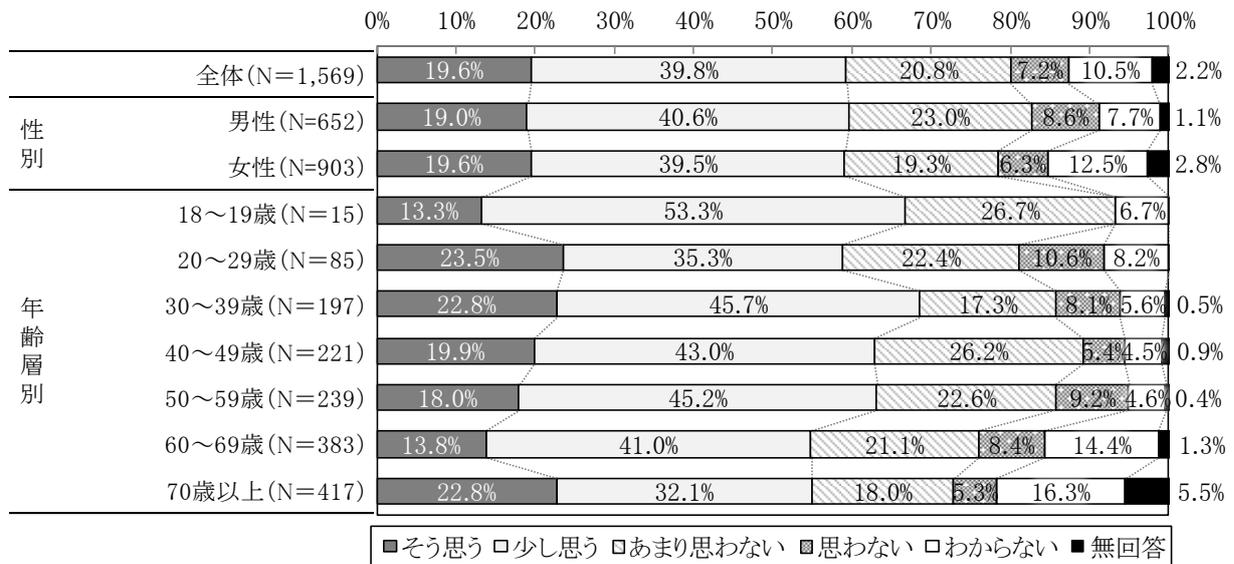
性別にみると，現在の状況については男性の方が環境が整備されていないという回答が 6ポイント高くなっており，今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 3.3ポイント高くなっている。

年齢層別にみると，現在環境が整っていると感じている割合では 30～39歳が 68.5%と最も高く，今後「重要である」という回答は 20～29歳が 85.9%と最も高くなっている。

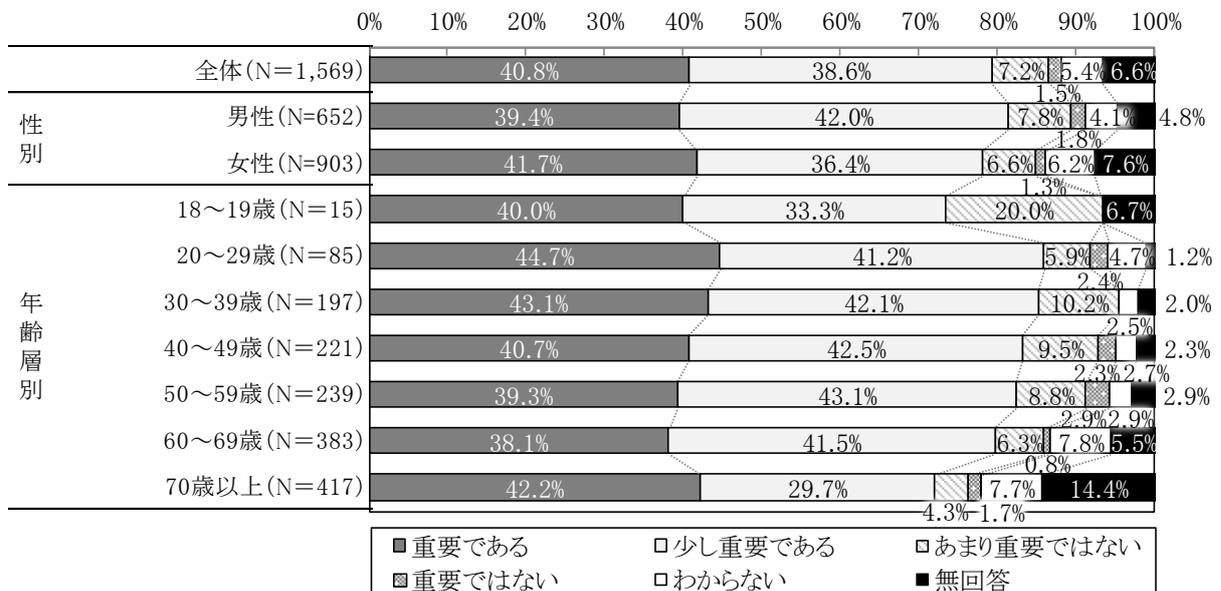
【スポーツ施設の整備の状況】（現在の状況と今後の重要度）



【スポーツ施設の整備の状況】（現在の状況・性別，年齢層別）



【スポーツ施設の整備の状況】（今後の重要度・性別，年齢層別）



### (3) 安全・安心

① 食中毒や感染症、有害物質、鳥獣による被害防止対策が図られていて、安心して暮らすことができる

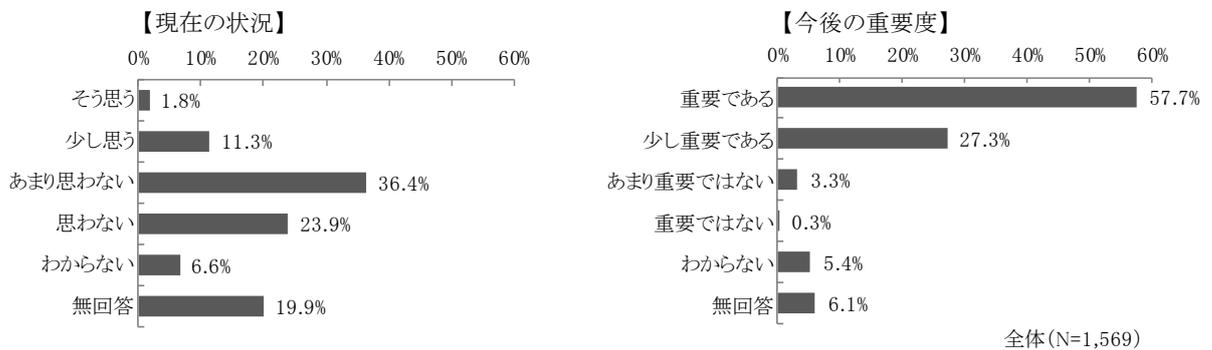
衛生的な生活の確保について、全体では、現在の状況は「あまり思わない」が 36.4%と最も高くなっている。「そう思う」の 1.8%と「少し思う」の 11.3%を合わせた衛生的な生活が確保されていると感じている割合は 13.1%で、「思わない」の 23.9%と「あまり思わない」を合わせた現在衛生的な生活が確保されていないと感じている割合 60.3%を、47.2 ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 57.7%、「少し重要である」が 27.3%で、重要と感じている割合は 85.0%となっている。

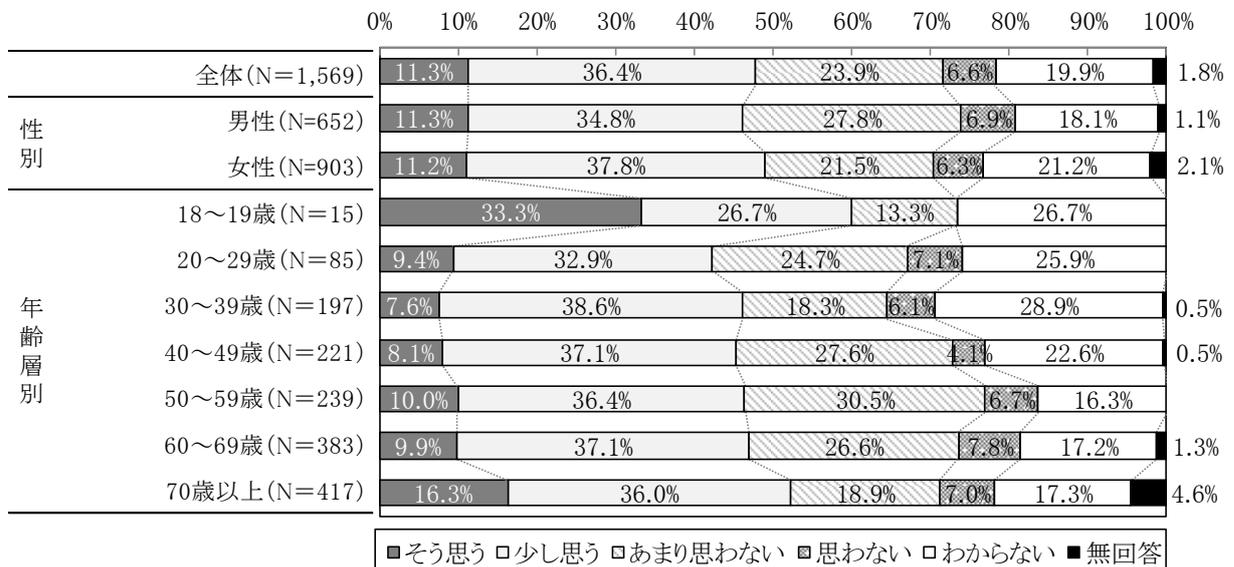
性別にみると、現在の状況については男性の方が環境が整備されていないという回答が 6.9 ポイント高くなっており、今後の重要度については女性の方が「重要である」という回答が 11.1 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在環境が整っていると感じている割合では 18～19 歳が 60.0%と最も高く、今後「重要である」という回答も 18～19 歳が 73.3%と最も高くなっている。

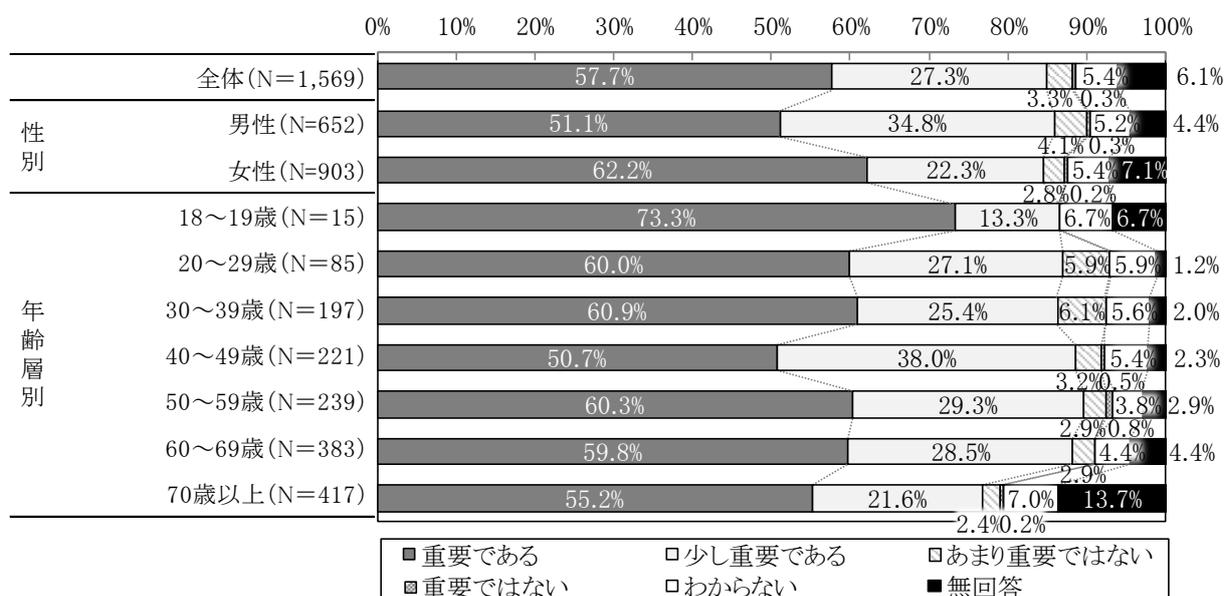
#### 【衛生的な生活の確保】（現在の状況と今後の重要度）



#### 【衛生的な生活の確保】（現在の状況・性別、年齢層別）



【衛生的な生活の確保】（今後の重要度・性別，年齢層別）



② 暴力や犯罪，消費者保護に関する対策や相談体制が整っていて，安心して暮らすことができる

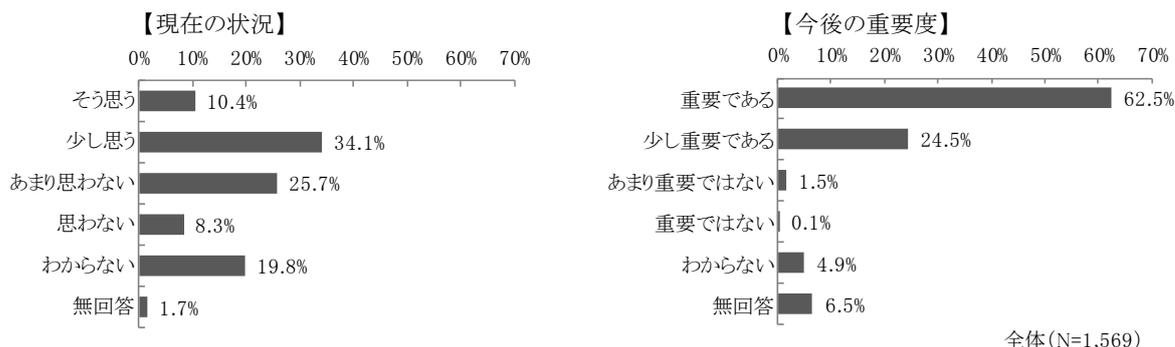
犯罪防止の体制について，全体では，現在の状況は「少し思う」が 34.1%と最も高くなっている。「そう思う」の 10.4%を合わせた犯罪防止の体制が整備されていると感じている割合は 44.5%で，「思わない」の 8.3%と「あまり思わない」 25.7%を合わせた犯罪防止の体制が整備されていないと感じている割合 34.0%を，10.5 ポイント上回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 62.5%，「少し重要である」が 24.5%で，重要と感じている割合は 87.0%となっている。

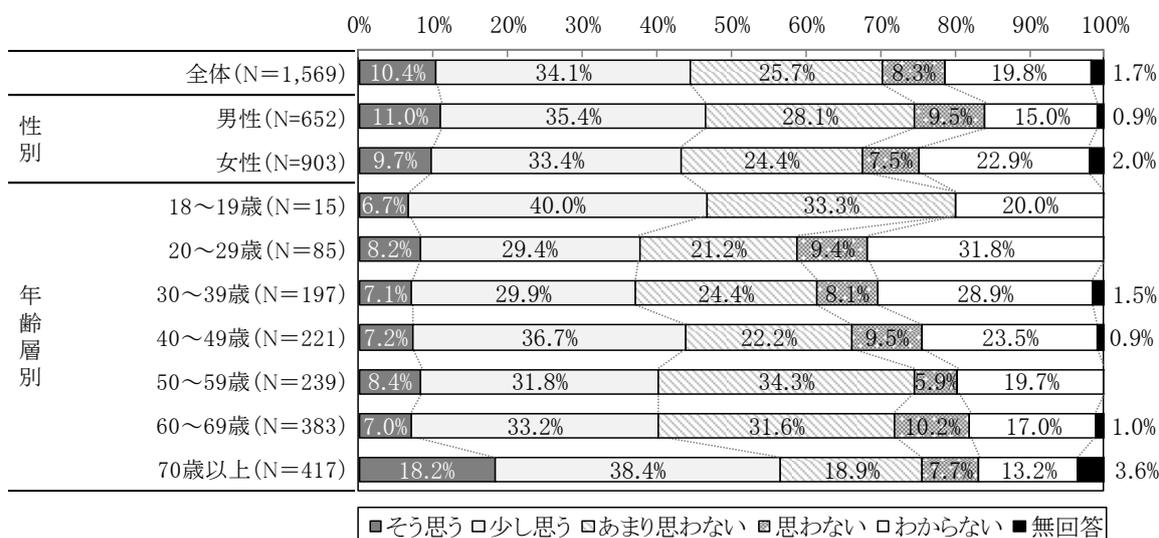
性別にみると，現在の状況については女性の方が犯罪防止の体制が整備されているという回答が 3.3 ポイント低くなっており，今後の重要度については女性の方が「重要である」という回答が 3.6 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると，現在環境が整っていると感じている割合では 70 歳以上が 56.6%と最も高く，今後重要と感じている割合は 50～59 歳が 92.5%と最も高くなっている。

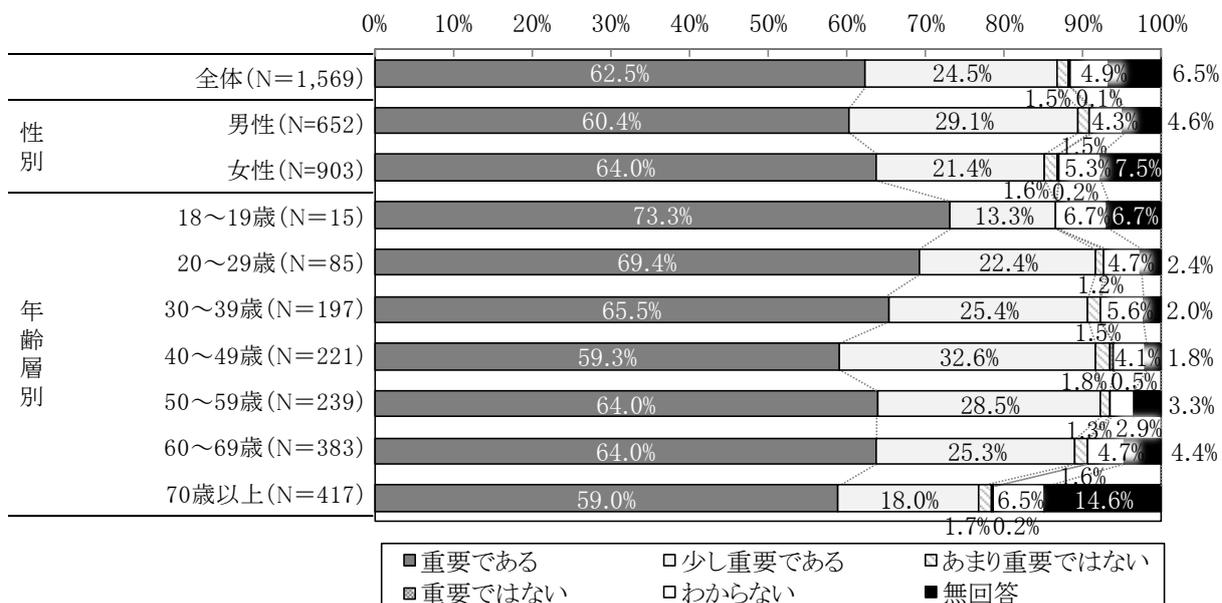
【犯罪防止体制】（現在の状況と今後の重要度）



【犯罪防止体制】（現在の状況・性別，年齢層別）



【犯罪防止体制】（今後の重要度・性別，年齢層別）



③ 街路灯の整備など、住民による防犯活動が行われ、安心して暮らすことができる

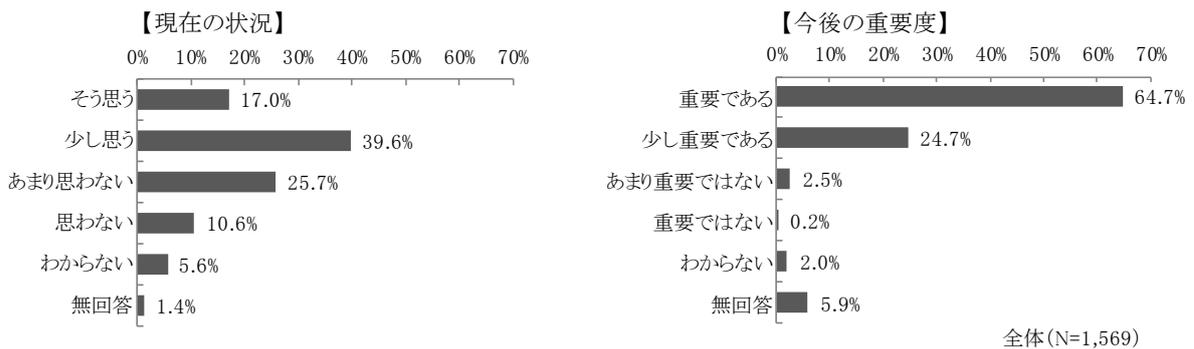
防犯対策について、全体では、現在の状況は「少し思う」が39.6%と最も高くなっている。「そう思う」の17.0%を合わせた防犯対策が整備されていると感じている割合は56.6%で、「思わない」の10.6%と「あまり思わない」25.7%を合わせた防犯対策が整備されていないと感じている割合36.3%を、20.3ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が64.7%、「少し重要である」が24.7%で、重要と感じている割合は89.4%となっている。

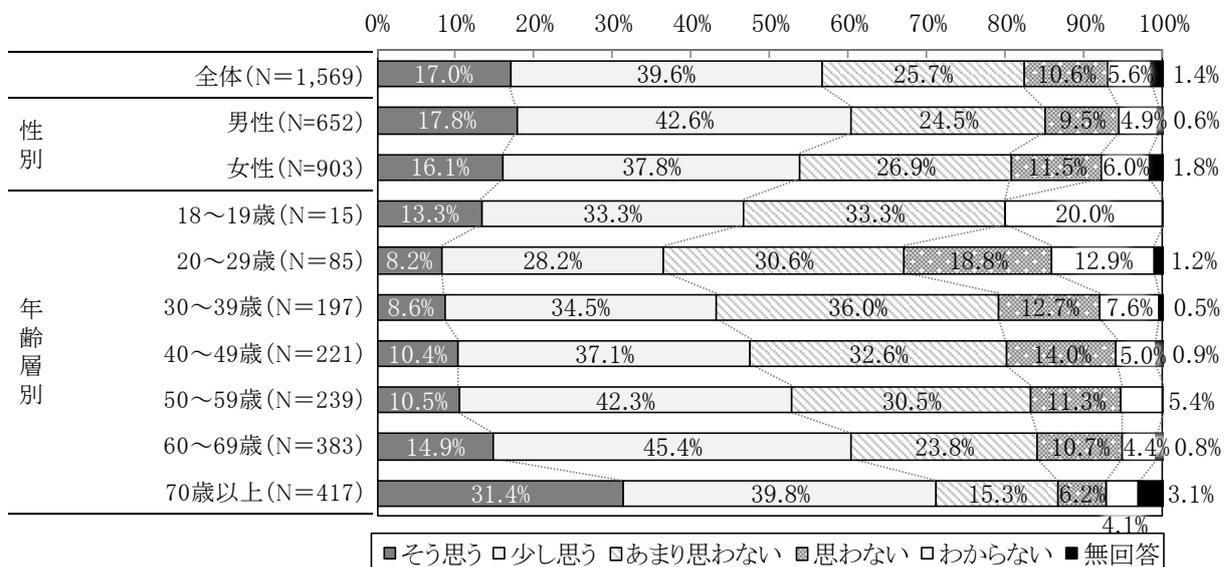
性別にみると、現在の状況については女性の方が防犯対策が整備されているという回答が6.5ポイント低くなっており、今後の重要度については女性の方が「重要である」という回答が11.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在環境が整っていると感じている割合では70歳以上が71.2%と最も高く、20～29歳以上では年齢層が高くなるにつれ、環境が整備されていると感じる割合が高くなっている。今後重要と感じている割合は50～59歳が95.4%と最も高くなっている。

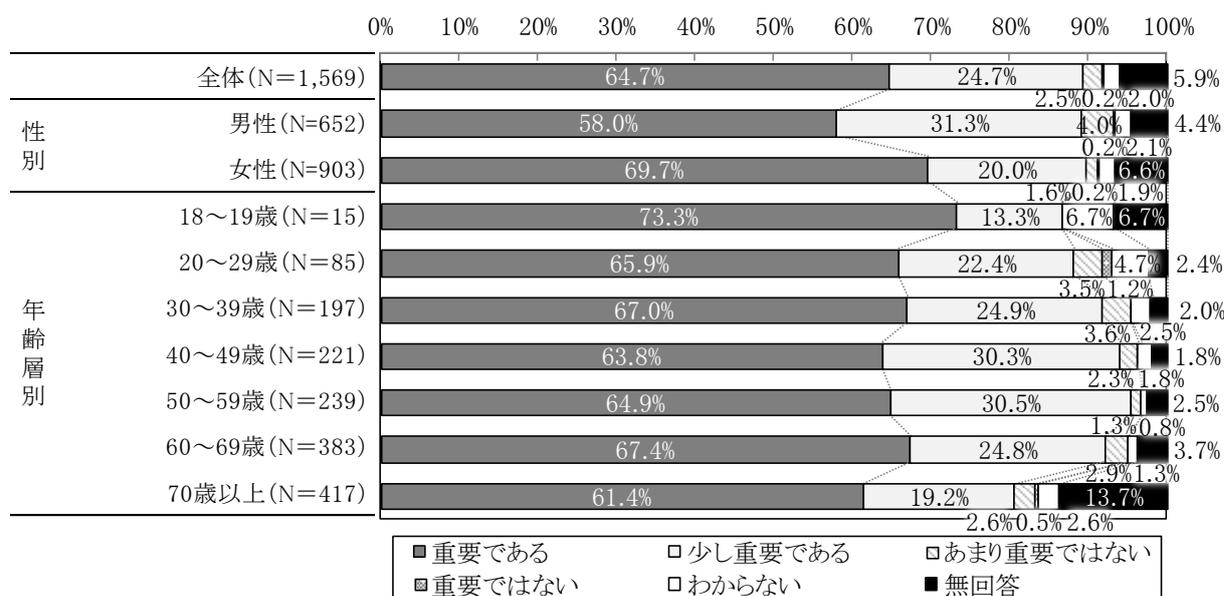
【防犯対策】（現在の状況と今後の重要度）



【防犯対策】（現在の状況・性別、年齢層別）



【防犯対策】（今後の重要度・性別，年齢層別）



④ 歩行者や自転車に対する安全対策が図られていて、安心して暮らすことができる

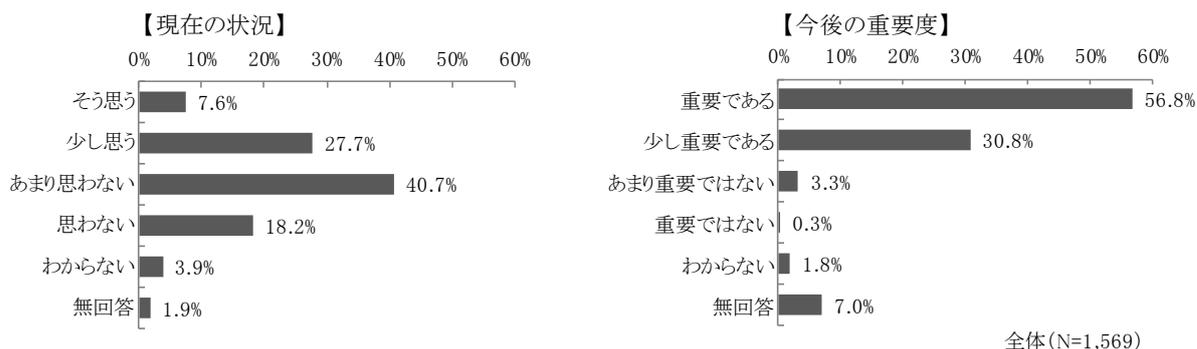
歩行者や自転車に対する安全対策について、全体では、現在の状況は「あまり思わない」が40.7%と最も高くなっている。「そう思う」の7.6%と「少し思う」の27.7%を合わせた安全対策が図られていると感じている割合は35.3%で、「思わない」の18.2%と「あまり思わない」を合わせた安全対策が図られていないと感じている割合58.9%を、23.6ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が56.8%、「少し重要である」が30.8%で、重要と感じている割合は87.6%となっている。

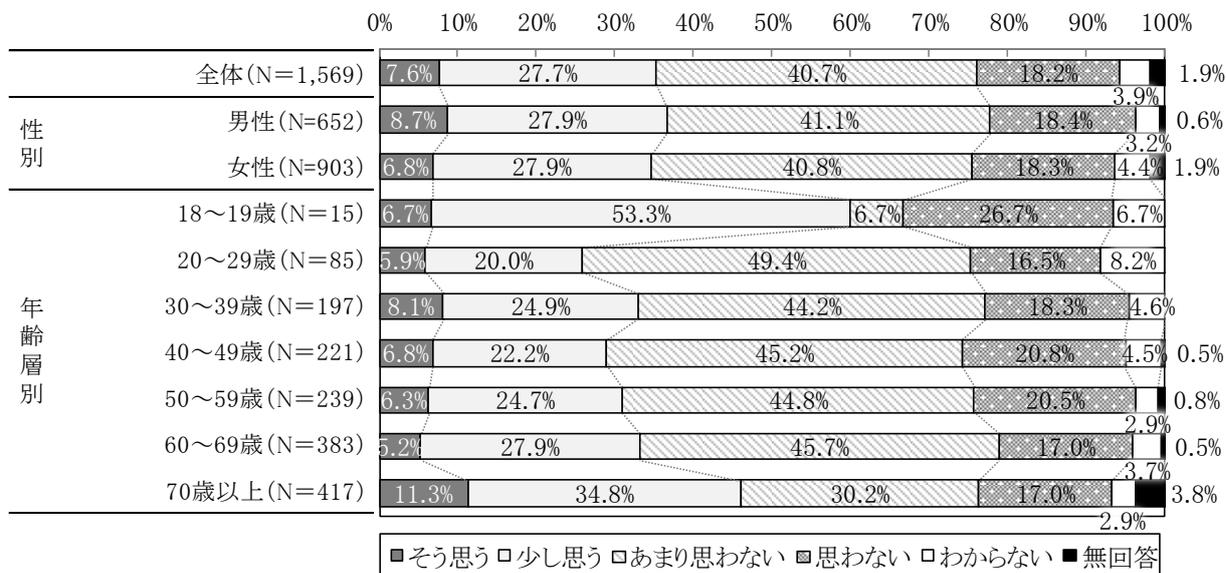
性別にみると、現在の状況についてはほぼ同じ傾向を示しているが、今後の重要度については女性の方が「重要である」という回答が11.6ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在の状況について安全対策が図られていると感じている割合では18～19歳が60.0%と最も高く、今後重要と感じている割合も18～19歳が93.3%と最も高くなっている。

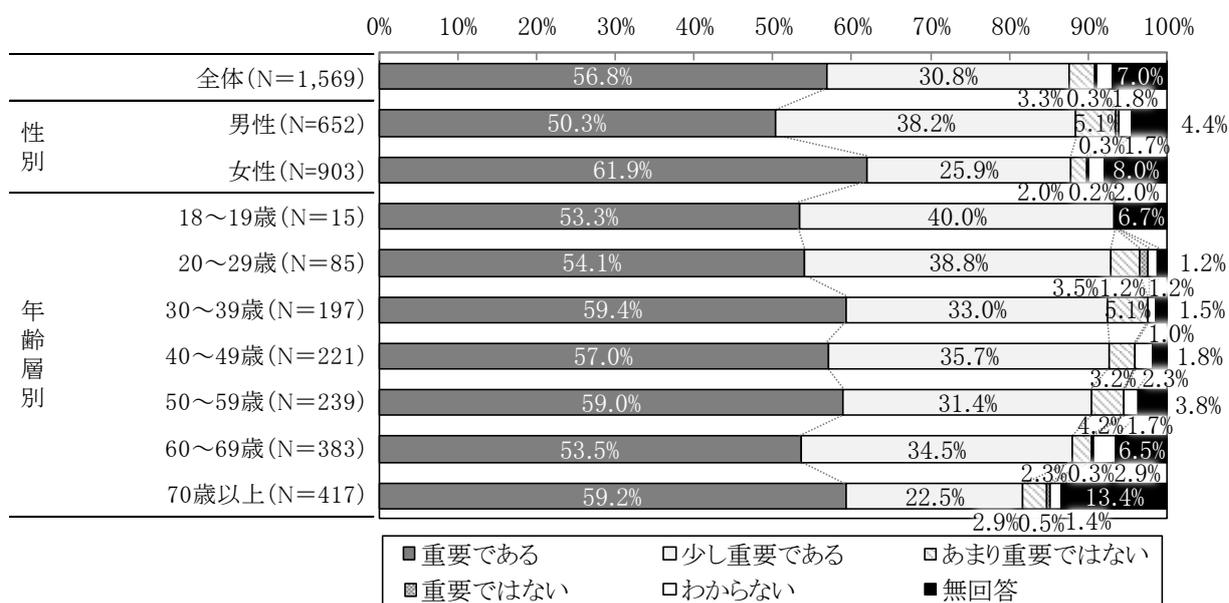
【歩行者や自転車に対する安全対策】（現在の状況と今後の重要度）



【歩行者や自転車に対する安全対策】（現在の状況・性別，年齢層別）



【歩行者や自転車に対する安全対策】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑤ 防災施設の整備，住民組織や関係機関との連携が図られていて，安心して暮らすことができる

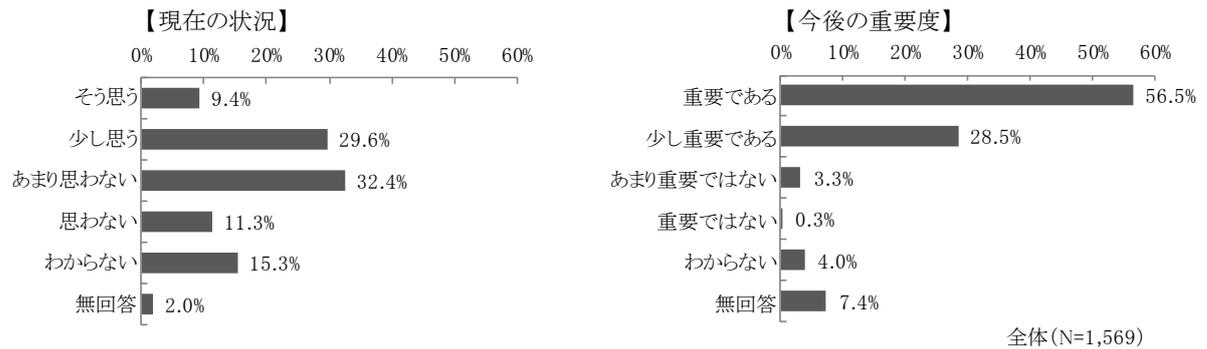
災害時の防災体制について，全体では，現在の状況は「あまり思わない」が 32.4%と最も高くなっている。「そう思う」の 9.4%と「少し思う」の 29.6%を合わせた防災体制が整備されていると感じている割合は 39.0%で，「思わない」の 11.3%と「あまり思わない」を合わせた防災体制が整備されていないと感じている割合 43.7%を，4.7ポイント下回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 56.5%，「少し重要である」が 28.5%で，重要と感じている割合は 85.0%となっている。

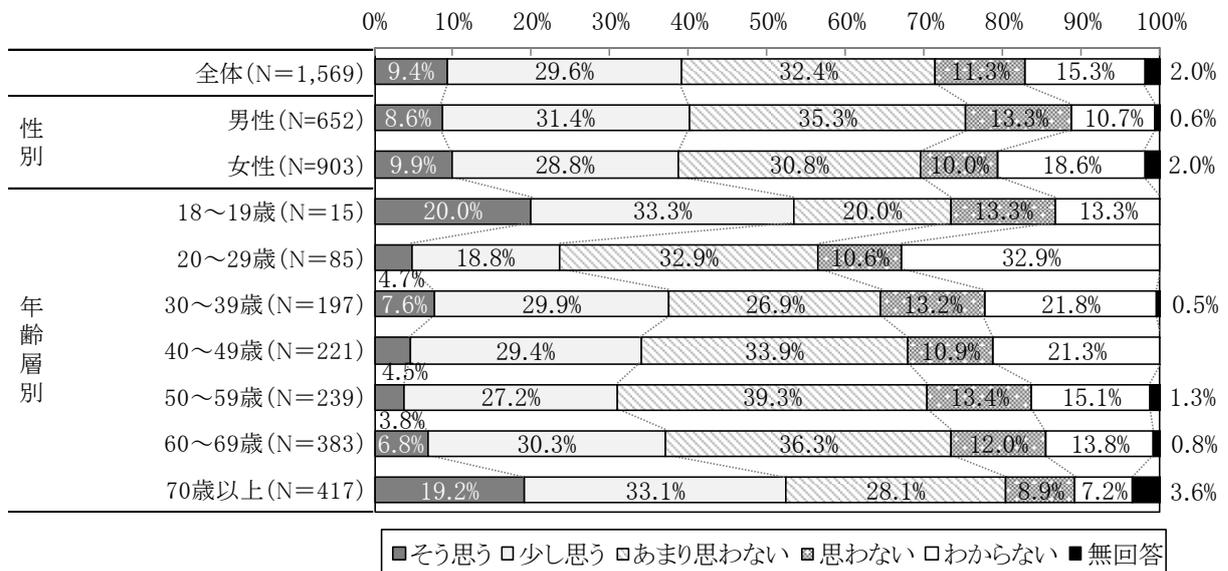
性別にみると，現在の状況については男性の方が防災体制が整備されていないという回答が 7.8ポイント高くなっており，今後の重要度については女性の方で「重要である」が 11.3ポイント高くなっている。

年齢層別にみると，現在防災体制が整備されていると感じている割合では 18～19歳と 70歳以上が高く，今後重要と感じている割合は 50～59歳が 91.2%と最も高くなっている。

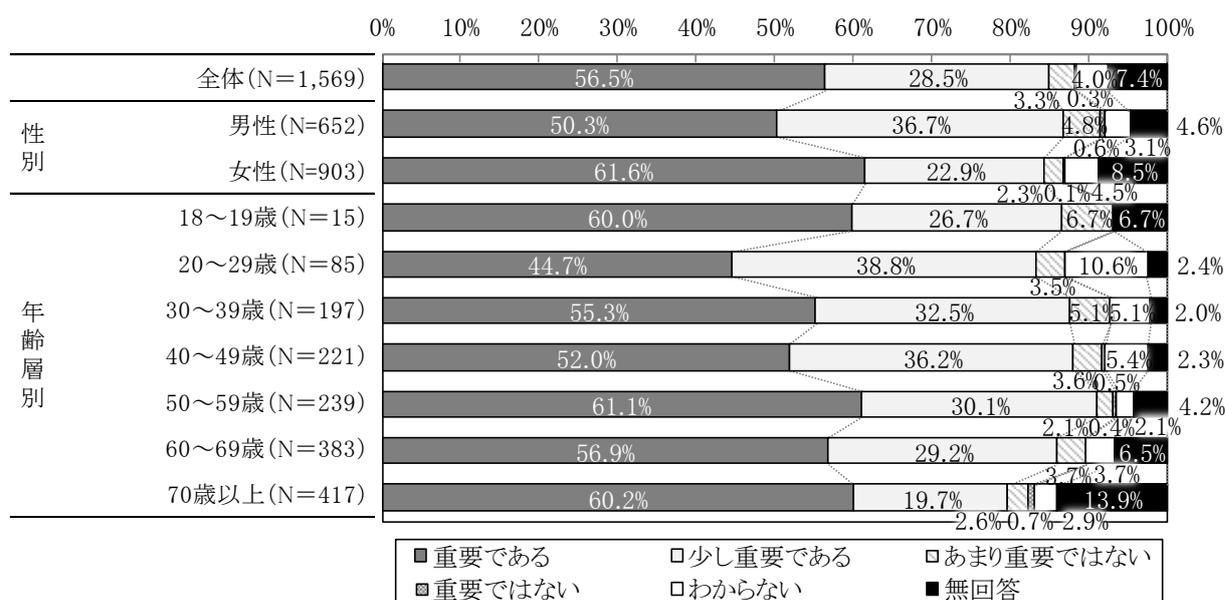
【災害時の防災体制】（現在の状況と今後の重要度）



【災害時の防災体制】（現在の状況・性別，年齢層別）



【災害時の防災体制】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑥ 消防・救急体制が充実していて，安心して暮らすことができる

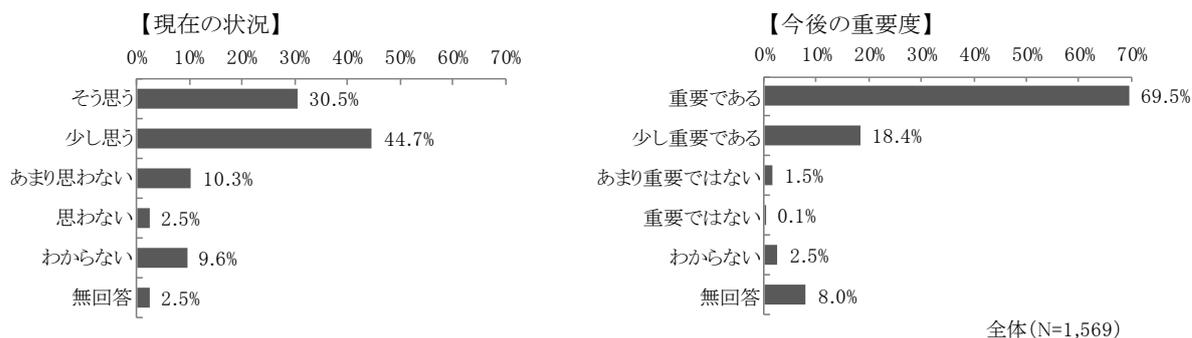
消防・救急体制について，全体では，現在の状況は「少し思う」が 44.7%と最も高くなっている。「そう思う」の 30.5%を合わせた消防・救急体制が整備されていると感じている割合は 75.2%で，「思わない」の 2.5%と「あまり思わない」の 10.3%を合わせた消防・救急体制が整備されていないと感じている割合 12.8%を，62.4 ポイント上回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 69.5%，「少し重要である」が 18.4%で，重要と感じている割合は 87.9%となっている。

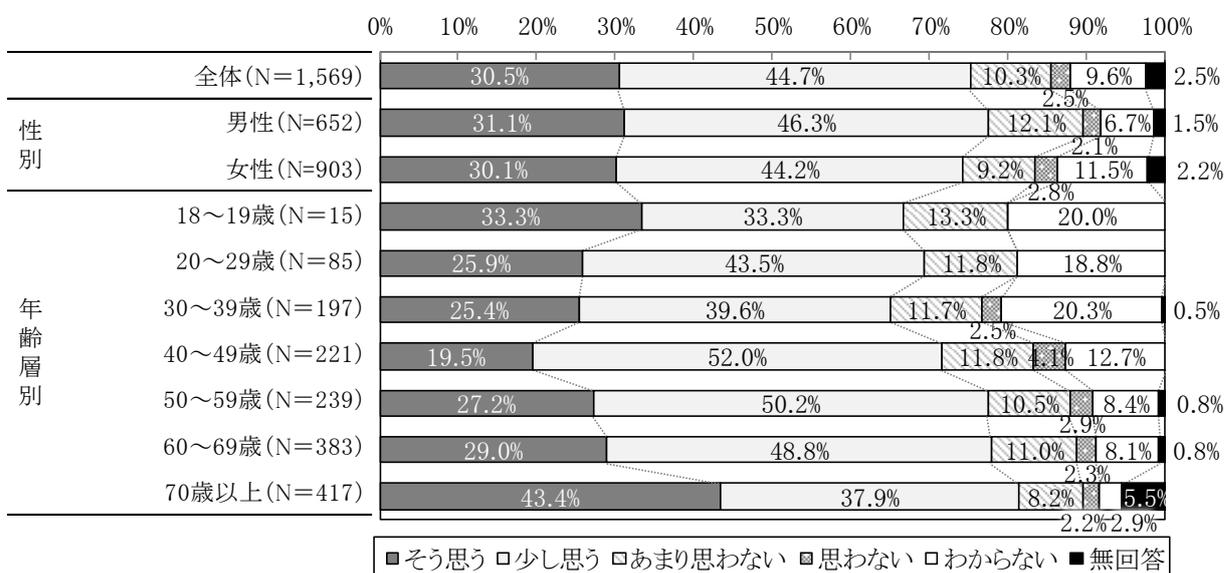
性別にみると，現在の状況については男性の方が消防・救急体制が整備されているという回答が 3.1 ポイント高くなっており，今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 2.3 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると，現在消防・救急体制が整備されていると感じている割合では 70 歳以上が 81.3%と最も高く，今後重要と感じている割合は 18～19 歳と 50～59 歳が高くなっている。

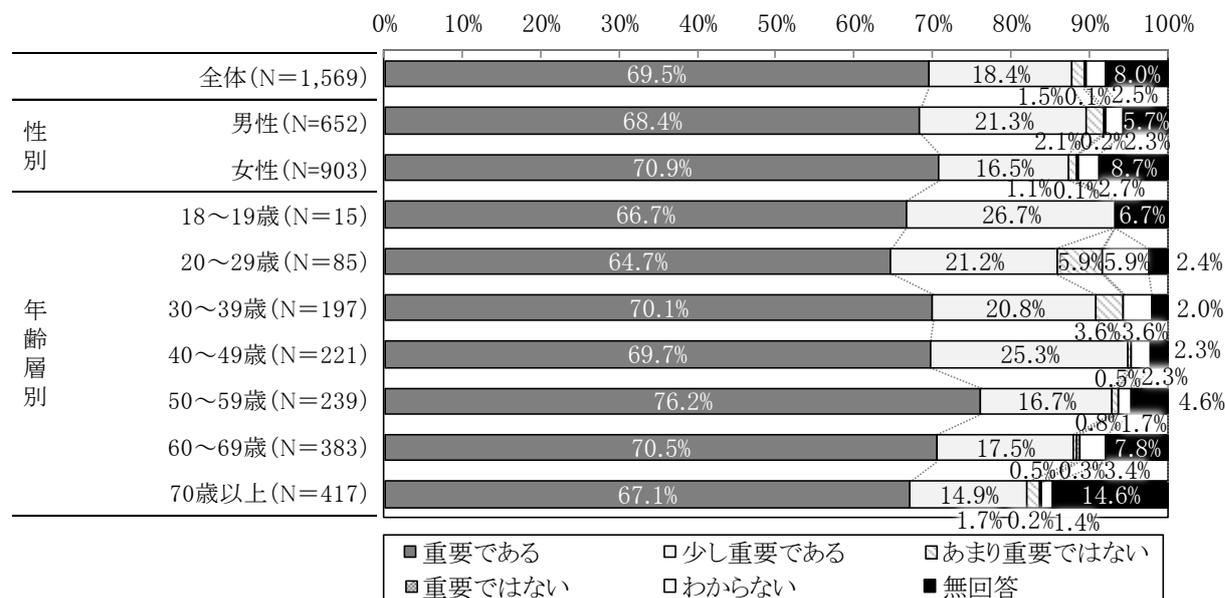
【消防・救急体制】（現在の状況と今後の重要度）



【消防・救急体制】（現在の状況・性別，年齢層別）



【消防・救急体制】（今後の重要度・性別，年齢層別）



(4) 産業・交流

① 良質な農産物が生産・販売されるなど、農業が盛んである

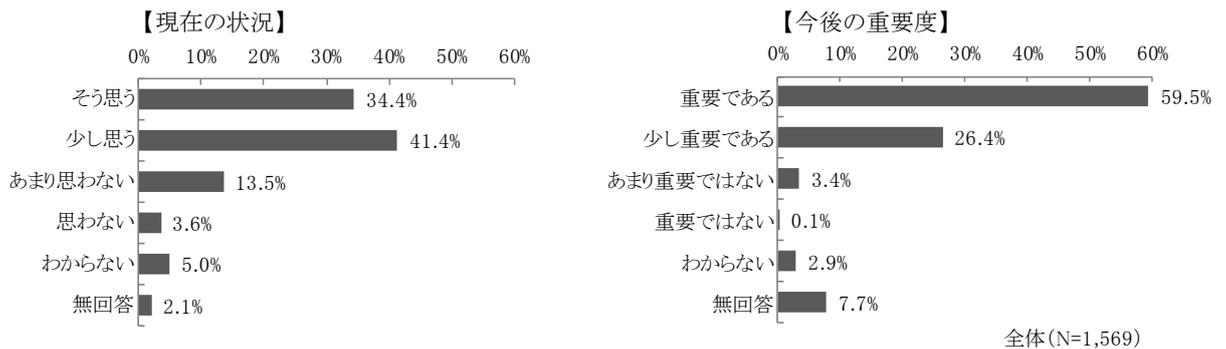
農業振興について、全体では、現在の状況は「少し思う」が41.4%と最も高くなっている。「そう思う」の34.4%を合わせた農業振興が盛んであると感じている割合は75.8%で、「思わない」の3.6%と「あまり思わない」の13.5%を合わせた農業振興が盛んではないと感じている割合17.1%を、58.7ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が59.5%、「少し重要である」が26.4%で、重要と感じている割合は85.9%となっている。

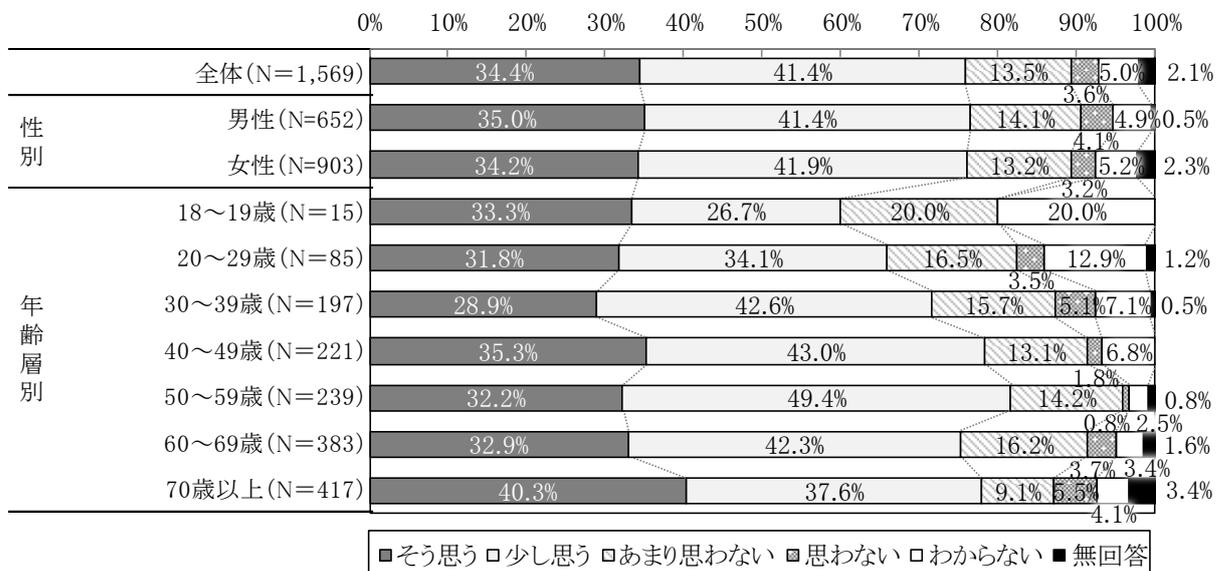
性別にみると、現在の状況についてはほぼ同じ傾向を示しており、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が3.1ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在農業振興が盛んであると感じている割合では50～59歳が81.6%と最も高く、今後重要と感じている割合は30～39歳が90.9%と最も高くなっている。

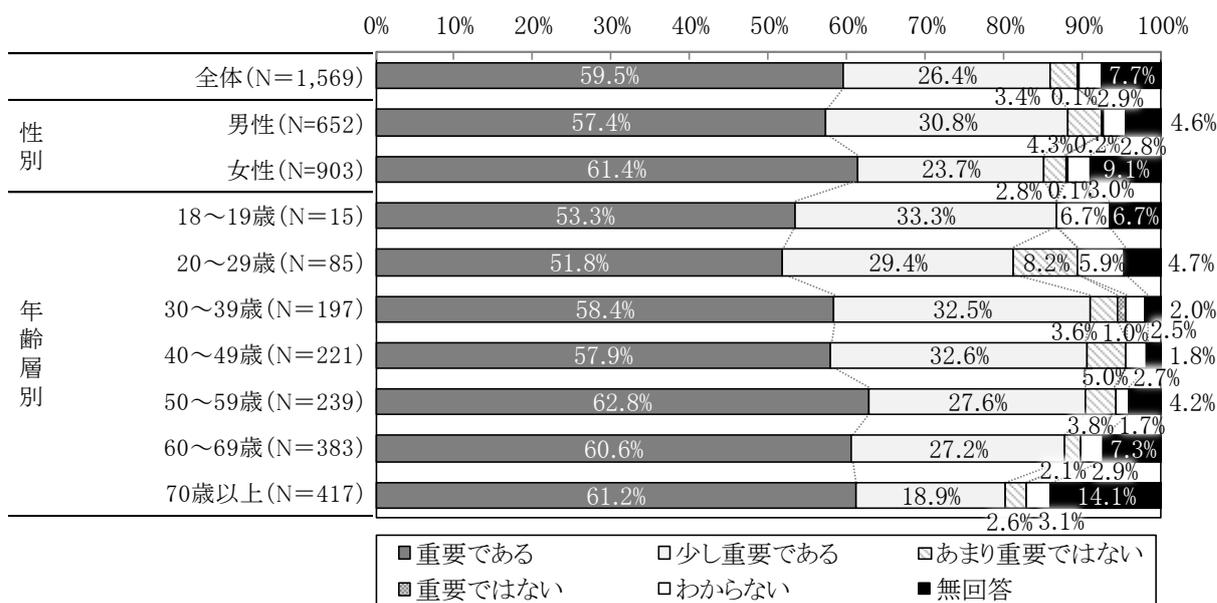
【農業振興】（現在の状況と今後の重要度）



【農業振興】（現在の状況・性別、年齢層別）



【農業振興】（今後の重要度・性別，年齢層別）



② 魅力のある地場産品が生産・販売されるなど，地場産業に活気がある

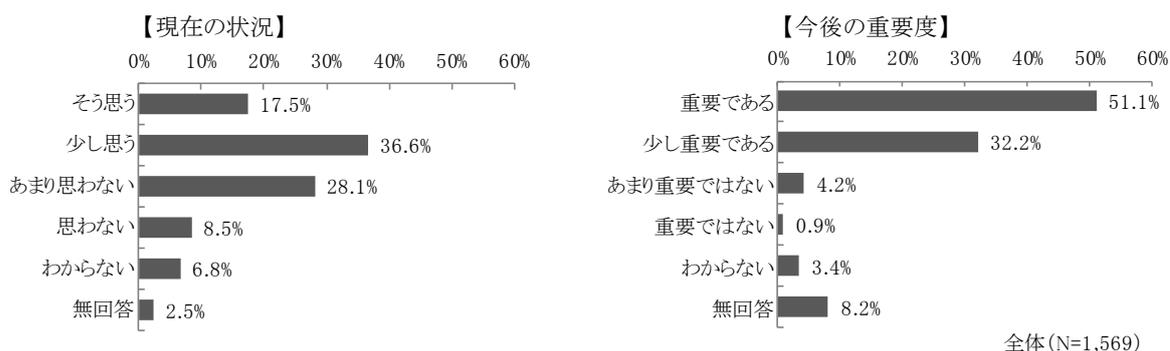
地場産業振興について，全体では，現在の状況は「少し思う」が 36.6%と最も高くなっている。「そう思う」の 17.5%を合わせた地場産業振興が盛んであると感じている割合は 54.1%で，「思わない」の 8.5%と「あまり思わない」の 28.1%を合わせた地場産業振興が盛んではないと感じている割合 36.6%を，17.5ポイント上回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 51.1%，「少し重要である」が 32.2%で，重要と感じている割合は 83.3%となっている。

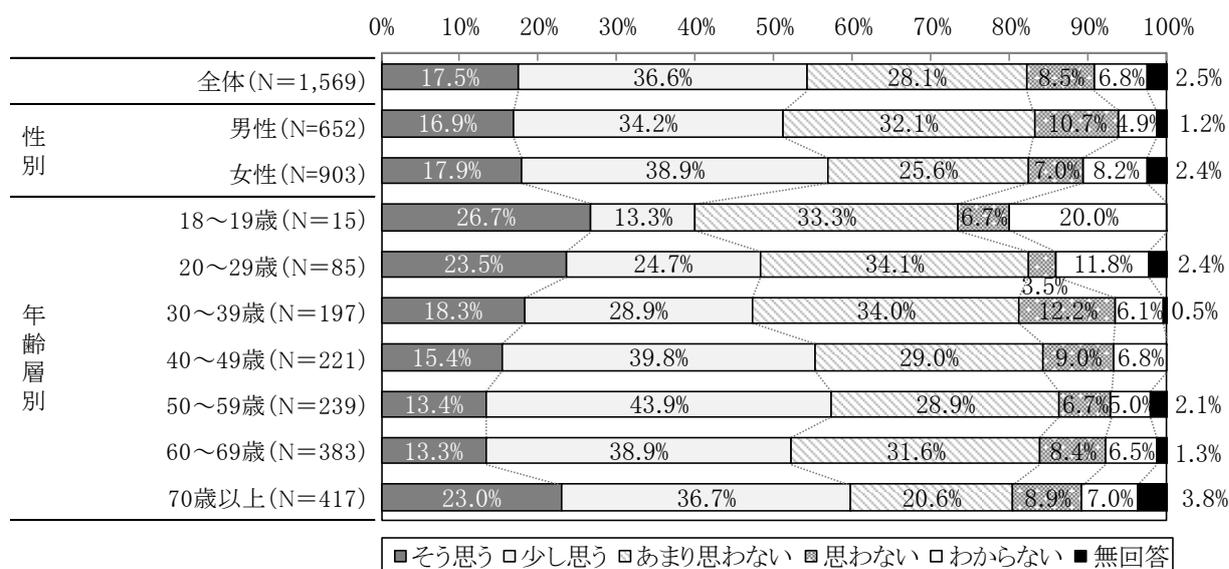
性別にみると，現在の状況については女性の方が地場産業振興が盛んであると感じているという回答が 5.7ポイント高く，今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 5.9ポイント高くなっている。

年齢層別にみると，現在地場産業振興が盛んであると感じている割合では 70歳以上が 59.7%と最も高く，今後重要と感じている割合は 40～49歳が 91.0%と最も高くなっている。

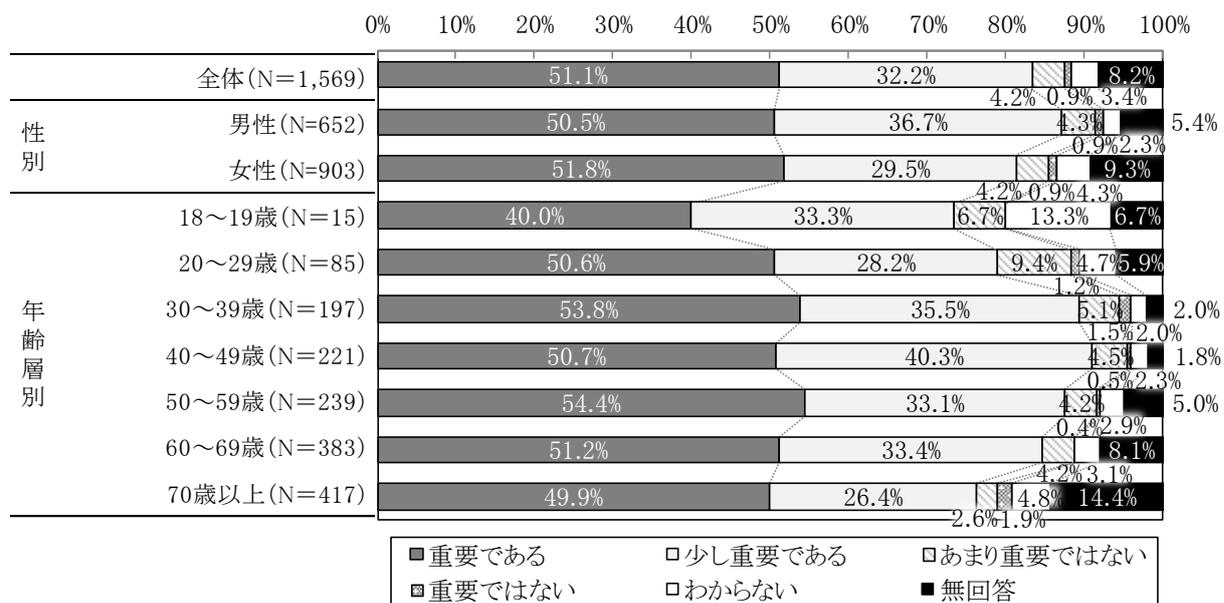
【地場産業振興】（現在の状況と今後の重要度）



【地場産業振興】（現在の状況・性別，年齢層別）



【地場産業振興】（今後の重要度・性別，年齢層別）



③ 企業誘致や地元企業の新事業への進出などが促進されて、地域経済が活発化している

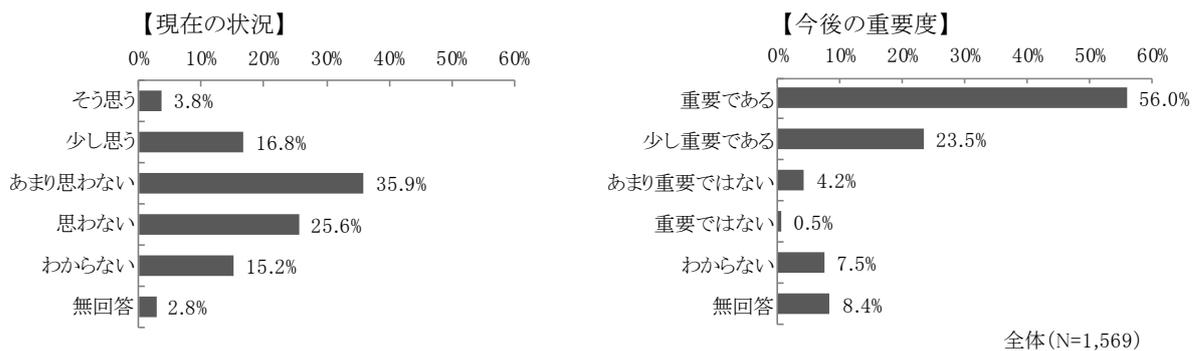
企業誘致や新事業の進出について、全体では、現在の状況は「あまり思わない」が 35.9%と最も高くなっている。「そう思う」の 3.8%と「少し思う」の 16.8%を合わせた地域経済が活発であると感じている割合は 20.6%で、「思わない」の 25.6%と「あまり思わない」を合わせた地域経済が活発ではないと感じている割合 61.5%を、40.9 ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 56.0%、「少し重要である」が 23.5%で、重要と感じている割合は 79.5%となっている。

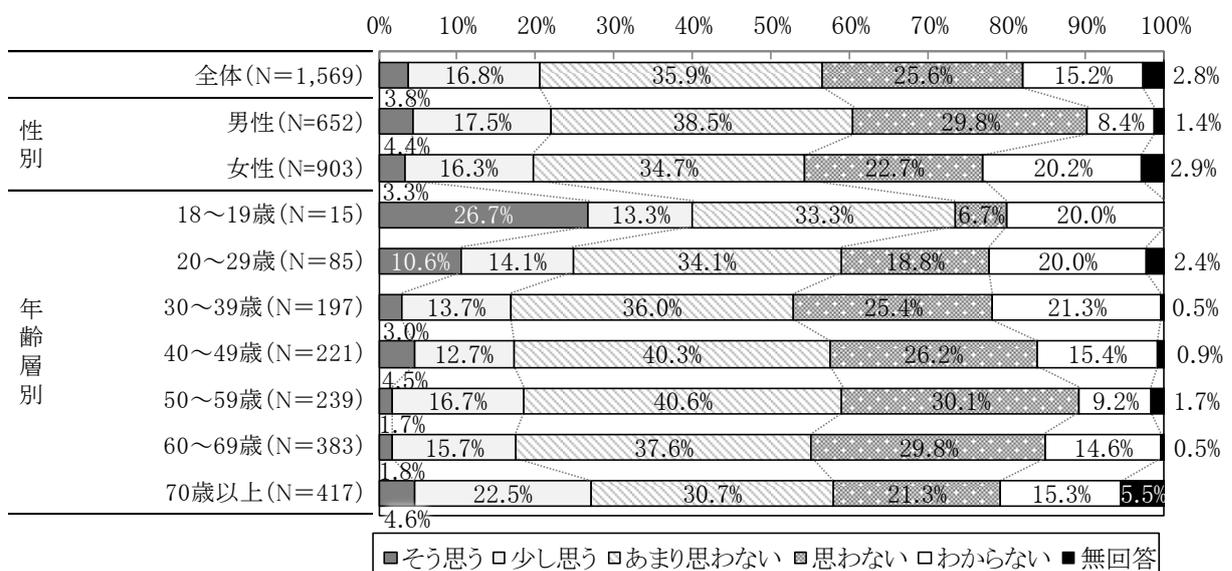
性別にみると、現在の状況については男性の方が企業誘致や新事業の進出が促進されていないと感じているという回答が 10.9 ポイント高く、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 8.5 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在企業誘致や新事業の進出が促進されていないと感じている割合では 50～59 歳が 70.7%と最も高く、今後重要と感じている割合は 50～59 歳が 87.0%と最も高くなっている。

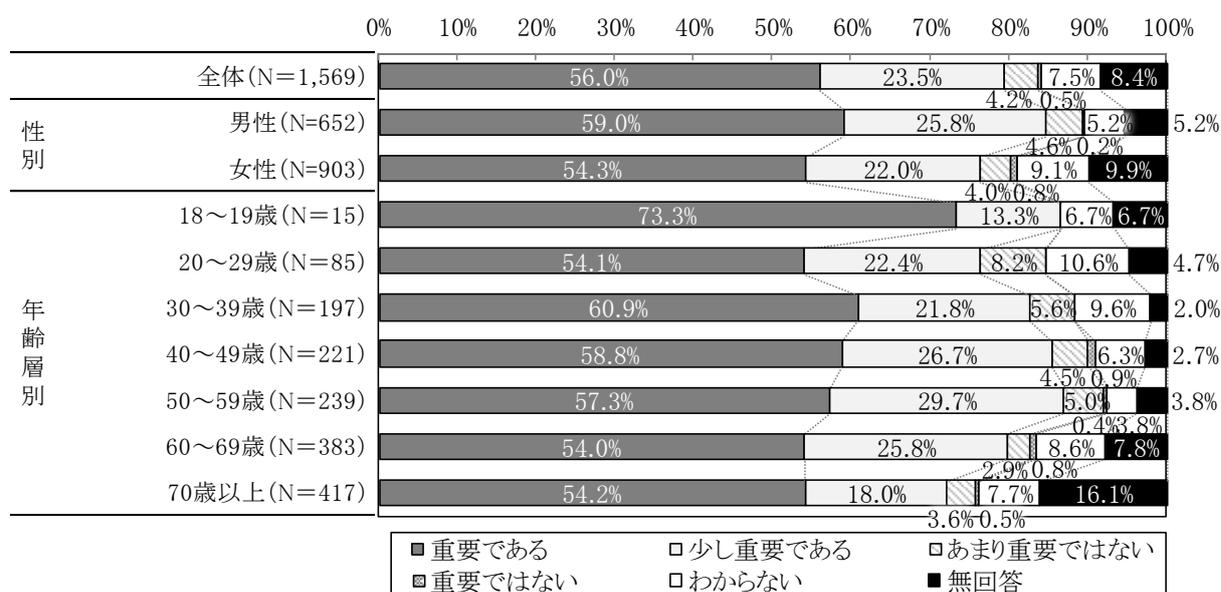
【企業誘致や新事業の進出】（現在の状況と今後の重要度）



【企業誘致や新事業の進出】（現在の状況・性別，年齢層別）



【企業誘致や新事業の進出】（今後の重要度・性別，年齢層別）



④ 就業・雇用に対する支援対策が図られていて、安心して働くことができる

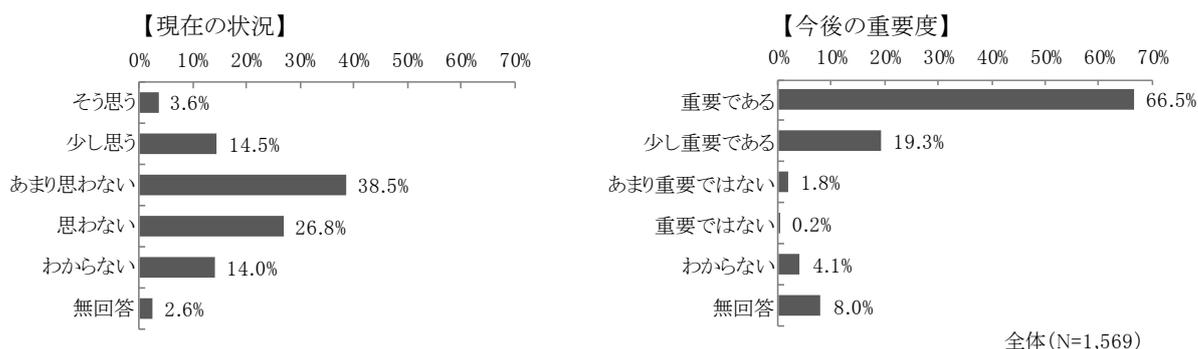
就業・雇用に対する支援対策について、全体では、現在の状況は「あまり思わない」が38.5%と最も高くなっている。「そう思う」の3.6%と「少し思う」の14.5%を合わせた就業・雇用に対する支援対策が図られているという割合は18.1%で、「思わない」の26.8%と「あまり思わない」を合わせた就業・雇用に対する支援対策が図られていないという割合65.3%を、47.2ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が66.5%、「少し重要である」が19.3%で、重要と感じている割合は85.8%となっている。

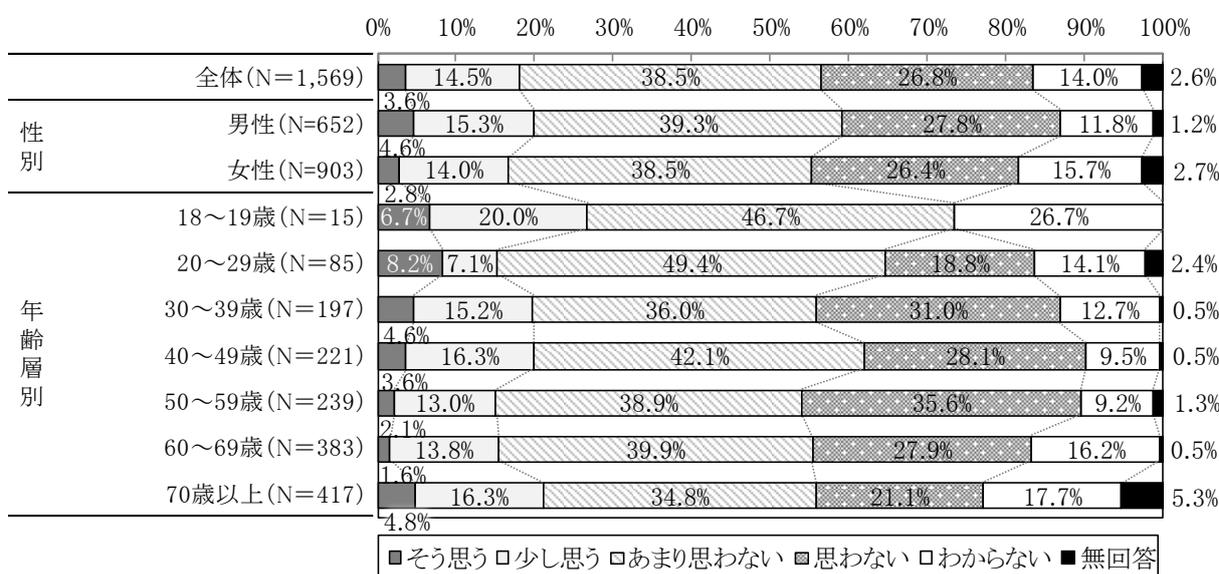
性別にみると、現在の状況については男性の方が就業・雇用に対する支援対策が図られていないという回答が2.2ポイント高く、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が5ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在就業・雇用に対する支援対策が図られていないという割合では50～59歳が74.5%と最も高く、今後重要と感じている割合は40～49歳が95.5%と最も高くなっているが、いずれの年齢層でも70%を超えている。

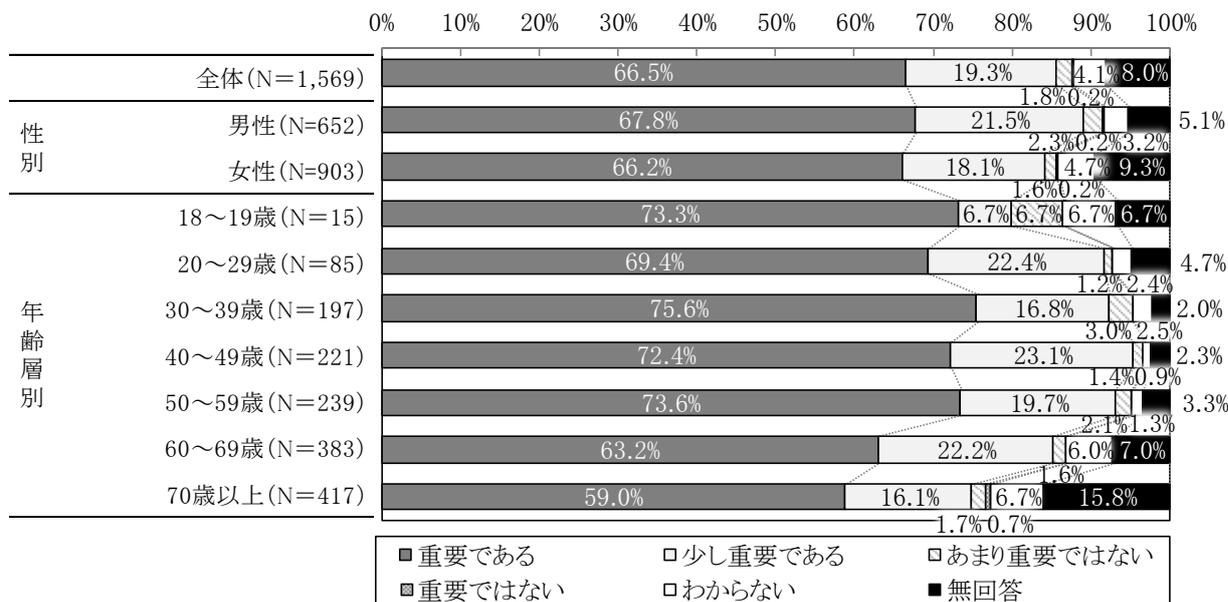
【就業・雇用に対する支援対策】（現在の状況と今後の重要度）



【就業・雇用に対する支援対策】（現在の状況・性別，年齢層別）



【就業・雇用に対する支援対策】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑤ 中心市街地の活性化が図られていて、魅力とにぎわいがある

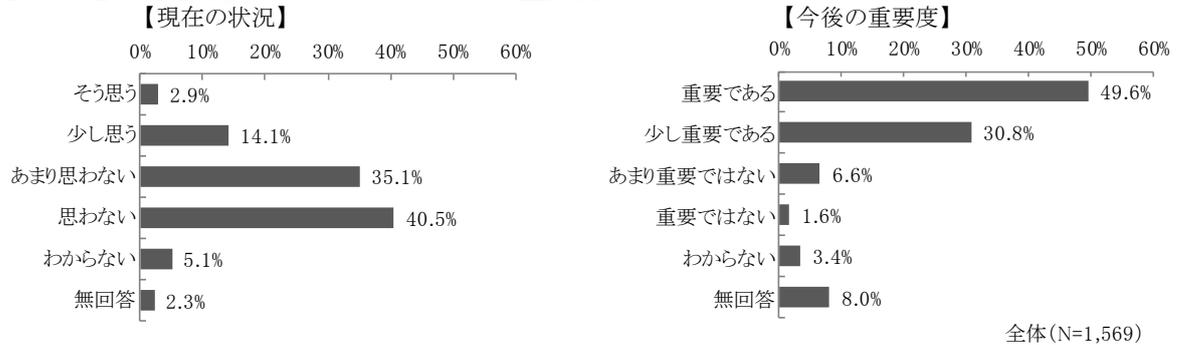
中心市街地の活性化について、全体では、現在の状況は「思わない」が 40.5%と最も高くなっている。「そう思う」の 2.9%と「少し思う」の 14.1%を合わせた中心市街地の活性化が図られているという割合は 17.0%で、「思わない」と「あまり思わない」の 35.1%を合わせた中心市街地の活性化が図られていないという割合 75.6%を、58.6 ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 49.6%、「少し重要である」が 30.8%で、重要と感じている割合は 80.4%となっている。

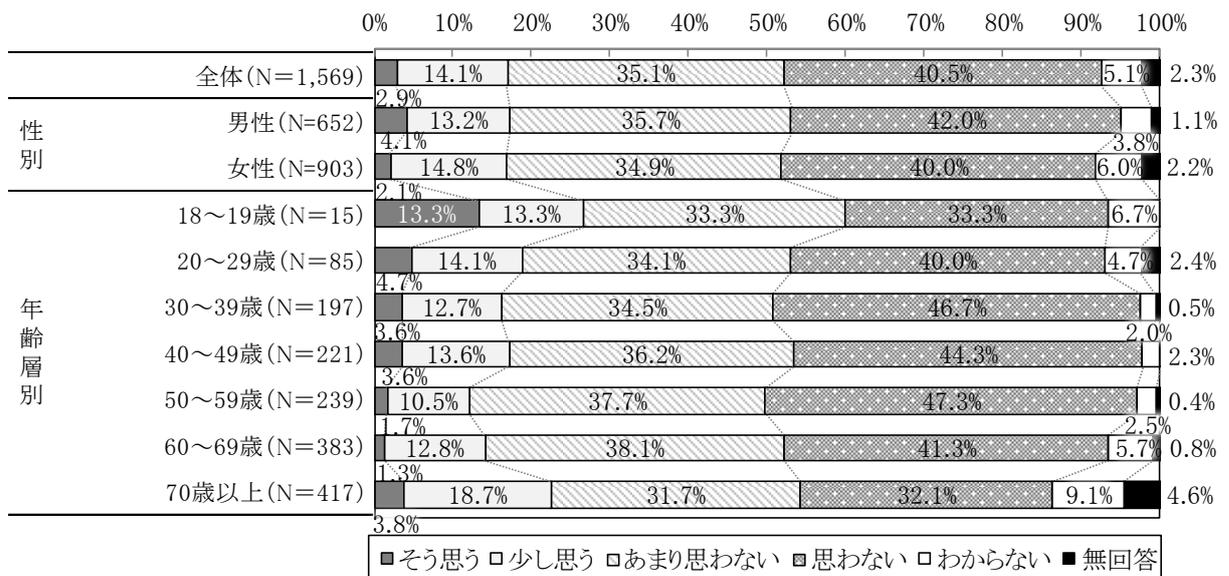
性別にみると、現在の状況についてはほぼ同じ傾向を示しており、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 2 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在中心市街地の活性化が図られていないという割合では 50～59 歳が 85.0%と最も高く、今後重要と感じている割合は 20～29 歳，30～39 歳，40～49 歳，50～59 歳で高くなっている。

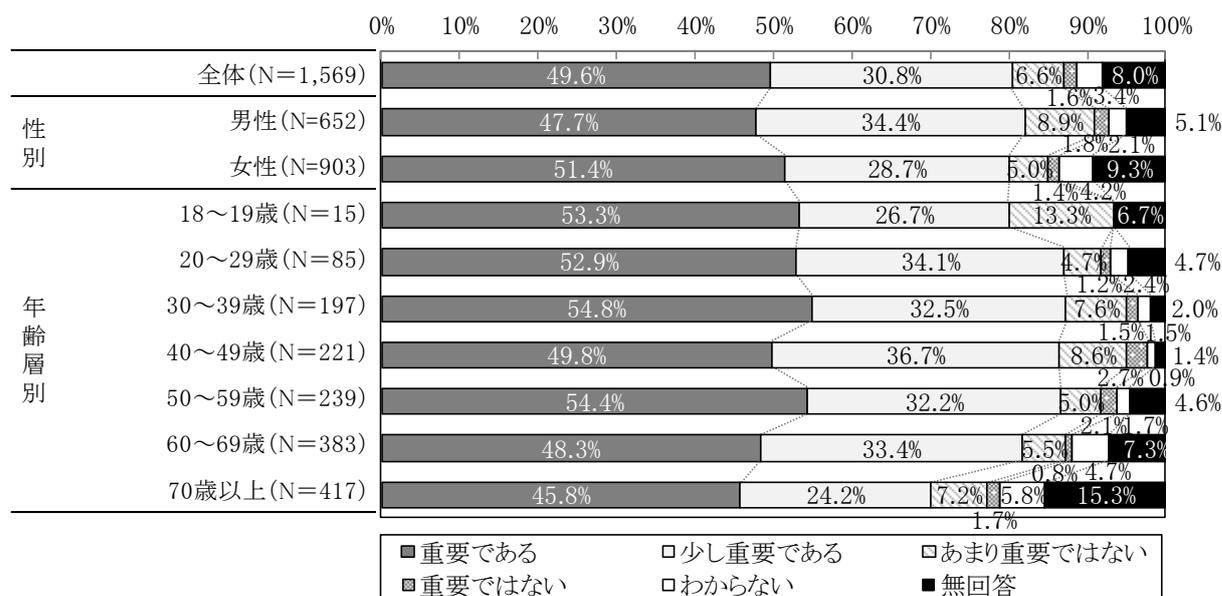
【中心市街地の活性化】（現在の状況と今後の重要度）



【中心市街地の活性化】（現在の状況・性別，年齢層別）



【中心市街地の活性化】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑥ 観光資源に魅力があり，国外や道外などから多くの観光客が訪れている

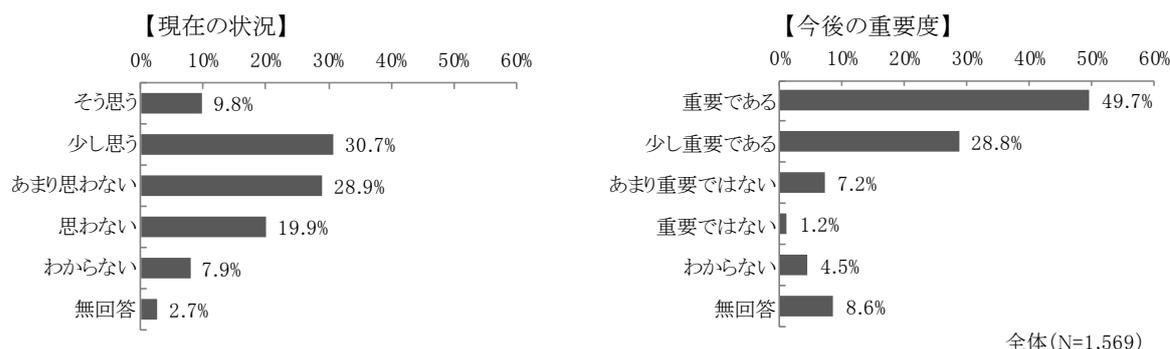
魅力ある観光資源について，全体では，現在の状況は「少し思う」が 30.7%と最も高くなっている。「そう思う」の 9.8%を合わせた魅力ある観光資源があるという割合は 40.5%で，「思わない」の 19.9%と「あまり思わない」の 28.9%を合わせた魅力ある観光資源がないという割合 48.8%を，8.3ポイント下回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 49.7%，「少し重要である」が 28.8%で，重要と感じている割合は 78.5%となっている。

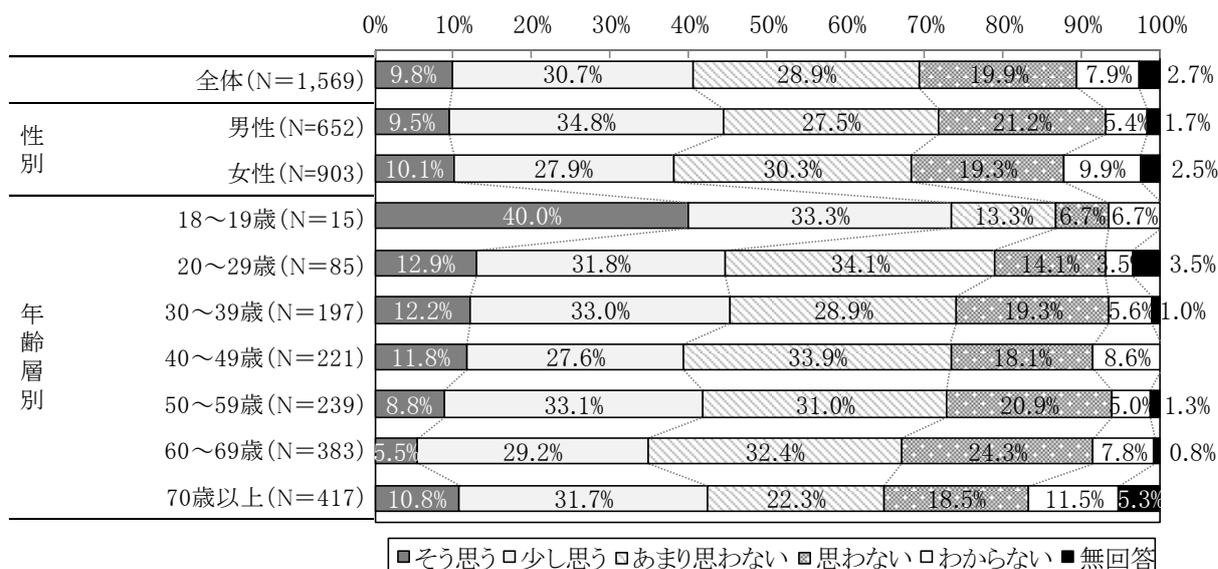
性別にみると，現在の状況については男性の方が魅力ある観光資源があるという回答が 6.3ポイント高く，今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 1.7ポイント高くなっている。

年齢層別にみると，現在魅力ある観光資源があるという割合では 18～19歳が 73.3%と最も高く，今後重要と感じている割合は 40～49歳が 85.5%と最も高くなっている。

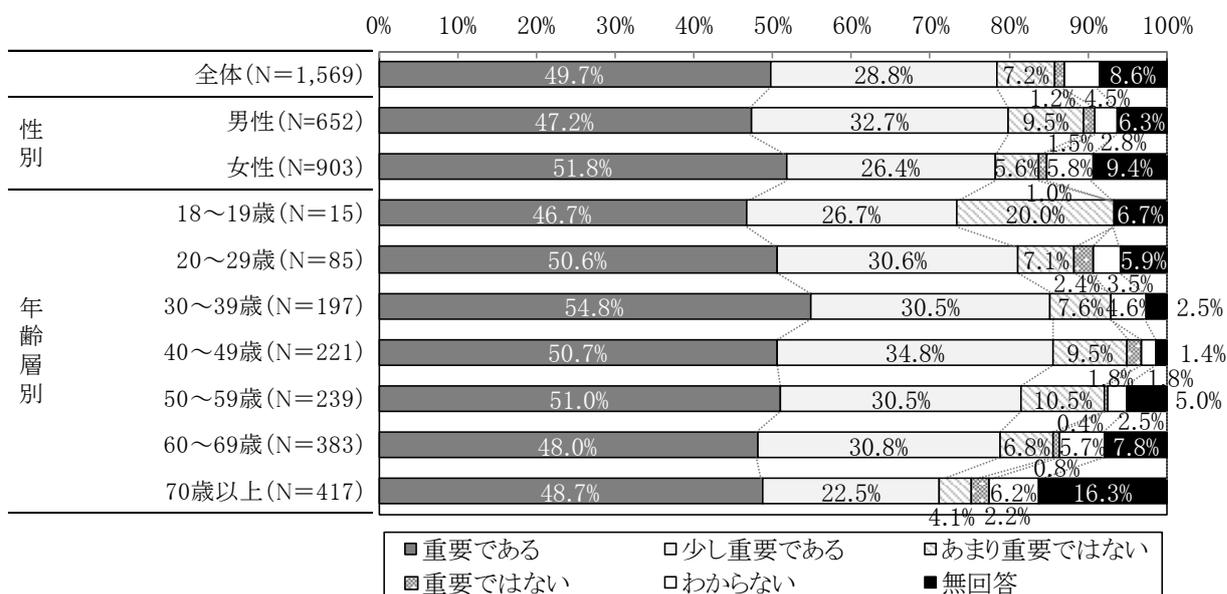
【魅力ある観光資源】（現在の状況と今後の重要度）



【魅力ある観光資源】（現在の状況・性別、年齢層別）



【魅力ある観光資源】（今後の重要度・性別、年齢層別）



(5) 環境・都市基盤

① 水質汚濁や大気汚染，騒音が少なく，良好な環境で生活できる

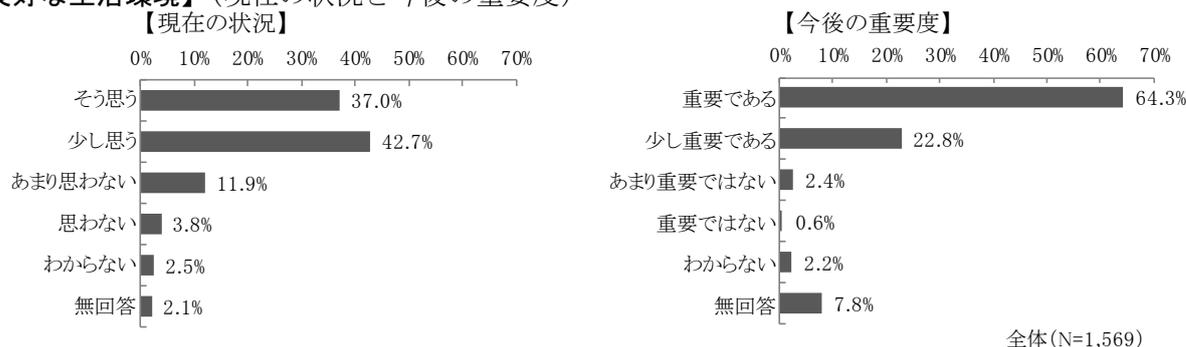
良好な生活環境について，全体では，現在の状況は「少し思う」が 42.7%と最も高くなっている。「そう思う」の 37.0%を合わせた良好な環境で生活できるという割合は 79.7%で，「思わない」の 3.8%と「あまり思わない」の 11.9%を合わせた良好な環境で生活できないという割合 15.7%を，64.0 ポイント上回っている。

今後の重要度について，全体では，「重要である」が 64.3%，「少し重要である」が 22.8%で，重要と感じている割合は 87.1%となっている。

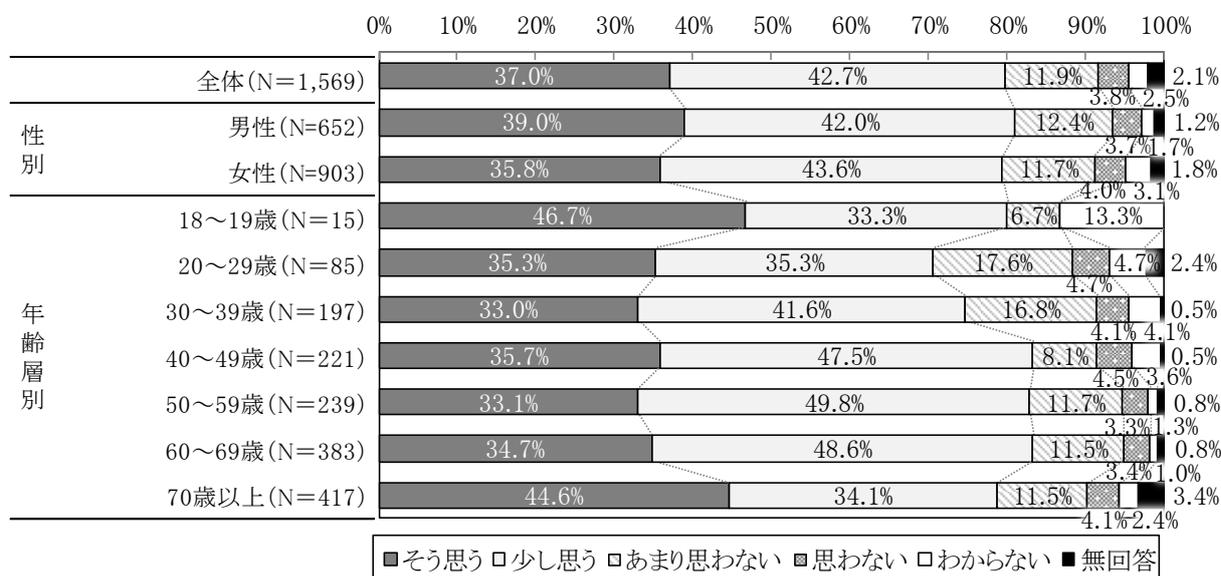
性別にみると，現在の状況については良好な環境で生活できるという回答はほぼ同じ割合であり，今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 4.4 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると，現在良好な環境で生活できるという割合では 40～49 歳，50～59 歳，60～69 歳が高くなっている。今後重要と感じている割合は 18～19 歳が 93.4%と最も高く，いずれの年齢層でも 80%を超えている。

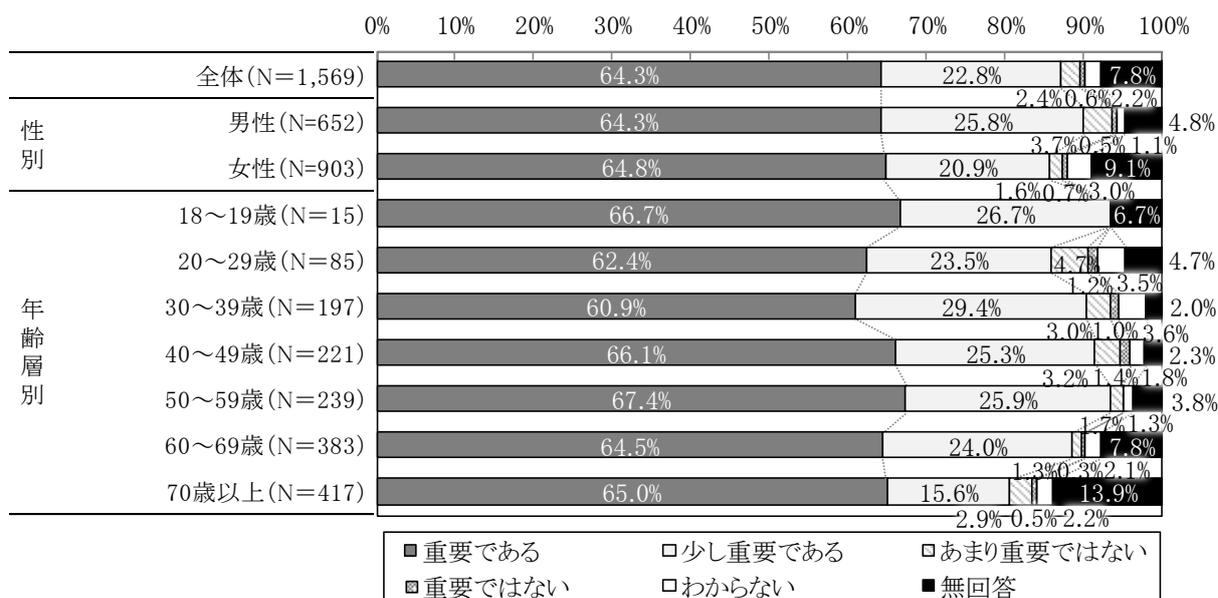
【良好な生活環境】（現在の状況と今後の重要度）



【良好な生活環境】（現在の状況・性別，年齢層別）



【良好な生活環境】（今後の重要度・性別、年齢層別）



② 豊かな自然環境が保全され、緑などの美しい自然を身近に感じることができる

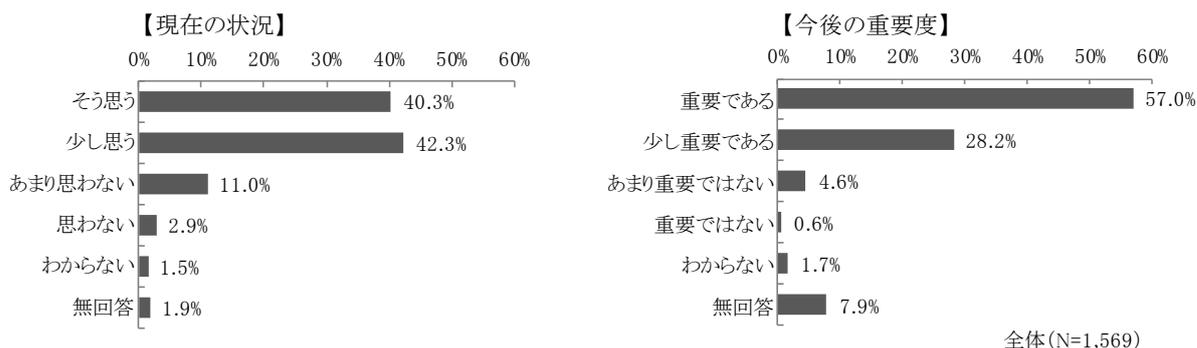
自然環境の保全について、全体では、現在の状況は「少し思う」が 42.3%と最も高くなっている。「そう思う」の 40.3%を合わせた自然環境が保全されているという割合は 82.6%で、「思わない」の 2.9%と「あまり思わない」の 11.0%を合わせた自然環境が保全されていないという割合 13.9%を、68.7 ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 57.0%、「少し重要である」が 28.2%で、重要と感じている割合は 85.2%となっている。

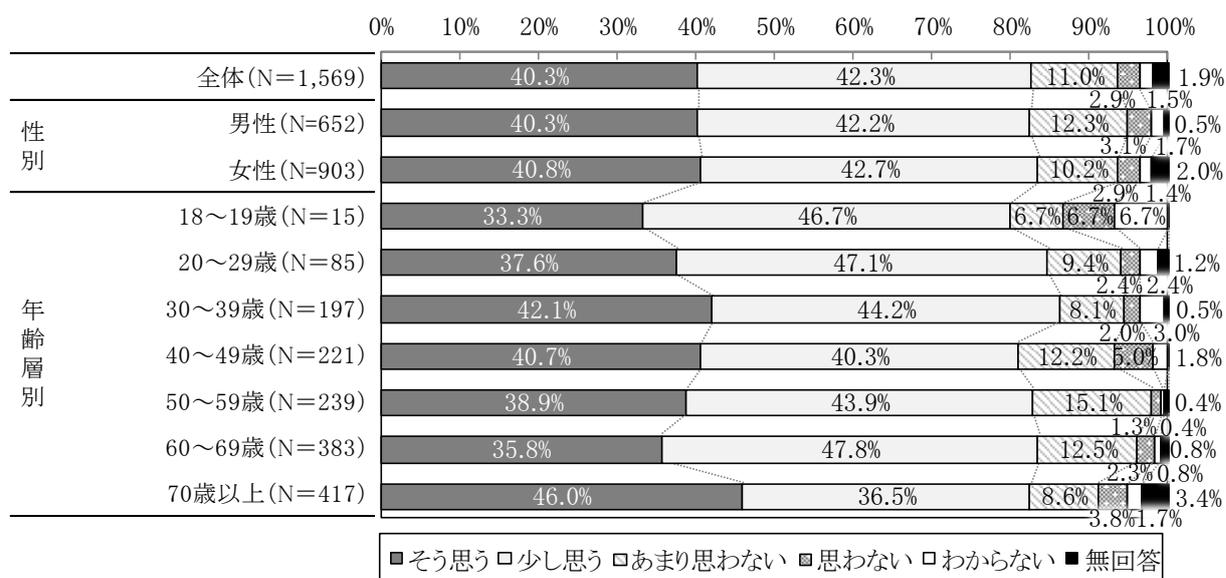
性別にみると、現在の状況についてはほぼ同じ傾向を示しており、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 2.7 ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在自然環境が保全されているという割合では 30～39 歳が 86.3%と最も高くなっている。今後重要と感じている割合は 50～59 歳が 90.8%と最も高く、いずれの年齢層でも 80%を超えている。

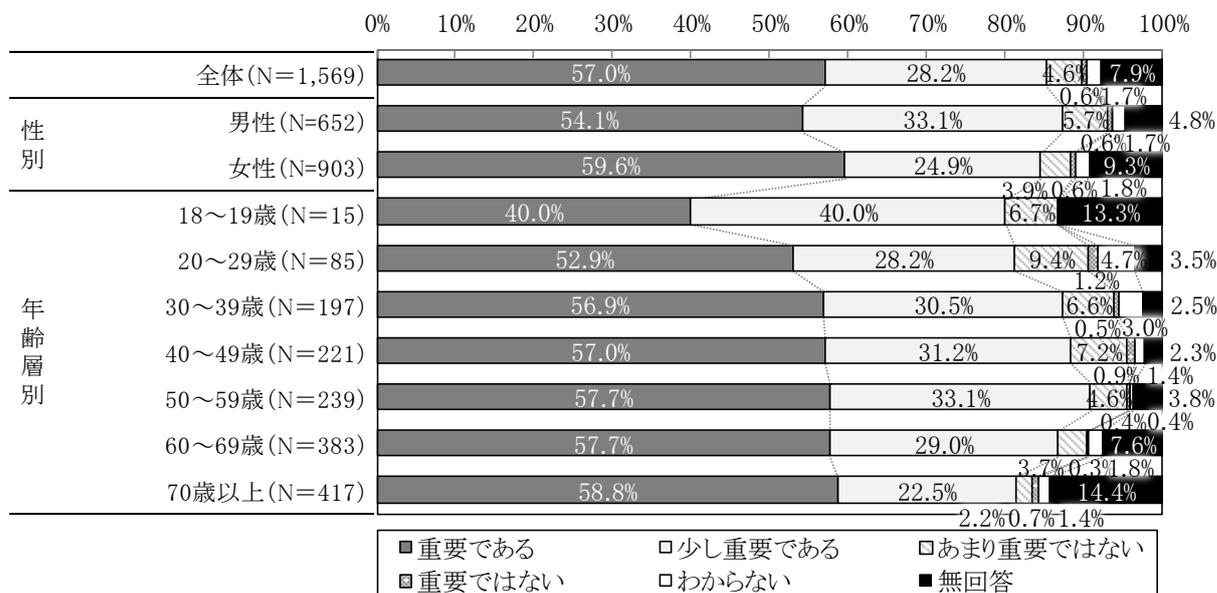
【自然環境の保全】（現在の状況と今後の重要度）



【自然環境の保全】（現在の状況・性別，年齢層別）



【自然環境の保全】（今後の重要度・性別，年齢層別）



③ ごみの減量化やリサイクルが推進されていて、環境にやさしい暮らしができる

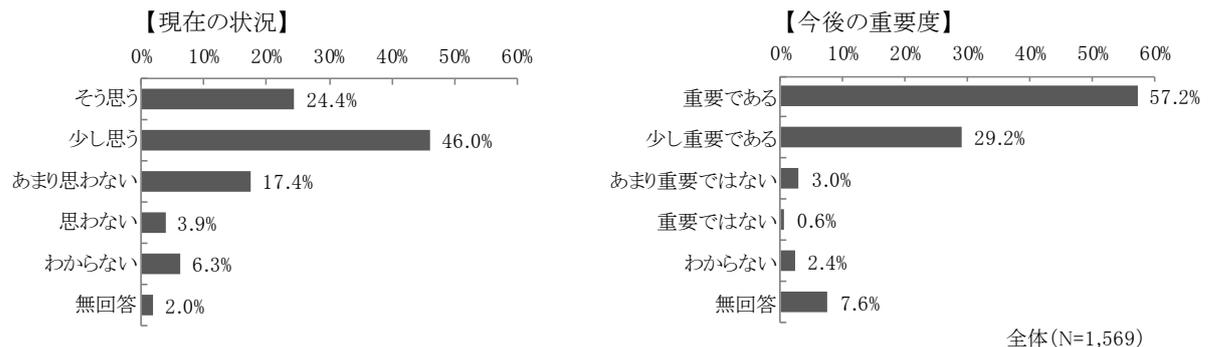
ごみの減量化とリサイクルの推進について、全体では、現在の状況は「少し思う」が46.0%と最も高くなっている。「そう思う」の24.4%を合わせた、ごみの減量化とリサイクルの推進がされているという割合は70.4%で、「思わない」の3.9%と「あまり思わない」の17.4%を合わせたごみの減量化とリサイクルの推進がされていないという割合21.3%を、49.1ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が57.2%、「少し重要である」が29.2%で、重要と感じている割合は86.4%となっている。

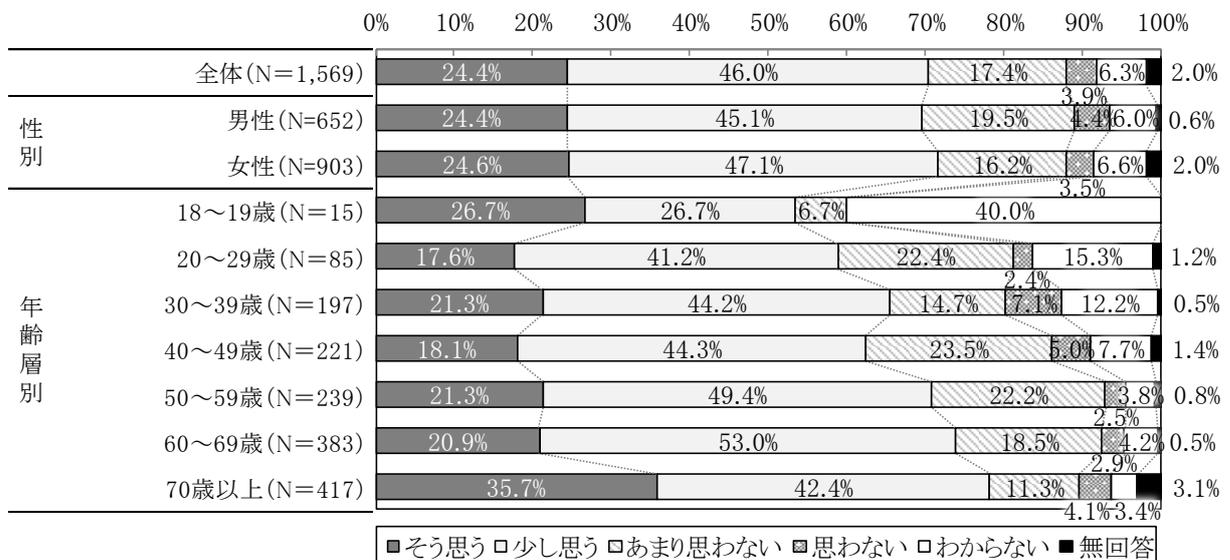
性別にみると、現在の状況についてはほぼ同じ傾向を示しており、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が2.5ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、ごみの減量化とリサイクルの推進がされているという割合では70歳以上が78.1%と最も高くなっている。今後重要と感じている割合は50～59歳が90.8%と最も高く、いずれの年齢層でも80%を超えている。

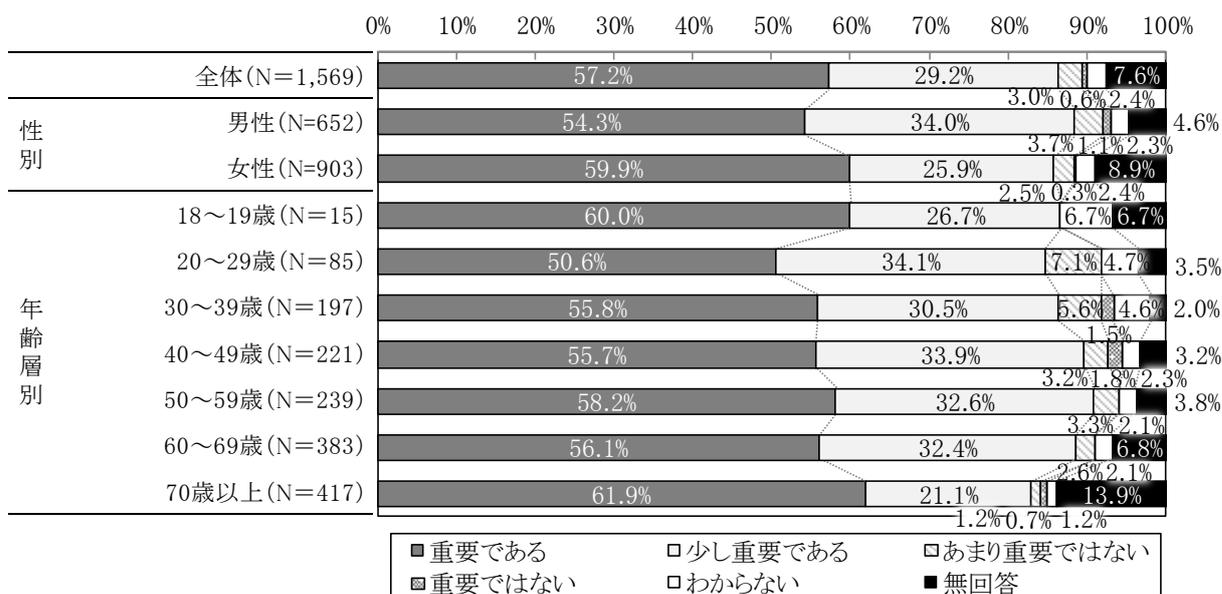
【ごみの減量化とリサイクルの推進】（現在の状況と今後の重要度）



【ごみの減量化とリサイクルの推進】（現在の状況・性別、年齢層別）



【ごみの減量化とリサイクルの推進】（今後の重要度・性別，年齢層別）



④ 省エネルギーや太陽光などの再生可能エネルギーの普及が図られていて、環境にやさしい暮らしができる

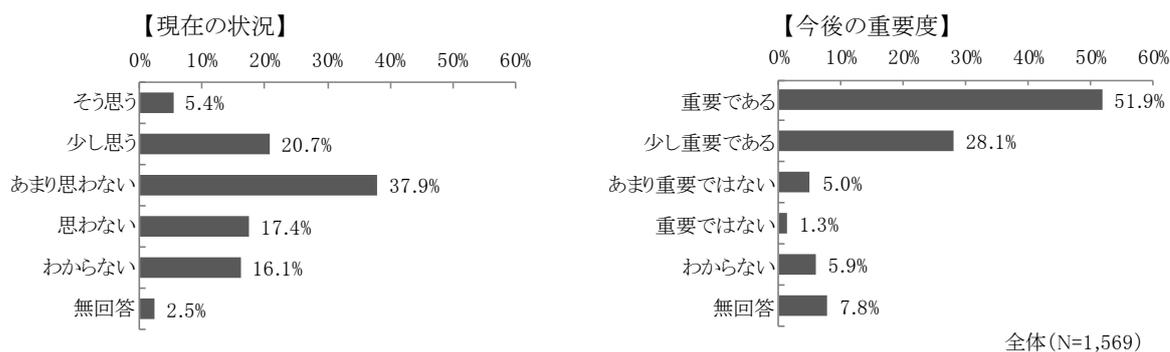
再生可能エネルギーの普及について、全体では、現在の状況は「あまり思わない」が37.9%と最も高くなっている。「そう思う」の5.4%と「少し思う」の20.7%を合わせた再生可能エネルギーの普及が図られているという割合は26.1%で、「思わない」の17.4%と「あまり思わない」を合わせた再生可能エネルギーの普及が図られていないという割合55.3%を、29.2ポイント下回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が51.9%、「少し重要である」が28.1%で、重要と感じている割合は80.0%となっている。

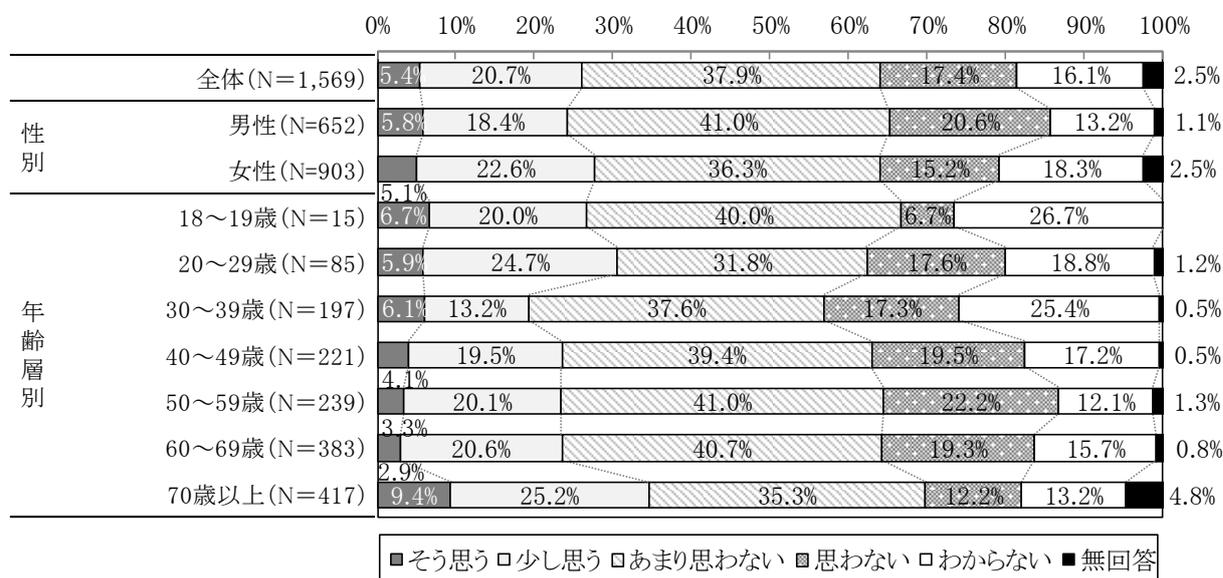
性別にみると、現在の状況については男性の方が再生可能エネルギーの普及が図られていないという回答が10.1ポイント高く、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が3.3ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在再生可能エネルギーの普及が図られていないという割合では、50～59歳が63.2%と最も高く、今後重要と感じている割合は40～49歳が87.8%と最も高くなっている。

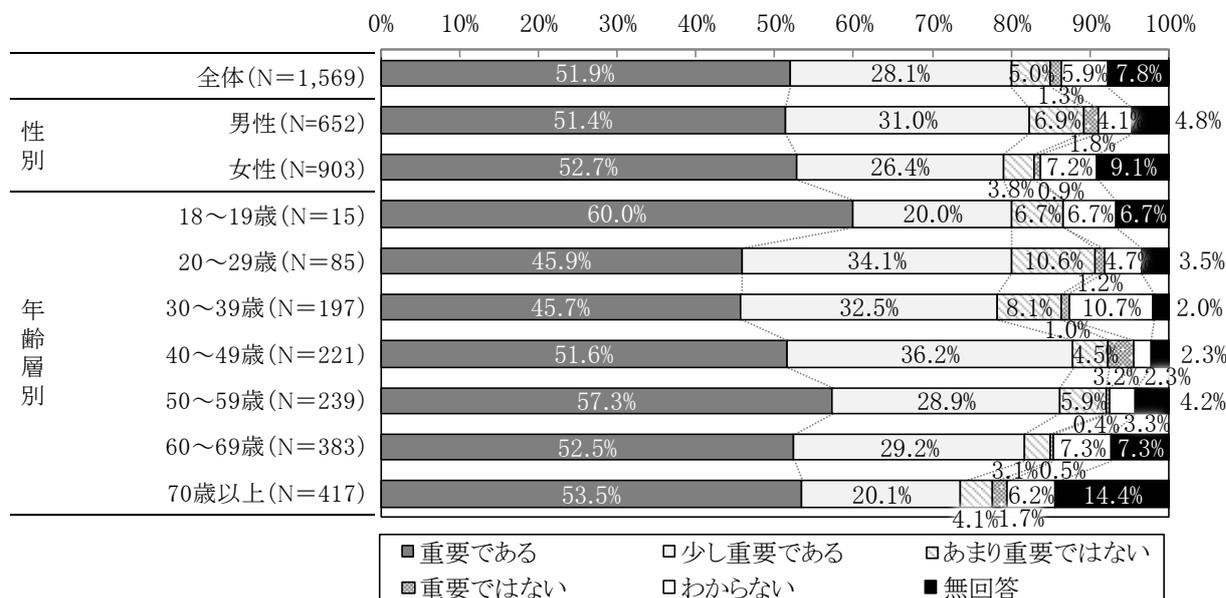
【再生可能エネルギーの普及】（現在の状況と今後の重要度）



【再生可能エネルギーの普及】（現在の状況・性別，年齢層別）



【再生可能エネルギーの普及】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑤ 公園・緑地などの憩いの場や住環境などが整っていて、快適に暮らすことができる

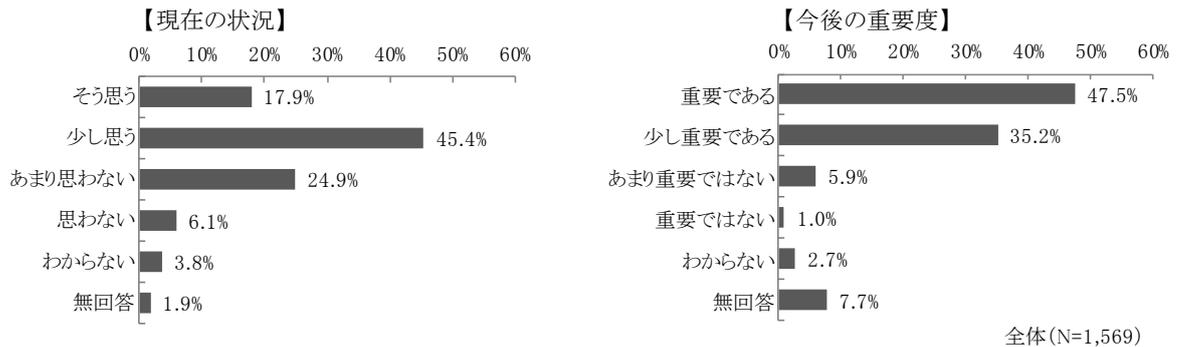
住環境の整備について、全体では、現在の状況は「少し思う」が45.4%と最も高くなっている。「そう思う」の17.9%を合わせた快適な住環境が整備されているという割合は63.3%で、「思わない」の6.1%と「あまり思わない」の24.9%を合わせた快適な住環境が整備されていないという割合31.0%を、32.3ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が47.5%、「少し重要である」が35.2%で、重要と感じている割合は82.7%となっている。

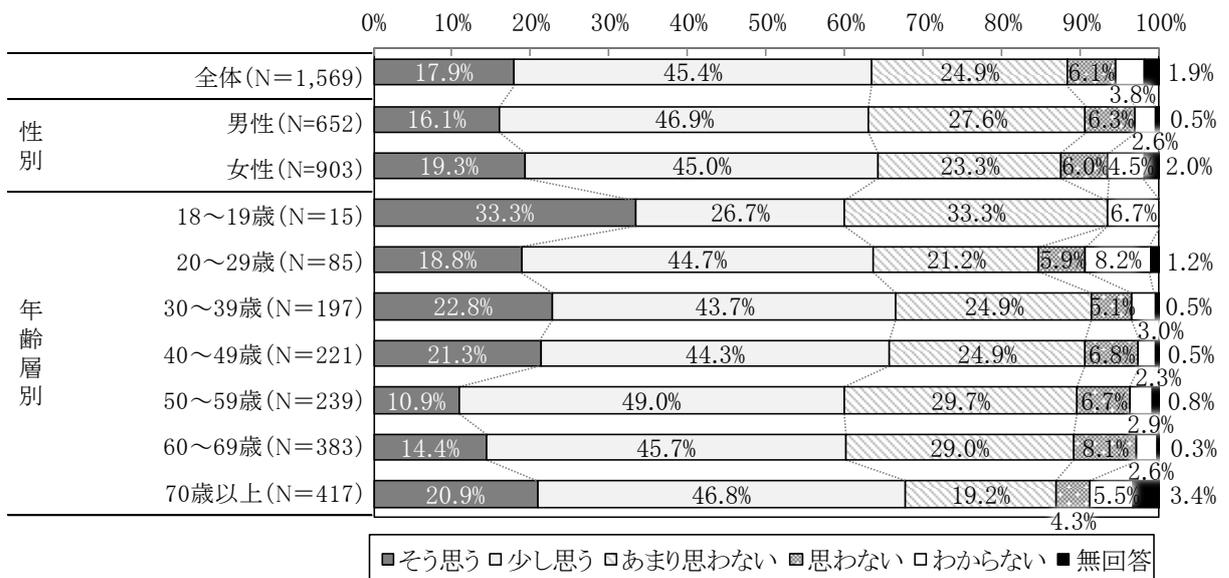
性別にみると、現在の状況については快適な住環境が整備されているという回答はほぼ同じ割合であり、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が2.2ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在快適な住環境が整備されているという割合では、70歳以上が67.7%と最も高く、今後重要と感じている割合は30～39歳、40～49歳、50～59歳で高くなっている。

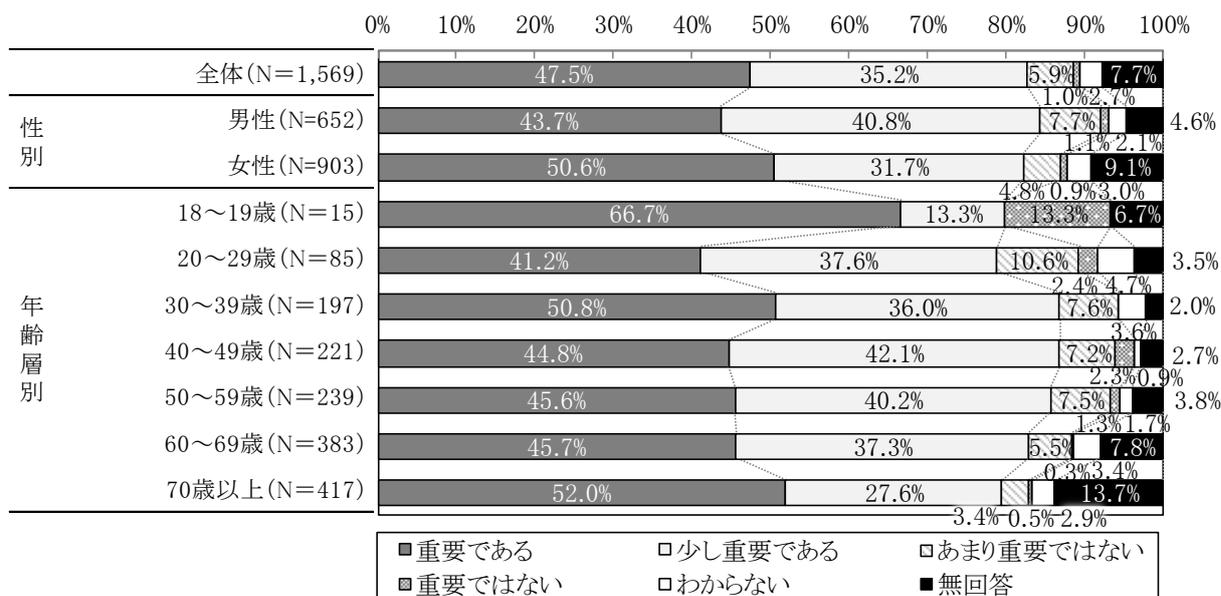
【住環境の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【住環境の整備】（現在の状況・性別，年齢層別）



【住環境の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



⑥ 道路や交通網が整っていて、公共交通機関や自家用車、自動車などで快適に移動することができる

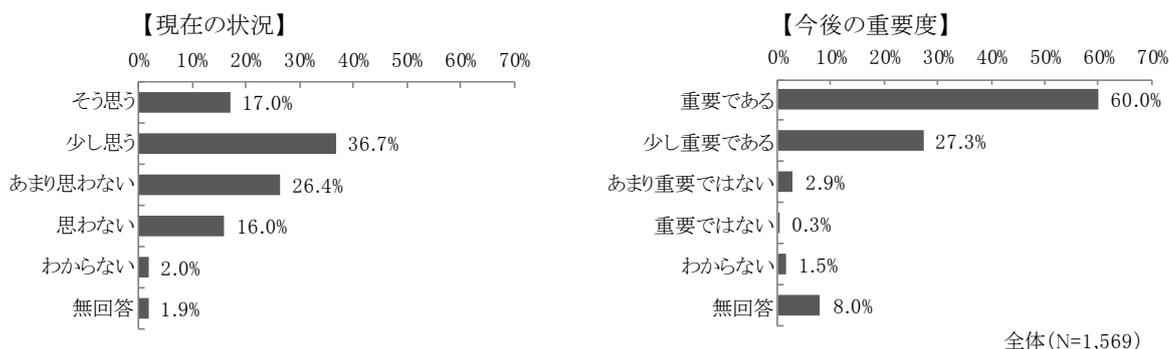
道路や交通網の整備について、全体では、現在の状況は「少し思う」が 36.7%と最も高くなっている。「そう思う」の 17.0%を合わせた道路や交通網が整備されているという割合は 53.7%で、「思わない」の 16.0%と「あまり思わない」の 26.4%を合わせた快適な住環境が整備されていないという割合 42.4%を、11.3ポイント上回っている。

今後の重要度について、全体では、「重要である」が 60.0%、「少し重要である」が 27.3%で、重要と感じている割合は 87.3%となっている。

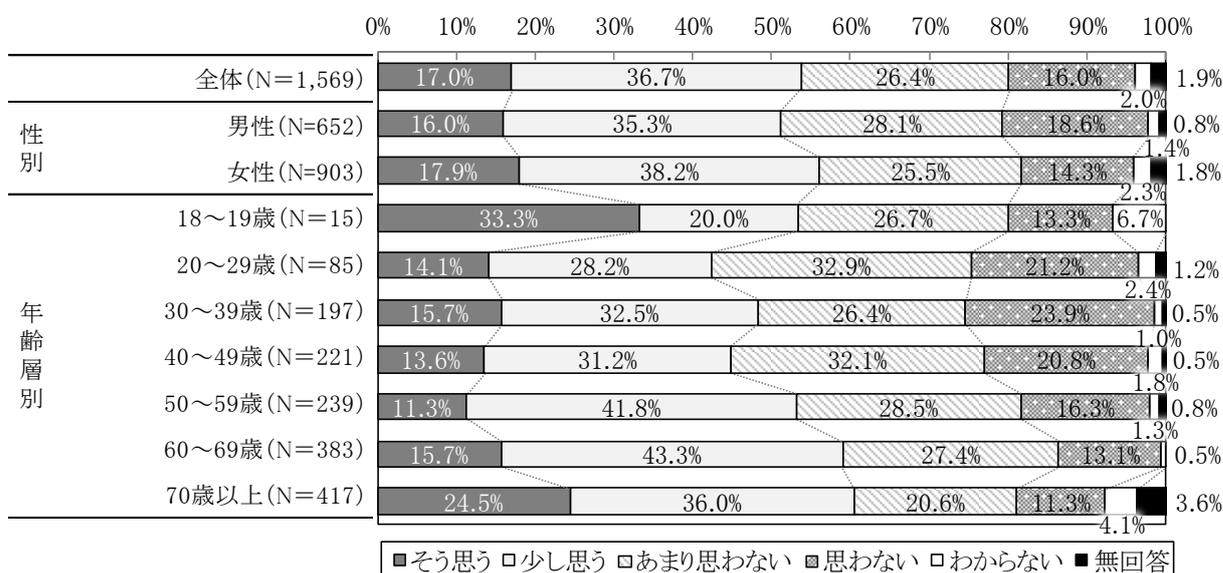
性別にみると、現在の状況については女性の方が道路や交通網が整備されているという回答が 4.8ポイント高くなっており、今後の重要度については男性の方が重要と感じているという回答が 2.1ポイント高くなっている。

年齢層別にみると、現在道路や交通網が整備されているという割合では、70歳以上が 60.5%と最も高くなっている。今後重要と感じている割合は 30～39歳が 94.9%と最も高く、いずれの年齢層でも 80%を超えている。

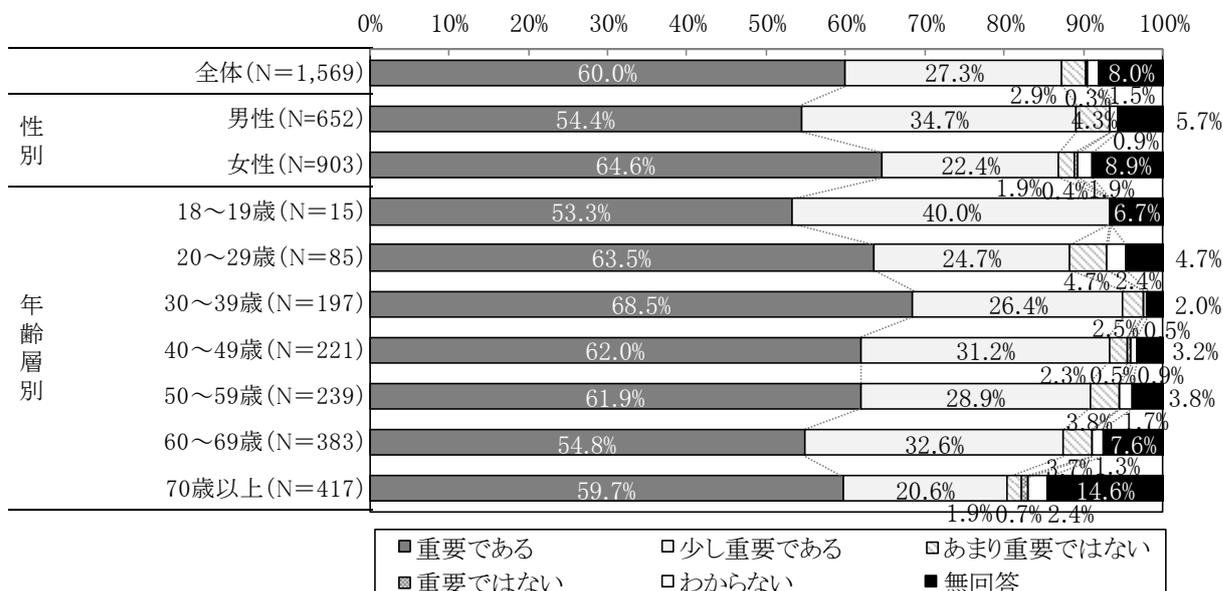
【道路や交通網の整備】（現在の状況と今後の重要度）



【道路や交通網の整備】（現在の状況・性別，年齢層別）



【道路や交通網の整備】（今後の重要度・性別，年齢層別）



## Ⅱ－４ まちづくりについての自由意見

旭川市のまちづくりについて、ご意見・ご提案をご自由に記入してください。

### 1 自由意見記入者の概要

アンケートの最後で、旭川市のまちづくりについて回答者の意見や提案を自由に求めた。

回答者数 1,569 人のうち、51.1%にあたる 802 人が自由意見を記入した。そのうち男性が 327 人、女性が 468 人で、男性回答者の 50.2%、女性回答者の 51.8%が記入している。

年齢層別にみると、30～39 歳の記入率が 59.9%と最も高くなっており、一方で、18～19 歳の記入率が 4.0%と最も低かった。その他の年齢層では 44.6%～56.9%の記入率となっている。

#### 【記入者の構成回答率】（性別，年齢層別）

年齢	性別			合計			男性			女性			無回答		
	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)												
18～19歳	15	6	40.0%	11	3	27.3%	4	3	75.0%	0	0	-			
20～29歳	85	46	54.1%	33	16	48.5%	52	30	57.7%	0	0	-			
30～39歳	197	118	59.9%	73	43	58.9%	123	74	60.2%	1	1	100.0%			
40～49歳	221	111	50.2%	93	52	55.9%	128	59	46.1%	0	0	-			
50～59歳	239	136	56.9%	94	50	53.2%	145	86	59.3%	0	0	-			
60～69歳	383	193	50.4%	169	79	46.7%	214	114	53.3%	0	0	-			
70歳以上	417	186	44.6%	178	84	47.2%	236	102	43.2%	3	0	0.0%			
無回答	12	6	50.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	10	6	60.0%			
合計	1,569	802	51.1%	652	327	50.2%	903	468	51.8%	14	7	50.0%			

意見・提案は、一人が複数の内容を記入している場合があり、それらを別に集計すると、項目別の集計は 1,281 件となった。

意見・提案の内容は、大別すると「快適空間」に関するものが 407 件 (31.8%)、「福祉・健康」に関するものが 228 件 (17.8%)、「都市機能」に関するものが 162 件 (12.6%)、「まちづくり」に関するものが 132 件 (10.3%)、「産業・経済」に関するものが 126 件 (9.8%)、「教育・文化」に関するものが 100 件 (7.8%)、「自然・環境」に関するものが 48 件 (3.7%)、「理念」に関するものが 23 件 (1.8%)、「その他」に関するものが 55 件 (4.3%) となっている。

「快適空間」の中では「雪対策」に関するものが 332 件 (25.9%) と最も多くなっている。「福祉・健康」の中では「地域福祉・社会保障・健康づくり・保健予防・生活衛生・医療」に関するものが 92 件 (7.2%)、「都市機能」の中では「中心市街地活性化」に関するものが 61 件 (4.8%)、「まちづくり」の中では「市民サービス・財政運営・行政機能」に関するものが 79 件 (6.2%)、「産業・経済」の中では「観光・イベント・コンベンション」に関するものが 71 件 (5.5%)、「教育・文化」の中では「教育・文化その他」が 29 件 (2.3%)、「自然・環境」の中では「公園緑地整備・街路緑地整備」に関するものが 23 件 (1.8%)、「理念」の中では「まちづくりの理念」が 23 件 (1.8%) と多くなっている。

【意見・提案内容の内訳】

項目		意見数 (件)	構成比 (%)
分野	分類		
理念	まちづくりの理念	23	1.8
	小計	23	1.8
福祉・健康	地域福祉・社会保障・健康づくり・保健予防・生活衛生・医療	92	7.2
	高齢者福祉	61	4.8
	児童福祉	29	2.3
	障害者福祉	17	1.3
	福祉・健康その他	29	2.3
	小計	228	17.8
教育・文化	生涯学習・市民文化	1	0.1
	幼児教育・学校教育	15	1.2
	地域社会づくり・男女共同	27	2.1
	スポーツ・レクリエーション	28	2.2
	教育・文化その他	29	2.3
	小計	100	7.8
産業・経済	農林業振興	10	0.8
	地場産業振興・商業振興・企業活力	43	3.4
	観光・イベント・コンベンション	71	5.5
	産業・経済その他	2	0.2
	小計	126	9.8
都市機能	総合交通体系・交通施設	19	1.5
	公共交通	40	3.1
	都市拠点開発	12	0.9
	中心市街地活性化	61	4.8
	都市機能その他	30	2.3
	小計	162	12.6
自然・環境	地域環境・省エネルギー・自然環境	11	0.9
	廃棄物処理	2	0.2
	川づくり・都市景観	3	0.2
	公園緑地整備・街路緑地整備	23	1.8
	自然・環境その他	9	0.7
	小計	48	3.7
快適空間	都市計画・総合土地利用・生活環境	2	0.2
	道路整備・側溝・排水路整備・街路灯整備	32	2.5
	上下水道整備・環境衛生	14	1.1
	防災対策・消防・救急・交通安全・防犯・消費生活	20	1.6
	雪対策	332	25.9
	快適空間その他	7	0.5
	小計	407	31.8
まちづくり	市民参加・提言	7	0.5
	市民サービス・財政運営・行政機能	79	6.2
	情報発信	19	1.5
	まちづくりその他	27	2.1
	小計	132	10.3
その他		55	4.3
合計		1,281	100.0

## 2 主な意見・提案

### (1) 理念 (23 件)

#### ①まちづくりの理念 (23 件)

- ・不公平なしの旭川にして頂きたい。老いも若きも手をつないで豊かな街づくりに頑張ってください。【女性, 70 歳以上】
- ・自然環境を大切に、隣近所仲良く平和な生活を大切に、少し成長スピードを落とした田園都市旭川を今後もつくっていきましょう。【男性, 60~69 歳】
- ・不安のない快適な生活をするを願っています。一人一人がもっと市政を他の事と思わず責任を持って日々の生活を送ってほしいと願います。もっと老人が活発に参加出来るような市のまちづくりをしてほしいと思います。【女性, 60~69 歳】
- ・まちづくりはひとづくりと思っています。落ち着いた人と人とのつながりは、しなやかな感性を育てる基本で、子供、若い方々には特に保障したい環境と考えます。音楽、絵画、演劇、映画等、学業から少し離れるかもしれませんが、大人と子供、老若男女が日常の中で触れやすく、継続して、経験できるような計画は、如何でしょうか。【女性, 60~69 歳】
- ・北海道の中心の旭川ですのでどこからでも来やすい所に活気ある街に、スポーツも試合などは地方に行きます。子供達のスポーツの場所。体育館。旭川の良い所と聞かれると動物園しかない、もっと自慢の出来る人が集まる交通便も良い所ですから、若い人達が戻ってきてくれる市に考えてほしいです。【男性, 70 歳以上】

### (2) 福祉・健康 (228 件)

#### ①地域福祉・社会保障・健康づくり・保健予防・生活衛生・医療 (92 件)

- ・子ども、幼児、小学生、中学生の医療費が無料化になってくれるとありがたいです。主婦の方の健康診断などがあると嬉しいです。【女性, 30~39 歳】
- ・だんだん歩く事が難しくなると思いますので、近くに病院があれば安心だと思います。車で送り迎え等して頂けるボランティアの人達がいればいいと思います。【女性, 60~69 歳】
- ・今後は予防医療が大切になってくると思います。市民が気軽に身体作り等が出来るような体制（例えば、市民センターなどでパワーリハが出来る（低料金で）、土日や夜にも、体を動かす（ヨガなど）講座が開かれる等）が整うと良いと思います。【男性, 20~29 歳】
- ・がん患者や障がい者が働ける場所を多くしてほしい。【女性, 50~59 歳】

#### ②高齢者福祉 (61 件)

- ・これからは高齢化社会のため、高齢福祉施設等を建設すると共にどんどん実現することを期待します。【男性, 70 歳以上】
- ・今、1 番不安に思うことは介護を必要とする身体になった時、どんな福祉サービスが受けられるのかということです。経済的負担がどれほどのものなのか心配になります。老人福祉に手厚い旭川市であってほしいと願います。【女性, 50~59 歳】

- ・交通網がないので高齢者の買い物、病院等の交通手段を考えて欲しいです。 【男性, 60～69 歳】
- ・市の高齢者が無料で利用できる施設があるといいです。色々な習い事が無料で習えて、遊べて集える場所です。 【女性, 50～59 歳】
- ・今後、私共も老人の世帯になります。孤立世帯等にもっと力を発揮してください。孤立死も含めて。お願い致します。 【女性, 60～69 歳】

### ③児童福祉 (29 件)

- ・子供を産んでこの街で育てたいと思うような制度などを充実させてほしい。 【女性, 30～39 歳】
- ・待機児童問題を何とかしてほしい。特に認可保育の整備を！安心して働きに行けない状況です。 【男性, 30～39 歳】
- ・現在、妊娠7ヵ月です。子育てに関する情報が、もっと簡単にわかりやすく知ることができればと思います。 【女性, 30～39 歳】

### ④障害者福祉 (17 件)

- ・私は身障者ですが、障がいサービスを充実させて欲しいです。移動支援など利用できる幅を広げて欲しいです。 【女性, 40～49 歳】
- ・車いす等の障がい者の方達が安心して暮らせるまちになる事を希望します。 【女性, 40～49 歳】
- ・障がい者にもやさしい街づくりをお願いしたいです。特に精神障がい者も、身体、知的と同様な扱いにして欲しい (例えばバス代半額とか) 。 【女性, 40～49 歳】

### ⑤福祉・健康その他 (29 件)

- ・高齢者は十分過ぎる程優遇されていると思います。中にやってもらわないと損だと言うふとどき者もいて生活保護を貰っている話も耳にする事が有ります。良く調べてください。そして介護施設で働いている人達に沢山支払してあげてください。 【女性, 70 歳以上】
- ・保護を受ける方が、今以上に増えると一般市民の負担が重くなるので心配です。今後、消費税が上がるので、市民税がさらに高くなるのは辛いです。 【女性, 30～39 歳】

## (3) 教育・文化 (100 件)

### ①生涯学習・市民文化 (1 件)

- ・生涯学習や資格取得など、「まなぶ」場をもっと多くつくってほしいと考えます。習い事に多額の費用がかかり、資格取得の際に、受験地が東京で、なったとしてもゼロからのスタートになるので、自治体さんの援助があればいいと思います。若い世代がどんどん都会に出ていくようでは、元気も出ないと考えます。「まなぶ」「あそぶ」が充実している町になるよう、期待していますし、住んでいて誇りに思えるような方々も沢山まわりにはいますので、動きだす第一歩を与えて (サポートして) 頂ければ嬉しく思います。 【女性, 30～39 歳】

## ②幼児教育・学校教育（15件）

・保育士の地位向上, 収入向上を図ることによって保育士の資質が向上し, 質の良い保育を受ける事により, 旭川の子供たちが健やかに育ち, ひいては日本の未来も変わるのでは?と思います。

【女性, 50～59歳】

・子供や若者に道徳心の教育も大切に思います。

【女性, 50～59歳】

・大学などについて, 町村の成功例を参考にして, 特別化した全寮制の学校を作るなど, 期待したいと思います。

【男性, 50～59歳】

## ③地域社会づくり・男女共同（27件）

・地域でのコミュニケーションがはかれる行事に多くの人が参加できるよう希望します。

【女性, 50～59歳】

・私が今までの所には, 年寄が集まり話す所がない。又, どの家に入るのにも階段があり住みづらい。

【女性, 70歳以上】

・旭川市には, 地区市民委員会という組織がありますが, 私の把握している現状はその活動内容を見てみると町内活動の延長線にしか見えないようです。市民委員会の目的は行政からの情報の伝達と, 単位町内会だけでは解決できない問題を行政とのパイプ役になって地域内の住民が安心して暮らせる住みよい町づくりを目指すために活動すべきと思っています。そうでなければ, 市民委員会を設置している意味がありません。いろいろ問題点はあると思いますが, 市としてもっと市民委員会の活動について指導してほしいと思います。

【男性, 70歳以上】

## ④スポーツ・レクリエーション（28件）

・東光スポーツ公園が出来, 市民のスポーツ憩いの場として楽しめています。しかし広々としたところなのに, プロ野球が楽しめる球場で有ったらもっと良かったのに残念です。パークゴルフ場の駐車場が狭いと感じています。

【女性, 70歳以上】

・北海道に住んでいて, ウィンタースポーツがあまり授業に取り込まれていない。豊岡にあるスケートリンクにいつも人がいないのはもったいない。もっとスケートをする機会を増やしたらいいと思います。昔は, もっとスケート, スキーなど誰でもすべれました。出来ない子供が多いと思います。

【女性, 50～59歳】

・旭川からもオリンピック選手が出るよう, スポーツ大会の開催, 選手の育成に力を入れて欲しい。

【男性, 50～59歳】

・体育館など, みんなが気軽に使用できる場所を, もっと増やしてほしいです。

【男性, 40～49歳】

#### ⑤教育・文化その他（29件）

- ・教育，文化施設は整っている方だと思いますが，利用時間や利用内容に不満を感じます。時間→図書館は拡充すべきでは（延長）。内容→体育館などの時間の割り振り方。働く方々の対応の悪さ（ガイドランスがなっていない）。市民に利用してもらおうとする面では，行政本位を感じる。

【女性，40～49歳】

- ・緑ヶ丘にも，図書館や自習スペースが欲しいです。

【女性，18～19歳】

#### （4）産業・経済（126件）

##### ①農林業振興（10件）

- ・企業誘致とTPPを踏まえて農業，農産物の特化を真剣に考えて欲しいと思います。

【男性，60～69歳】

- ・離農地など未使用地を市が購入し第3セクターによる農・畜産物の生産をしてはどうでしょうか。土地の有効活用。雇用の場。安心・安全な農・畜産物の提供。その他メリットがあると思います。

【女性，60～69歳】

- ・地方から来た方が「道の駅」（神楽）にあまり魅力を感じなかったとの事。農業が盛んなので，もっと農産物を置かれてもいいのではとの意見でした。

【女性，60～69歳】

##### ②地場産業振興・商業振興・企業活力（43件）

- ・企業誘致や地元企業の新事業への進出など促進して地域経済が活性化するように願います。

【女性，70歳以上】

- ・地場産業活性化への支援（特に第一次と第二次産業）。『旭川』商品ブランド化。地場産品の販路拡大（道外，海外）サポート。

【男性，30～39歳】

- ・安定した企業が都会に比べて少なく選択肢が限られているのが将来，旭川発展のため，問題点かと思えます。雇用促進等，企業誘致の急務が必要です。

【女性，50～59歳】

- ・遠方の友人に旭川家具が良い評価されています。もっと，旭川家具の良さを発信すればよいと思います。

【男性，40～49歳】

##### ③観光・イベント・コンベンション（71件）

- ・全市的なイベントについては駅周辺で実施してほしい。

【男性，70歳以上】

- ・もっと観光に力を入れてみてはどうでしょうか。旭川は観光地の通り道で，あまり旭川にお金を落としていく旅行者が少ないように思います。

【女性，50～59歳】

- ・旭山動物園の観光客が地方に宿泊して，旭川にはあまり泊まらないと聞いています。動物園近くに，ホテル，ショッピング街を設置すると雇用も増え，旭川の特産品も（農産物，木工，陶芸品等）もっとアピールできるのではないかと考えています。

【女性，60～69歳】

- ・旭川にとどまってくれる観光対策を考えてはどうかと思います。旭山動物園だけだと数時間の滞在で終わるので，宿泊を兼ねた自然体験などが出来るのを考えてはいかがでしょうか。

【女性，60～69歳】

#### ④産業・経済その他（2件）

・地域経済の活性化を求む。

【男性，40～49歳】

#### （5）都市機能（162件）

##### ①総合交通体系・交通施設（19件）

・中心街に車で行くのに駐車場代がかかるのはなじめないが路駐も許せない。せつかく市の方が色々な案を考えても市民のマナーも大切だと思う。

【女性，40～49歳】

・旭川空港と旭川駅間の鉄道（電化）で直結すること。旭川市内，電車，復活して環状線で便利の良い乗り物にしていくこと。

【男性，60～69歳】

・旭川駅は造りが悪い。歩く距離が長く，駅員も少ない。皆が健康ではありません。

【男性，60～69歳】

##### ②公共交通（40件）

・公共交通による手段が少ない。もしくは利用可能である時間が短いため，車を所有していない自分としては困る。

【男性，20～29歳】

・旭川に来て20年以上たちましたが，一番不自由に感じた事は，どうして病院へ通う人達にとって，こんなにも交通の不便な所なのかということでした。年齢が50代，60代と多くなると車での移動もむずかしくなり，なかなか市民の足はバスに頼る事になります

【女性，50～59歳】

・市内バスを利用しやすいものにして欲しい。1日の回数を多くして利用しやすいものにして欲しい。利用する人数が少なくなるので1日のバスの本数も少なくなるのは分かるが公共性のものなので考えて欲しい。

【女性，60～69歳】

・旭川駅前にバスターミナルを造ってほしい。（余裕を持った広さで）

【男性，50～59歳】

##### ③都市拠点開発（12件）

・旭川駅前がもっとにぎやかになり，4条通以降も色々なお店が増え，活性化して欲しいです。

【女性，20～29歳】

・買物公園の再構築。40年以上も放ってある（官民）協議を密にして欲しい。市と民間がもっと協力しあいシャッターストリートにはいけない。

【男性，50～59歳】

・駅舎が出来上がるにつれて（買物公園が特に）市民のための街づくりをして頂きたい。もう一度買物公園に市民が向く事を考えて頂きたい。商店街の役員方に新しい風を入れ老若男女が市民が観光客が旭川に行きたい，との声がかかる様今迄以上の尽力願いたし。

【男性，70歳以上】

##### ④中心市街地活性化（61件）

・中心市街地に空地や空家，空きビルが目立ちます。コンパクトな街づくりが必要だと思います。

【男性，50～59歳】

・シャッターを閉めた店舗や空家が増えたように思います。いい活用法があればいいと思います。

【男性，30～39歳】

・駅周辺が活気がなくて淋しい気がする。中心街が活気づく街づくり，イベントをたくさん考え旭川に人が集う，他市町とかぶらない事をしないと大都市（札幌等）に負けてしまう可能性がある。例：雪まつり，

花フェスタ時期を考えた方がいいと思う。

【女性, 50～59 歳】

- ・私が小さい頃は別の市に住んでいたので旭川に来るのが楽しみで嬉しくて仕方なかったです。買物公園にあるデパートは全て行かなければ気が済まないほど色々な物があって魅力的でした。今は昔ほど”にぎわっている”という印象がなく淋しいです。買物公園なのですからもっと工夫し充実・満足できれば地方からももっと集客が見込める気がします。

【女性, 40～49 歳】

- ・一言、平和通（買物公園）をはじめ、中心街にシャッターの降りた店の多い事に旭川を訪れた人たちの言葉としても又、住んでいる私達も非常に淋しく活気のない街を感じます。例えば観光バスの通る道路沿いには住民の力を借りて花いっぱい美しい道に、活気ある町を一目で感じる事のできるようになると良いと常々思っています。

【女性, 70 歳以上】

## ⑤都市機能その他（30 件）

- ・中心市街地だけでなく、地域の活性化も必要です。
- 【女性, 18～19 歳】
- ・「街づくり」とても良いと思います。ただ、駅をあんなに大きくする必要性はあるのだろうか、と周りの意見で良く聞きます。橋も出来たり色々交通面では便利になったのではないかと思います。赤字にしてまでそんなに力を入れなくても、と言う人もいました。
- 【女性, 20～29 歳】
- ・街の中心部は、何か催しものがあったても車を止める所に困り自然と足が遠のきます。開放できる場所をたくさん作ってほしいです。
- 【女性, 50～59 歳】
- ・大きな事に力を入れようとして、（建物、行事など）小さな事への気くばりやアイデア、発想に欠けている様に思います。駅の外の時計、建物の大きさにくらべ、見ずらく小さいですね。高齢の方や目の悪い方にも見やすく、1 時間ごとに音が鳴ってもよいと思います。目が悪くない私でも、とてもとても見えません。是非、この意見書を読まれましたら、駅の外時計、ご覧になってください。観光にいらしている方も大きな駅に小さな時計、何かつりあわないと言っていました。
- 【女性, 50～59 歳】

## （6）自然・環境（48 件）

### ①地域環境・省エネルギー・自然環境（11 件）

- ・太陽光設置に助成金等を検討して欲しい。除雪、排雪、もっとスピーディーにできませんか。
- 【男性, 60～69 歳】
- ・太陽光のエネルギーを利用してゴミのリサイクル事業等を利用して、市民にも、経済的に暮らしやすい状況にして頂ければ、ありがたく感じます。
- 【女性, 40～49 歳】
- ・旭川は水、緑等自然環境と住みやすい都市機能のバランスが良いと感じています。このバランスを守っていく事が旭川市民の義務であり、行政の最大のサービスであると考えます。道北最大の都市として誇りを持ち、周囲の市町村とも力を合わせて発展させていただきたい。
- 【女性, 50～59 歳】

### ②廃棄物処理（2 件）

- ・清掃工場の週二回程ですが悪臭がひどいです。

【女性, 70 歳以上】

### ③川づくり・都市景観（3件）

- ・河川の町旭川，川の流れに高低をつける等，河自体を見せる工夫をお願いします。北彩都の周辺，花も良いと思いますが広い場所なので木を沢山植えダイナミックにかつ維持費が余りかからないよう川と周辺のデザインをしてください。北彩都が素敵に成る事を期待しています。 【女性，60～69歳】

### ④公園緑地整備・街路緑地整備（23件）

- ・市街地帯公園を美化するために木を切るときは，きれいに剪定しましょう。 【女性，70歳以上】
- ・買い物公園にもっと街路樹があつてベンチなどがあるといいと思う。小さなお子さん連れや介護と共にもっと街へ出て楽しめるように，ちょっとした日影がほしい。 【女性，60～69歳】
- ・緑をもっと多くすべき，街路樹をしっかりと整備すべき，地域公園も荒れており草木や花を増やして欲しい。 【女性，60～69歳】
- ・常磐公園，七条緑道などは，内地の人がとてもまち中に大きな公園があつて緑が多いのは素晴らしいと云われているのですが，どうしてあまり「危険」でない木をバツサリ切ってしまうのか。 【女性，70歳以上】
- ・道路や建物，公園等作つても，作っただけで10年先，20年先を考えずに作り，中途半端である（例として，神楽河川敷の中州は，いつも水につかっている公園を作つても，植えた年のみきれいで管理がなつていず，草ボウボウ等）。周囲の市民と考えた方が良くと思います。 【男性，60～69歳】

### ⑤自然・環境その他（9件）

- ・我が住宅地のそばに川があります。その側の道路が歩行者道ないので，川をうめるか？ふたをしてほしい！ 【女性，50～59歳】
- ・私は公園近くに住んでいますが，秋は落葉が落ちて片付けに大変です。迷惑しています。 【女性，70歳以上】

## （7）快適空間（407件）

### ①都市計画・総合土地利用・生活環境（2件）

- ・悪質な路上駐車を取り締まりに力を入れてほしいです。 【女性，60～69歳】

### ②道路整備・側溝・排水路整備・街路灯整備（32件）

- ・公園近く道路等，夜間の照明が少なく暗く，防犯上心配。 【男性，60～69歳】
- ・30年位住んでいるが自宅前の道路の路面が補修されないである。アスファルトが石ころだらけで，はがれている。雨水溝も変形していて，機能してない状況である。 【男性，70歳以上】
- ・ゲリラ豪雨で水が浸く所，また，側溝が機能しない所が有る。生命，財産が危ない所が有る。大雨の時は連絡の有無に関係なく，巡回，パトロールをして確認して対策をして欲しい。 【男性，60～69歳】
- ・新道の街灯が減つて，夜間の運転が危険です。特に冬道が危ないので前の様に全部つけて欲しいです。 【女性，20～29歳】

### ③上下水道整備・環境衛生（14件）

・動物園の近くに住んでいるのですが、もう少し清掃に力を入れて欲しいと思います。

【女性，60～69歳】

・身近な事ですが，ゴミ収集日のステーションの回りにカラスがいて歩いて通るのに怖い思いをしています。カラスがゴミを取れない様にステーションの整備，お願いします。

【女性，50～59歳】

### ④防災対策・消防・救急・交通安全・防犯・消費生活（20件）

・住宅街に住んでいますが，信号や横断歩道が少ないと思います。子どもの安全が気になります。

【女性，30～39歳】

・水害の心配有る場所ですので町内では色々考えていますが，高い所への逃げ場がありません。

【女性，70歳以上】

・旭川市内に防犯無線の様なものが設置されていないように見えるが，災害時の緊急避難体制をもっと市民に発信してほしい。「想定外」という事をよく耳にしているが，最悪の場合（火山噴火，ダム決壊など）を考えて市民が行動できるような仕組みにしてほしい。

【男性，50～59歳】

・自転車に乗る人の特に若い人が多いと思いますが，すごいスピードで，歩いている人すれすれに走っていて，ぶつかれば怪我になる様な場面を見たり，私自身も怖い経験して車に乗っていても自転車が信じられないようなことをしているので，徹底的に指導してほしいです。以前に警察の人が夜，無灯の自転車を注意してたのを見たので，すごく良いと思いました。札幌でも少ししているのかわかりませんが，旭川でも自転車が走れる区間を作ってあげればと思います。

【女性，60～69歳】

### ⑤雪対策（332件）

・除雪体制が悪すぎる。

【男性，60～69歳】

・年々除雪が悪くなっている。

【女性，60～69歳】

・毎年多くの積雪がある町なのでもう少し除雪・排雪の体制を整えて欲しい。

【女性，30～39歳】

・冬道のでこぼこ，ツルツル，対策をして欲しい。除雪をきちんと対応してほしい。

【女性，30～39歳】

・冬の除雪体制について住宅街の為火災が起きた時など消防車及び救急車等が入れない。除雪が一番の問題点である。市の担当者はもう少し現状を見廻って欲しい。

【男性，70歳以上】

### ⑥快適空間その他（7件）

・野良猫が増えて大変迷惑しています。養う人のマナーの向上に力を注いで欲しいです。広報等でたびたび取り上げるとかして欲しいです。ご近所の方皆さん困っています。

【女性，70歳以上】

・夏になるとバイクの音がうるさいので困る。

【女性，30～39歳】

## (8) まちづくり (132 件)

### ①市民参加・提言 (7 件)

- ・新たに歩道等を新設する場合は、地域住民に必要なかどうか意見を聞いて下さい。冬は歩道が雪捨て場になり、歩道の役割を果たしておりません。 【女性, 70 歳以上】
- ・この街は、自然や産業が多くあるのに、活かしきれていない。こんなにもったいない活用では、ますます過疎化していく気がして、不安である。もっともっと行政が、アイデアを市民と出し合い。良い市にしていくことをお願いしたい。 【男性, 60~69 歳】
- ・これからの町づくりは若いものの肩にかかるものと思います。20代から40代の市民の活動にかかってくるのが当然ですので20~40代の人々の意見を良く取り上げて将来の街づくりに力を入れて頂きたいと思います。各町内会の意見も取り入れて何かと参考にして協力して頂くのが重要であろうと思います。 【男性, 70 歳以上】

### ②市民サービス・財政運営・行政機能 (79 件)

- ・新庁舎の件。出来るだけコンパクトにする。現状の様に分散しても良い。 【男性, 60~69 歳】
- ・平日以外に、土、日、市役所の窓口があていれば大変助かる。可能だと思いますが。 【男性, 60~69 歳】
- ・市政に疑問が多すぎて、何から意見して良いかわからない。でも役所内の連携が無いこと（連携よりも対立していると思う）仕事をしていなく見える人が多数見られる事。雇用促進についても進展を感じない。旭川市では所得の底上げは考えていないように思う。 【男性, 50~59 歳】

### ③情報発信 (19 件)

- ・旭川はとても良い街なのに、外へのアピールが弱すぎる。 【女性, 40~49 歳】
- ・北海道第2都市旭川市としては、色々な行事、ニュース等、報道が他都市から見ると少ないと思います。旭川の市PRを考えてほしいです。 【女性, 70 歳以上】
- ・子育てしやすい街になっているのか不安があります。何か取り組んでいることや、力を入れていることがあるならば、市政だよりなどで知らせて頂きたいです。 【女性, 20~29 歳】
- ・ホームページに情報があるが、詳しい事は電話の形式で欲しい情報が手に入らないことがある。もっと情報を発信するうえで、多くの人の目に触れる様になればいいと思う。 【女性, 20~29 歳】

### ④まちづくりその他 (27 件)

- ・旭川は四季がはっきりしているので自然を大切にしたい街づくり。 【男性, 70 歳以上】
- ・若者が住みやすく、地元に興味を持てる街にしてほしい。あとは、街の売りを決めてほしい。なんでも中途半端になるので。食なら食と決めてほしい。 【女性, 70 歳以上】
- ・集約都市型のまちづくりを行ってほしい。 【男性, 30~39 歳】
- ・旭川市は災害が少なく特に安全な地域と思われれます。(40年以上在住) その特性をもっとアピールし移住されたい方々を積極的に受け入れてはどうでしょう。東北の大地震以来、安全に生活出来る場所を探している方は多いと思います。 【女性, 60~69 歳】

### (9) その他 (55 件)

- ・アンケート内容が多種で回答がむずかしく思いました。【男性, 70 歳以上】
- ・北彩都の整備については、あれだけ大規模に行う必要があったのか？確かに道路網は整備され、住民にとっては非常に改良されたことが実感できると思われるが、全市的に見た時どの位の人が賛意を持って評価するか疑問です。【男性, 70 歳以上】
- ・アンケートを取った以上今後どのように市民が期待して暮らせるか返答を待つ市議が 345 名いる。自分達は超高齢低年金でやっと暮らしている。灯油の値上がり、不満は多くある。甘えるわけではないが職員も時間が足りないことも理解出来るが外に足を向ける。市民との語り合いが大事だと感じる。アンケートの結果を必ず市民公報等で伝えるべき。【女性, 70 歳以上】

